

公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点
(千葉県木更津市)新築工事

令和7年11月

株式会社 地区計画コンサルタンツ



Revision _____ Date _____

株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 勝美

	Checked	Checked
--	---------	---------

Project title
公益財団法人 日本財団

Sheet content
図面リスト

Scale Sheet No.
non scale A-001
Unit



Revision

1

株式会社 地区計画コンサルタンツ

一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

weet content

註記什樣畫1

記性を保つ

— 1 —

Scale Sheet No.
non scale A-002
Unit

9 防水工事	1 アスファルト防水	(9.2.2.3) (表9.2.3~8)	3 膜タイル張りの工法 (11.3.3) (表11.3.2) ※メーか-指定工法による	内装タイル ※壁タイル接着剤張り・積上げ張り 外装タイル ※密着張り・マスク張り ※施工表面の処理・行わない※行う(施工範囲※図示) ※施工表面の処理方法MOR工法又は自走工法(6章コンクリート工事) 下地モルタル塗り※規制15.2~15.2.5 タイルの試験張り※行わない※規制(※外壁タイル)	4 鉄の垂れめつき (14. 2. 3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	2 改良アスファルトシート防水	(9.2.2)	5 断熱工法の断熱材 ・A-1 (保水断熱) ・A-2 (保水非断熱) ・D-1 (露水断熱) ・D-2 (露水非断熱) ・B1-2 (床型枠用鋼製ティックプレートを使用したコンクリートトラバ)	アスファルト※3種・4種 断熱工法の断熱材 ・A-1 (保水断熱) ・A-2 (保水非断熱) 立上り部の保護 ・D-1 (露水断熱) ・D-2 (露水非断熱) 日本アスファルト防水工業協同組合会社様 ※規制15.3.2~4 (表9.3.1)	6 金属成形板張り (14. 6. 2~3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9.4.2.3) (表9.4.1)	7 木材の断面寸法 (12. 1. 3)	木材の品質 ※日本農林規格品(JAS)	8 軽鉄天井下地 (14. 6. 2~3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	4 塗装防水	(9.5.2.3) (表9.5.1.2)	9 木工事 (12. 2. 1)	木材の品質 ※日本農林規格品(JAS)	9 金属成形板張り (14. 6. 2~3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	5 漏水試験と防水補修	※規制15.3.2~4 (表9.3.1)	10 木材 (12. 2. 1)	木材の品質 ※日本農林規格品(JAS)	10 木工事 (12. 2. 1)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	6 シーリング	※規制15.3.2~4 (表9.3.1)	11 鉄の垂れめつき (14. 2. 3)	11 木工事 (12. 2. 1)	12 木工事 (12. 2. 1)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	7 その他	※規制15.3.2~4 (表9.3.1)	13 屋根および構造工事 (13. 2. 2)	13 屋根および構造工事 (13. 2. 2)	14 金属工事 (14. 1. 3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	8 石工事	(10. 2. 1)	15 左官工事 (15. 1. 7)	15 左官工事 (15. 1. 7)	16 建具工事 (16. 1. 3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	9 テラゾ張り	(10. 2. 1) (表10.2.2)	16 建具工事 (16. 1. 3)	16 建具工事 (16. 1. 3)	17 タイヤル工事 (16. 1. 3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	10 石工事	(10. 2. 1)	17 タイヤル工事 (16. 1. 3)	17 タイヤル工事 (16. 1. 3)	18 タイヤル工事 (16. 1. 3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	11 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	(11. 1. 3)	18 タイヤル工事 (16. 1. 3)	18 タイヤル工事 (16. 1. 3)	19 タイヤル工事 (16. 1. 3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	12 材料	(11. 2. 1~3)	19 タイヤル工事 (16. 1. 3)	19 タイヤル工事 (16. 1. 3)	20 タイヤル工事 (16. 1. 3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所
	21 張り付け用材料	(11. 2. 3)	20 タイヤル工事 (16. 1. 3)	20 タイヤル工事 (16. 1. 3)	21 タイヤル工事 (16. 1. 3)	表面処理方法 溶接鉛メキシ ・A種 2種 HDZ55 4.5以上 ・B種 2種 HDZ45 3.2以上 ・C種 標準 2種 HDZ35 1.6以上 電気鉛メキシ ・D種 延外ボルト 2種 5級 ・E種 屋内一般 2種 4級 ・F種 屋内簡易 2種 3級	施工箇所

Revision	Date

株式会社 地区計画コンサルタント	Checked	Checked	Drawn	Project title	Sheet content	Scale	Sheet No.
一級建築士事務所 第 6020号				公益財団法人 日本財団			
一級建築士 第320541号 牧野 隆義				日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事			
				特記仕様書2			

17 カーテンウォール工事	16 ガラス用フィルム ① 節 1 カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.2.6) 2 その他	名 称	種 類	張り面	性 能 値															
		※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り・外張り	飛散防止率 DI															
		・機械性フィルム																		
		品質 JIS A 5759による																		
		・クレッセント ・キーフ	・ダブルロック	・開放制限 (外部解除装置およびキーフ)																
		・電気錠 ・カーボード式電気錠	・テンキー式電気錠	※通常施錠型																
		耐電性	・人体帯電3kV以下	(フリーアクセスフロア設置範囲)																
		17 カーテンウォール 17.1.3 (17.2.2~6) (17.2.6)	設計図に定める以外の仕様は、監督職員の承諾を受けて、カーテンウォール製作所の仕様としができる	- S - 4	- S - 5	- S - 6	・気密性 ○ A - 3	・ A - 4	・耐候性	・耐火性	・耐候性差異 (℃)	・耐候性差異 (℃)								
		・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)	・耐候性 ・耐候性差異 (℃)				
		・水密性	・ W - 4	・ W - 5	・断熱性	(m²h/°C) k.c.a.)														
		その他の性能 種類	図示による ・メタルカーテンウォール 金属材料の種類 (見掛け部分の仕上げ)	・アルミニウム製 (- B - 1種)	・鋼製 (-)	・ステンレス製 (-)	・PCカーテンウォール													
		18 塗装工事	1 材料 (18. 1. 3)	屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする 建物内部に使用するアリヤ樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外	・第三種															
		2 壁地ごしらえ (18. 2. 2~7)	素地ごしらえの種類 ・木部 ・不透明塗装材 (・A種 ※B種)	・透明塗装材 (・A種 ※B種)																
		3 床用塗料塗り	・鉄面 ・上塗材が下記のいずれかの場合 (・A種 ※B種・C種) 2液系ボリカット剤 (2-UE)、アクリル樹脂剤 (2-AE)、常温乾燥型フッ素樹脂剤 (2-FUE) ・その他 ・垂れ止め (A種 ※B種・C種) 2液系ボリカット剤 (2-UE)、アクリル樹脂剤 (2-AE)、常温乾燥型フッ素樹脂剤 (2-FUE) ・上塗材が下記のいずれかの場合 (・A種・B種・C種) ・その他 ・鋼製具面 (・A種・B種・C種)	・上塗材が下記のいずれかの場合 (・A種 ※B種・C種) 2液系ボリカット剤 (2-UE)、アクリル樹脂剤 (2-AE)、常温乾燥型フッ素樹脂剤 (2-FUE) ・その他 ・垂れ止め (A種 ※B種・C種) 2液系ボリカット剤 (2-UE)、アクリル樹脂剤 (2-AE)、常温乾燥型フッ素樹脂剤 (2-FUE) ・上塗材が下記のいずれかの場合 (・A種・B種・C種) ・その他 ・モルタル、プラスチ一面 ・モルタル、他のボード面 ・継目留め工法面 (・A種・B種) ・せっこうボード及び他のボード面 ・その他	・上塗材が下記のいずれかの場合 (・A種 ※B種・C種) 2液系ボリカット剤 (2-UE)、アクリル樹脂剤 (2-AE)、常温乾燥型フッ素樹脂剤 (2-FUE) ・その他 ・垂れ止め (A種 ※B種・C種) 2液系ボリカット剤 (2-UE)、アクリル樹脂剤 (2-AE)、常温乾燥型フッ素樹脂剤 (2-FUE) ・上塗材が下記のいずれかの場合 (・A種・B種・C種) ・その他 ・モルタル、プラスチ一面 ・モルタル、他のボード面 ・継目留め工法面 (・A種・B種) ・せっこうボード及び他のボード面 ・その他	・ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外	・第三種	(19. 5. 2)												
		4 防塗用塗料塗り	材 質 仕上種別 塗布量	ウレタン樹脂系塗料 (※標準色 ※平滑仕上げ 防滑仕上げ)	プライマー塗りの主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m²以上とする															
		日本建築学会JASS 18にて示す																		
		3 塗装種別と略号	路号	塗装種別	適用下地															
		O.P.	油性混合ペイント	○	○ 2-U-E	2液形ボリカット剤														
		S.O.P.	合成樹脂混合ペイント	○	○ 2-U-E	常温乾燥型アクリル樹脂剤														
		C.L.	クリヤーラッカー	○	○ E-P-G	つや有合成樹脂17種類														
		F.E.	アクリル樹脂剤	○	○ E-P-T	合成樹脂17種類														
		V.E.	塩化ビニル樹脂剤	○	○ E-P-M	多形樹脂塗料														
		A.E.	アクリル樹脂剤	○	○ E-P	合成樹脂17種類														
		U.C.	ウレタンワニス	○	○ OS	油性スチーン														
		4 S.O.P.の塗料の種類		—マスク用塗料	○	2-A-S E	アクリル樹脂エマル													
		屋外、屋内共	①種	・ 2種																
		5 塗装業者																		
		6 その他																		
		19 内装工事	品質規格 共通仕様書の規定による材料	種類	記号	厚さ (mm)	参考 メーカー・品番等													
		ビニル床シート 及びゴム床タイル張り (19. 2. 2~3)	・ビニル床シート (発泡層無) 熱溶接工法	※ NC	○ 2-B	・束り 消臭NSI-1NW (吸戻)														
		・ビニル床シート (発泡層付) 熱溶接工法	—	○ 2-B	・束り お比利・ムーン同品															
		・ホモジニアスピニル床タイル	H.T.	—	○ 3.0															
		・軟質コンポジションビニル床タイル	C.T.S.	—	○ 3.0															
		・半硬質コンポジションビニル床タイル	C.T.	—	○ 3.0															
		・ゴム床タイル	—	○ 3.0																
		・特殊機能床材	—	○ 3.0																
		・視覚障害者用誘導床材	—	○ 3.0																
		○ビニル巾木 (ソフト巾木) H-60~100	○イド巾木 (ロング巾木) H-300~350																	
		※水面上のビニル巾木及びシングル巾木は、床シート巻上げとする。ジョイント箇所等は溶接処理のこと																		
		※巻上げ端部はアルミ金物押さえ																		
		6 カーペット敷き	・織じゅうたん	・バイル形状	色柄等		備考													
		・カットバイル	※無地																	
		・ループバイル	・柄物 (標準品)																	
		・C種	・カット・ループバイル併用																	
		耐電性	・人体帯電3kV以下																	
		・タフテッドカーペット	(19. 3. 3. 4)	(表19. 3. 2)																
		・バイル形状	・バイル長 (mm)	工 法	備 考															
		・カットバイル	35~70	・	※全面接着工法															
		・ループバイル	※約6~	・	・グリッパー工法															
		・カット・ループ併用																		
		耐電性	・人体帯電3kV以下																	
		16 ガラス用フィルム ① 節 1 カーテンウォール (17.1.3) (17.2.2~6) (17.2.6)	7 合成樹脂床 ・厨房床	・タイルカーペット	(19. 3. 3)	(表19. 3. 2)														
		・一般部	・パネル形状	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備 考													

28	旗竿	材質 *アルミニウム合金製 形式 *テー・バー型・同一断面型 地上高さ (m) · 6 · 8 · 10 · 12 操作方法 *ハンドル式・ロープ式 固定方法 *埋込式・ベース式・バンド式 製造所	10 排水性舗装	アスファルト混合物 ・改質アスファルト I 型 タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 通用時期 横縞 下記以外 PKR-11 冬期 PKR-12 アスファルト混合物の抽出試験 *行わない・行う (22.7.6)
29	旗竿受骨物	材種 ステンレス製SUS304 ※外構工事参照 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス	11 ブロック系舗装	コンクリート平板舗装 種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 ※普通平板 (N) ※300角 ※60 ※砂 ・透水平板 (P) . . -モルタル ・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2.3) 種類 厚さ (mm) 色影及び表面加工等 ※普通ブロック (N) 車道部 ※80 . ※標準品 300×300×80 ・透水性ブロック (P) 歩道部 ※60 . ・誘導、注意喚起用ブロック 誘導、注意喚起用は黄色系とする ・植生ブロック (V) ※80 · 100 インターロッキングブロック 項目 品質・性能 セメント JIS R 5210ガルランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。 骨材 清浄、強硬、耐久性で、適當な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、滑り石片、細長の石片を含んでいない。 混和材料 無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境に有害な影響を及ぼさない。 着色材料 着色材料を用い、ロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。 外観 使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。 寸法許容差 (mm) 長さ 幅 厚さ 普通タイプ ±3 ±3 ±3 透水性タイプ ±3 ±3 +5~-1 植生用タイプ ±3 ±3 ±3 曲げ強度 (N/mm²) 透水性タイプ 5.0以上 透水性タイプ 3.0以上 透水性タイプ 4.0以上 透水性タイプ 1×10⁻⁶以上 透水性タイプ 32.0以上 透水性タイプ 17.0以上 ・舗石舗装 種類 厚さ (mm) 施工方法 基層 ※小舗石 (花こう岩) ※80~100 . ※うろこ張り ※コンクリート舗装 .
30	フェンス	※サイン工事参照 ・照明器具 ※有り・無し 施設 ※有り・無し 製造所	12 路面標示用塗料	JIS K 5665 (路面標示用塗料)による 種類 施工 適用 色 幅 (mm) 布厚さ (mm) 涂覆性有機溶剤の含有率 ・1種 常温 液状 白 ※150 *1.0 塗料総質量に対して ・2種 加熱 . . 100 . 5%以下 ※3種1号 溶融 粉体状
31	屋外掲示板	照 明 器 具 ※有り・無し 施 設 ※有り・無し 製造所	13 樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類 (23.2.2.3) (表23.2.1.2) 適用 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲 ※行う・行わない *20 . ※B種 . ※植栽範囲・図示 樹木 (23.2.2.3) (表23.2.1.2) 樹木の樹高 (m) 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲 ・12以上 ※100 . ※A種 . 東側の範囲 ・7.8~12未満 ※80 . B種 . ただし、低木は植栽範囲 ・3.8~7.8下 ※60 . C種 . 距離 ・3.8下 G ※50 . D種 . エコモード以外の工法で、現地地盤高と計画地盤高が同一ない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 たとえば、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
32	車止め支柱	※ステンレス製 (上下式鎖内巻型) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm ※スプリング付・スプリング無し	2 植込み用土	※現地生土の良質土 . 客土 (・堆土 ※無土H100) (23.2.3)
33	収納家具	材質 形状・寸法 ※図示 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外・第三種	3 土壤改良材	※適用する 施工箇所 ※植栽範囲 . 図示 (23.2.3.4)
34	エクスパンション ・ジョイント金物	材質・アルミ・ステンレス クリップス · 50 · 100 · 150 · 耐火性能 · 有り (1時間) · 無し 防水型 ※外部適用する ※内部適用しない	4 支柱材	※杉の株丸太 (間伐材) . 真竹 (23.3.2)
35	その他 ・ビニチャーレール ・コーナーガード ○消火器	・天井休図による ・平面詳細図、各部詳細図参照 ・平面詳細図、種詳細図参照	5 幹巻き用材料	※幹巻き用テープ・わら及びこも (23.3.2)
21	排水工事	排水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1) (21.3.3) 材種 管の種類 管形状 (接合方法) ●心力筋コンクリート管 ※外圧管 (3種・2種) B形 (ゴム接合) ●貯水化ビニル管 ※VP・VU ・排水用サイクル硬質化ビニル管 · REP-VU [G]	6 芝張り ・グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 通用荷重 メンバーピッチ 上面形状 ●製 受持付付き ●溝ふた用 ●歩行用 ※細目 ※凹凸形 ●テンレス製 ●溝ふた用 ●T-2用 . ボルト固定 ●かさ上げ用 ●-6用 . ※無し ●J字溝用 ●T-14用 . ●表示 ●T-20用 . ・雨水集水溝 (グレーティング蓋共) (設備工事) ・U字溝 ※B種 . (21.2.3) (表3.2.1)	7 吹付けは植用種子等 8 地被類 9 建築物緑化 ・屋上緑化システム 管理方法による区分 . 管理型・管理型 質量の上限値 (kg/m²) 2 かん水装置 . 設ける (工事区分は図示) 立水栓4カ所 かん水方法 . 自動・手動・手挽き 透水層、保水層及び排水層等 保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能 : 240 l/m² · h以上 耐荷重性 ・各管理型 : 3×10³ N/m²以上の載荷量で異常のないこと。 ・管理型 : 最大有効土層厚の荷重1.5倍以上かつ3×10³ N/m²以上の載荷量で異常のないこと。 耐根層の材料 ・合成樹脂耐根シート (厚さ0.3mm以上) 又は抗根性剤とする (耐根性能の実績を有すること) 植込み用土 製造所の仕様による 植木の種類 製造所の指定するものとする
36	排水樹及びびふた	排水樹マンホールふた (21.2.2) 種類 通用荷重 ・水封形 密閉形 (テーパー・パッキン式) · T-2用 ・簡易気密形 (パッキン式) 中ふた付密閉形 · T-6用 · T-14用 · T-20用 グレーティングふた (21.2.2) 材質 形式 種類 通用荷重 メンバーピッチ 上面形状 ●製 受持付付き ●溝ふた用 ●歩行用 ※細目 ※凹凸形 ●テンレス製 ●溝ふた用 ●T-2用 . ボルト固定 ●かさ上げ用 ●-6用 . ※無し ●J字溝用 ●T-14用 . ●表示 ●T-20用 . ・雨水集水溝 (グレーティング蓋共) (設備工事) ・U字溝 ※B種 . (21.2.3) (表3.2.1)	10 樹木の植栽基盤整備 ※緑化計画図参照	1 樹木の植栽基盤整備 芝及び地被類 (23.2.2.3) (表23.2.1.2) 適用 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲 ※行う・行わない *20 . ※B種 . ※植栽範囲・図示 樹木 (23.2.2.3) (表23.2.1.2) 樹木の樹高 (m) 有効土層の厚さ (cm) 工法 整備範囲 ・12以上 ※100 . ※A種 . 東側の範囲 ・7.8~12未満 ※80 . B種 . ただし、低木は植栽範囲 ・3.8~7.8下 ※60 . C種 . 距離 ・3.8下 G ※50 . D種 . エコモード以外の工法で、現地地盤高と計画地盤高が同一ない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。
37	浸戻し土	製造所	2 植込み用土	※現地生土の良質土 . 客土 (・堆土 ※無土H100) (23.2.3)
38	浸透管及び浸透樹	5 雨水貯留槽	3 土壤改良材	※適用する 施工箇所 ※植栽範囲 . 図示 (23.2.3.4)
22	舗装工事	1 直り土に用いる材料 ・A種 ※B種 · C種 · D種 (22.2.3) (表3.2.1) 2 連断層及び 凍上抑制層の材料 ・連断層 ※川砂、海砂又良質な山砂 . (22.2.2.3) ・凍上抑制層 ※再生のクラッシャン · クラッシャン 切り込み砂利 · 砂 厚さは図示	4 支柱材	4 支柱材 (間伐材) . 真竹 (23.3.2)
39	路床安定処理	※添加材料による安土処理 (22.2.2.3) (表22.2.2) 種類 普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 () . 消石灰 () 添加量 kg/m³ (目標CBR ※5以上 .)	5 幹巻き用材料	5 幹巻き用テープ・わら及びこも (23.3.2)
40	路床土の 支持力比試験	※行う (※乱した土・乱さない土) (22.2.5)	6 芝張り	6 芝張り ※こううい芝・野芝 (23.4.2)
41	路床締固め度の試験	※行う (22.2.5)	7 吹付けは植用種子等	7 吹付けは植用種子等
42	路盤材料 [G]	※再生クラッシャン (RC-40) ・クラッシャン (C-40) 又はクラッシャンラスラグ (CS-40) 透水性アスファルト舗装にもらいる場合は透水性の高いもの	8 地被類	8 地被類 ※コントナ栽培品
43	アスファルト舗装	(22.4.2) (表22.4.1) 舗装の種類 車道部の基層 カラー舗装の種類 ※アスファルト舗装 ※無し・有り ※顔料混入加熱アスファルト混合物 ・カラー舗装 ※無し・有り . カラーブラックの着色骨材・有色骨材 (焼成) . 着色骨材 (樹脂被覆) アスファルト ※再生アスファルト [G] ストレートアスファルト (22.4.3) 開粒度アスファルト 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.6) 区分 ※一般地域 . 寒冷地域 表層 ※密粒度アスファルト混合物 (13) . 密粒度アスファルト混合物 (13F) ・細粒度アスファルト混合物 (13) . 細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F) 基層 . 粗粒度アスファルト混合物 (20) シールコート ※行わない . 行う (施工範囲:) (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない . 行う (22.4.6)	9 建築物緑化	9 建築物緑化 ・屋上緑化システム 管理方法による区分 . 管理型・管理型 質量の上限値 (kg/m²) 2 かん水装置 . 設ける (工事区分は図示) 立水栓4カ所 かん水方法 . 自動・手動・手挽き 透水層、保水層及び排水層等 保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能 : 240 l/m² · h以上 耐荷重性 ・各管理型 : 3×10³ N/m²以上の載荷量で異常のないこと。 ・管理型 : 最大有効土層厚の荷重1.5倍以上かつ3×10³ N/m²以上の載荷量で異常のないこと。 耐根層の材料 ・合成樹脂耐根シート (厚さ0.3mm以上) 又は抗根性剤とする (耐根性能の実績を有すること) 植込み用土 製造所の仕様による 植木の種類 製造所の指定するものとする
44	8 コンクリート舗装	早セメント ※使用しない・使用する (22.5.3) 注入地地材料 ※有り (表22.5.3) 溶接金網 ※有り . 無し (22.5.3, 4) 厚さ試験 ※行わない . 行う (22.5.6)	24 その他の工事	1 エレベーター工事 ○図示による 2 ダムウェーテー工事 ○図示による 3 避難用滑り台工事 ○図示による 4 厨房設備工事 ○別途工事 5 その他 ○接家屋及び調査希望のあった家庭については家庭調査を行うこと ・本期間中の電波障害は施工者負担にて対応のこと ・トイレロックアップ作成 (手摺・紙巻器等の位置を確認) ○土壤汚染対策に規定する地盤調査をおこなうこと
45	透水性舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない . 行う (22.6.6) (22.4.6)		
<p>Revision Date</p> <p>株式会社 地区計画コンサルタント 一級建築士事務所 第 6020号 一級建築士 第320541号 牧野 隆義</p> <p>Project title 公益財団法人 日本財団 日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事</p> <p>Sheet content 特記仕様書4</p> <p>Scale non scale</p> <p>Sheet No. A-005</p>				

工事区分表 ●印をつけたものを適用する

共通事項		建築	衛生	空調	電気	施主	別途	備考	建築		衛生	空調	電気	施主	別途	備考	建築		衛生	空調	電気	施主	別途	備考
1 電力引込工事負担金				●																				
2 上水道・下水道・ガスの引込工事負担金		●																						
3 上水道・下水道・ガスの加入納付金等		●																						
4 電気使用申請費、電話引込事前協議費				○																				
5 上水道・下水道・ガス申請費		●																						
6 引渡しまでの自家用電気工作物の申請及び受電立会費用				●																				
7 工事用仮設電源引込工事		●																						
8 引渡しまでの基本料金・使用料金・保安管理費用		●																						
9 工事用仮設上水道・下水道・ガスの引込み及び基本使用料金		●																						
10 上水道・下水道・ガスの本引込後、引渡しまでの基本料金及び使用料金		●																						
11 各種試運転の為のガス・油等の燃料費		●	●	●																				
12 敷地外・電柱移設費(東電柱、NTT柱)		●					—																	
13 消火器		●																						
14																								
15																								
16																								
建築関連		建築	衛生	空調	電気	施主	別途	備考	建築		衛生	空調	電気	施主	別途	備考	建築		衛生	空調	電気	施主	別途	備考
1 構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ		●	●	●																				
2 スリーブ及び箱入れの躯体補強		●	○	○	○																			
3 スリーブ及び箱入れの穴埋め補修		●	●	●																				
4 鉄骨スリーブ、スリーブ入れ及び補強		○																						
5 各種機器の基礎及び仕上げ		●																						
6 各種機器の設置に伴う躯体補強		●																						
7 各種機器のアンカー取付及び穴埋め補修		●	●	●																				
8 コンクリート槽類(防水・仕上げ・断熱共)		○																						
9 コンクリート槽類の連通管・通気孔・人通孔		○																						
10 コンクリート槽類の排水管・通気管		○																						
11 コンクリート槽類のマンホール・タラップ等		○																						
12 濾化槽・地下埋設オイルタンク等の躯体工事一式		○	○																					
13 濾化槽・地下埋設オイルタンク等の為の山留・根伐埋戻し		○	○																					
14 濾化槽本体工事一式		○																						
15 地下埋設オイルタンク本体工事一式																								
16 車体関係の防音・防振工事																								
17 各種機器の防音・防振工事	※	●	●	●																				
18 車体関係の断熱工事		●																						
19 機械室等の排水溝及び溝蓋																								
20 機械室・電気室等のビット及び蓋																								
21 厨房用の排水溝及び蓋																								
22 防油堤工事																								
23 煙突工事																								
24 煙突に接続する煙道工事																								
25 屋上配管取出口																								
26 ルーフドレン及び雨水堅管工事(G.L以上)		●																						
27 雨水地中埋設管工事(G.L以下)		●																						
28 屋外配管配線用のトレンチ及び蓋		—																						
29 残土処分(場外搬出)		●																						
30 残土処分(場内敷きならし)		●	●	●																				
31 集合住宅用変圧器廻り等のネットフェンス		—																						
32 ダクトシャフト・パイプシャフトの点検口及び扉		—																						
33 各設備の為の床・壁・天井の点検口		●																						
34 外壁取付ガラリ		—																						
35 給排気用ペンドキャップ及びウェザーカバー(指定色)		●																						
36 クーラースリーブ及び壁付給気口工事(指定色)		●																						
37 外壁貫通配管の止水処理		●	●	●																				
38 外壁貫通配管・外壁ペンドキャップ・ウェザーカバー廻りのシール		●	●																					
39 壁・天井の吹出口・吹込口等の開口及び補強(開口の為のスミ出しも含む)		●																						

Revision	Date	株式会社 地区計画コンサルタント	Checked	Checked	Drawn	Project title	Sheet content	Scale	Sheet No.

<

1. 工事名称	工事名称	日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事	氏名	公益財団法人 日本財団 会長 尾形 武寿
	地名地番	757番1, 757番3, 758番1, 759番1, 760番1	建築主	住所 東京都港区赤坂1-2-2 番号 03-6229-5111
	主要用途	その他(災害救助活動研修施設)		
	工事種別	新築	工期	令和8年2月10日～令和8年5月10日

2. 敷地状況	敷地面積	敷地面積 : 8,512.68m ²		
	用途地域	市街化調整地域	隣地斜線	立上り20.0M+勾配1.25
	防火指定	2・2条区域	東側道路	なし
	建蔽率	60%	南側道路	なし
	容積率	200%	西側道路	幅員 11m 42条1項1号 市道119号線(笹子本線)
	日影規制	なし	北側道路	なし
	高さ制限	なし	給水の状況	無し (西側道路に100φ, 取り出し可能)
	道路斜線	勾配1.25	排水の状況	無し (雨水オーバーフローを敷地入り口近くから水路に放流)

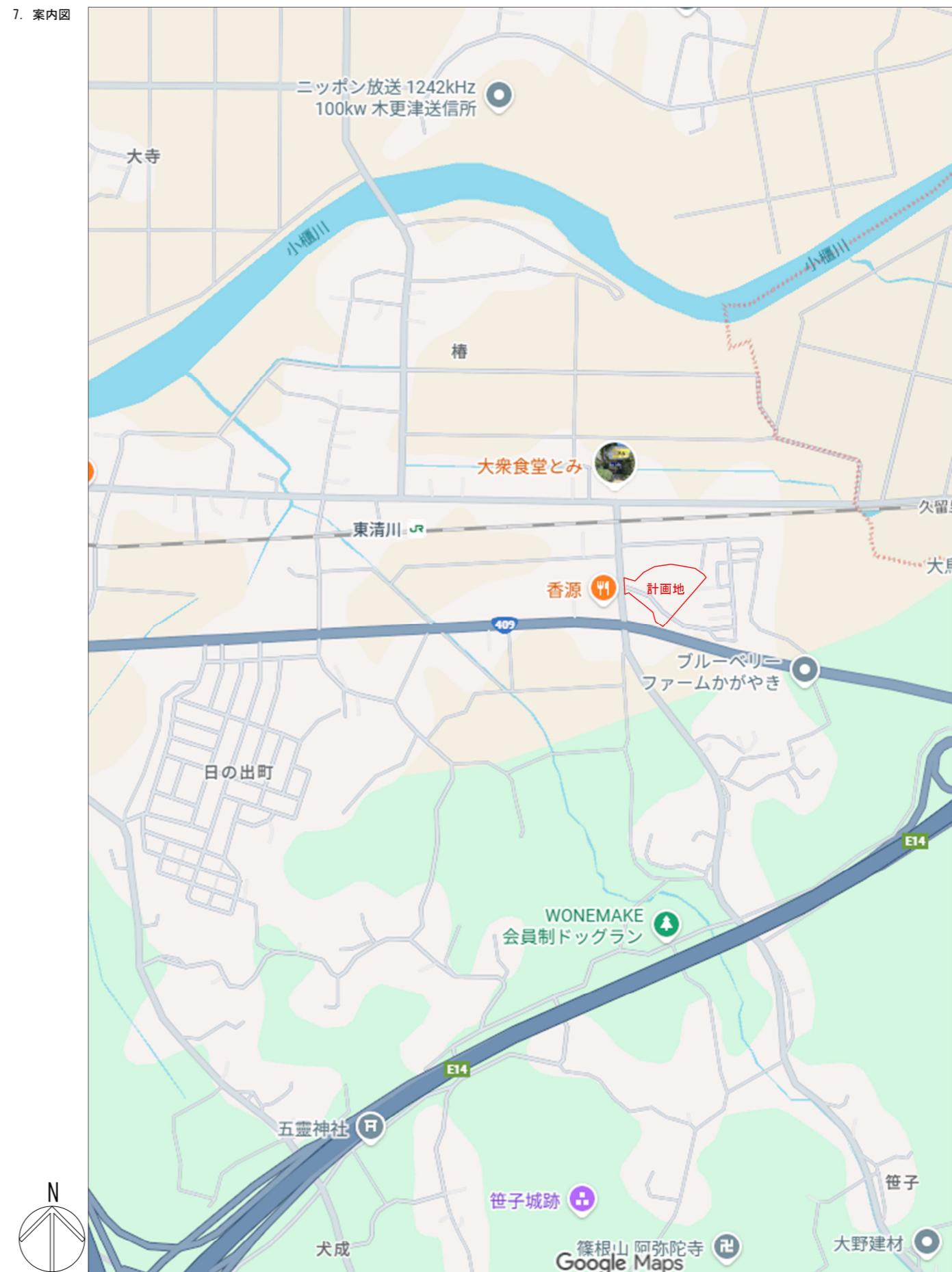
3. 構造規模	申請建物①: テント			
	構造	膜構造建築物(鉄骨造)	階数	地上1階建て
	構造形式	ラーメン構造	最高高さ	6.520m
	基礎	直接基礎	最高軒高	5.000m
	外壁	不燃膜材料クローザーV3	その他	

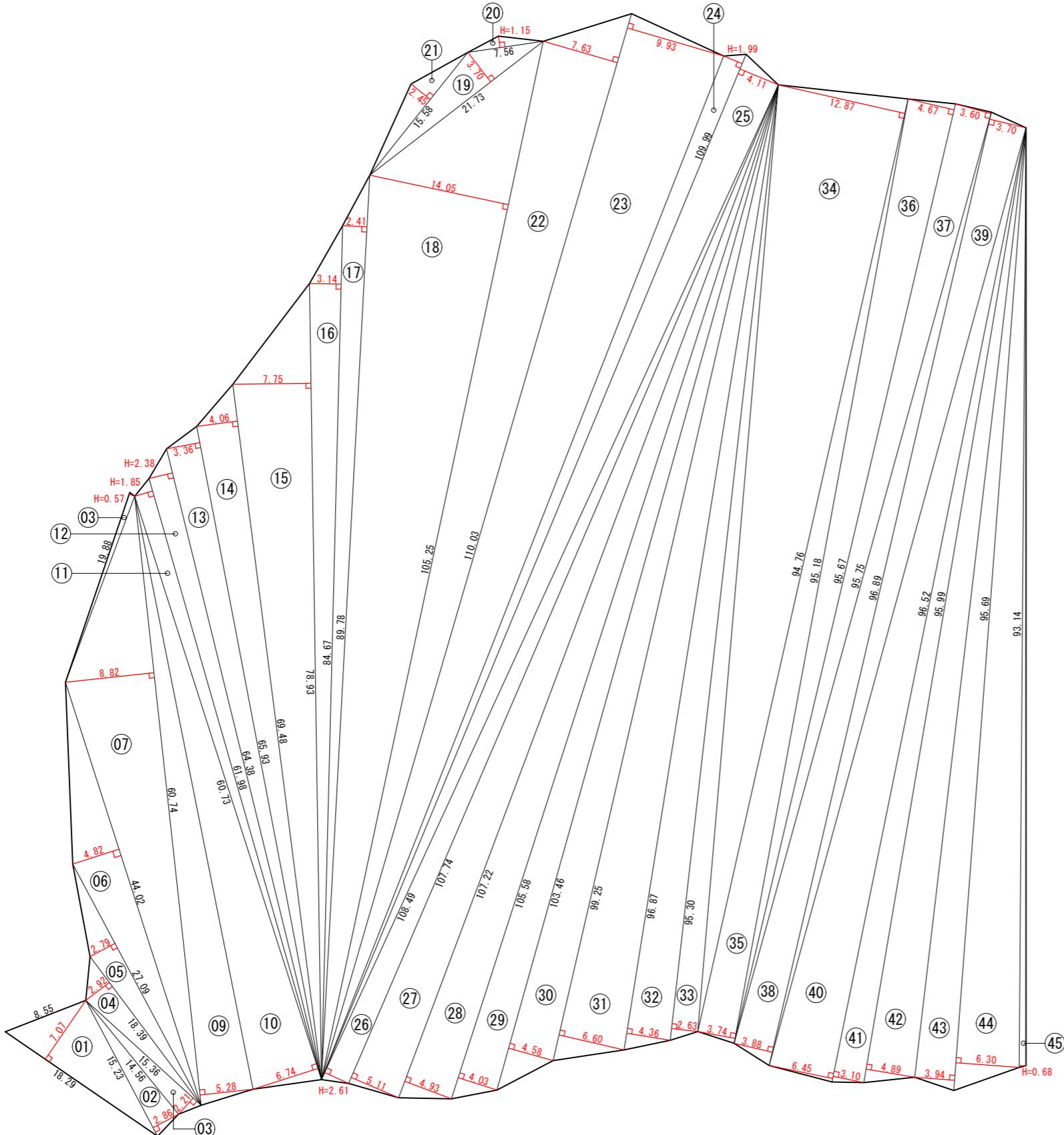
申請建物②: 重機格納庫			
構造	軽量鉄骨造	階数	地上1階建て
構造形式	ラーメン構造	最高高さ	4.035m
基礎	直接基礎	最高軒高	3.909m
外壁	SGCC F12等	その他	

申請建物③: 事務所			
構造	軽量鉄骨造	階数	地上1階建て
構造形式	ラーメン構造	最高高さ	2.925m
基礎	直接基礎	最高軒高	2.604m
外壁	複合パネル(外部仕上げ: カラー鋼板t0.5, フェノールフォームt40, カラー鋼板t0.5)		

4. 建築面積	建築面積			
テント	重機格納庫	事務所	合計	
300.00m ²	93.00m ²	51.81m ²	444.81m ²	
合計 444.81m ² (134.59坪)	建蔽率 444.81/8512.68=5.23% < 60%			

5. 床面積	床面積 (=容積対象床面積)			
テント	重機格納庫	事務所	合計	
300.00m ²	93.00m ²	51.81m ²	444.81m ²	
合計 444.81m ² (134.59坪)	容積率 444.81/8512.68=5.23% < 200%			





符号	底辺	高さ	面積(底辺×高さ÷2)
①	18.29	7.07	64.65515
②	15.23	2.86	21.77890
③	15.35	2.21	16.96175
④	18.39	2.92	26.84940
⑤	27.09	2.79	37.79055
⑥	44.02	4.82	106.08820
⑦	60.74	8.82	267.86340
⑧	19.88	0.57	5.66580
⑨	60.74	5.28	160.35360
⑩	60.73	6.74	204.66010
⑪	61.98	1.85	57.33150
⑫	64.38	2.38	76.61220
⑬	65.93	3.36	110.76240
⑭	69.48	4.06	141.04440
⑮	78.93	7.75	305.85375
⑯	84.67	3.14	132.93190
⑰	89.78	2.41	108.18490
⑱	105.25	14.05	739.38125
⑲	21.73	3.70	40.20050
⑳	7.56	1.15	4.34700
㉑	15.58	2.45	19.08550
㉒	110.03	7.63	419.76445
㉓	110.03	9.93	546.29895
㉔	109.99	1.99	109.44005
㉕	109.99	4.11	226.02945
㉖	108.49	2.61	141.57945
㉗	107.74	5.11	275.27570
㉘	107.22	4.93	264.29730
㉙	105.58	4.03	212.74370
㉚	103.46	4.58	236.92340
㉛	99.25	6.60	327.52500
㉜	96.87	4.36	211.17660
㉝	95.30	2.63	125.31950
㉞	94.76	12.87	609.78060
㉟	95.18	3.74	177.98660
㉟	95.67	4.67	223.38945
㉟	95.75	3.60	172.35000
㉟	96.89	3.88	187.96660
㉟	96.89	3.70	179.24650
㉟	96.52	6.45	311.27700
㉟	96.52	3.10	149.60600
㉟	95.99	4.89	234.69555
㉟	95.69	3.94	188.50930
㉟	95.69	6.30	301.42350
㉟	93.14	0.68	31.66760
合計			8512.67440
敷地面積			8512.68 m ²

Revision	Date

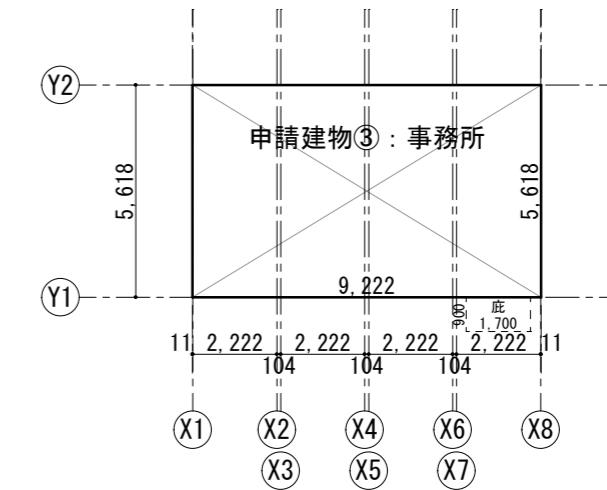
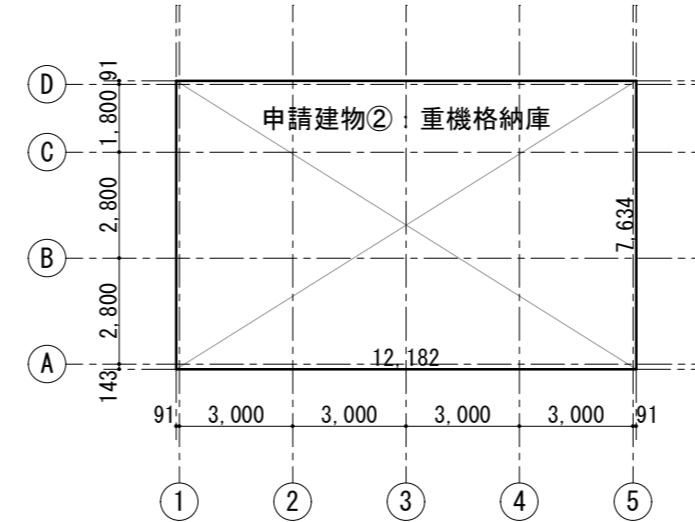
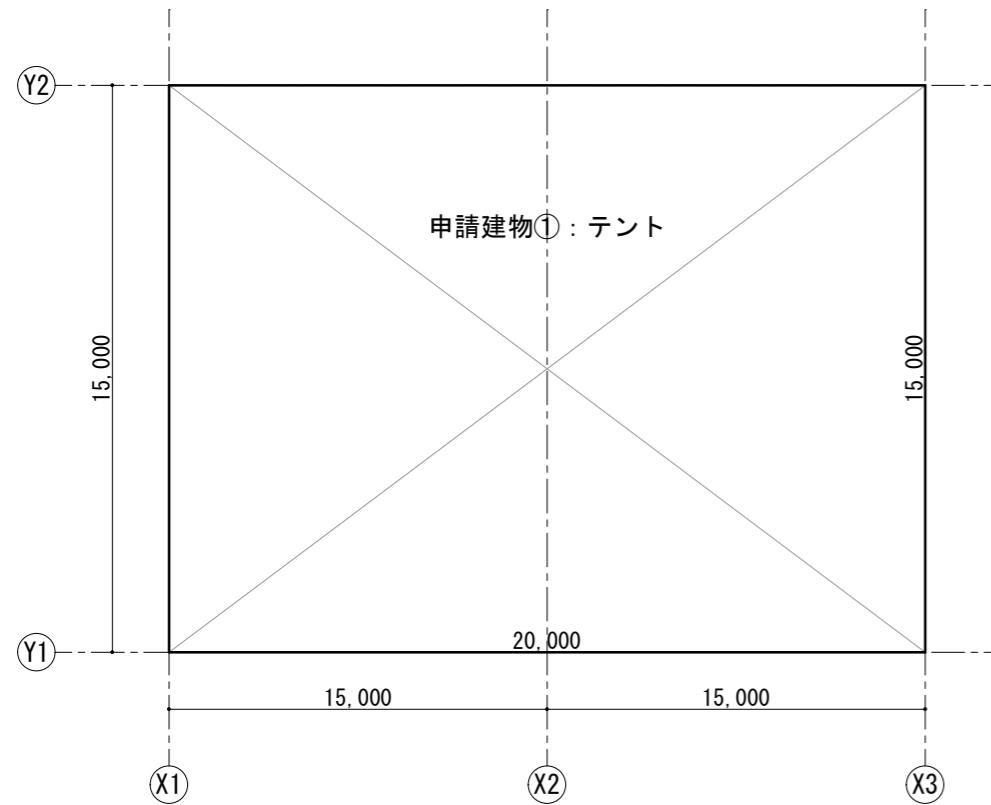
株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checked
Checked
Drawn

Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

Sheet content
敷地求積図

Scale
1/500
Sheet No.
A-008



申請建物①：テント		
横 [m]	縦 [m]	横 × 縦 [m ²]
20.000	15.000	300.00000
面積		300.00m ²

申請建物①：建築面積	300.00m ²
申請建物①：延床面積	300.00m ²

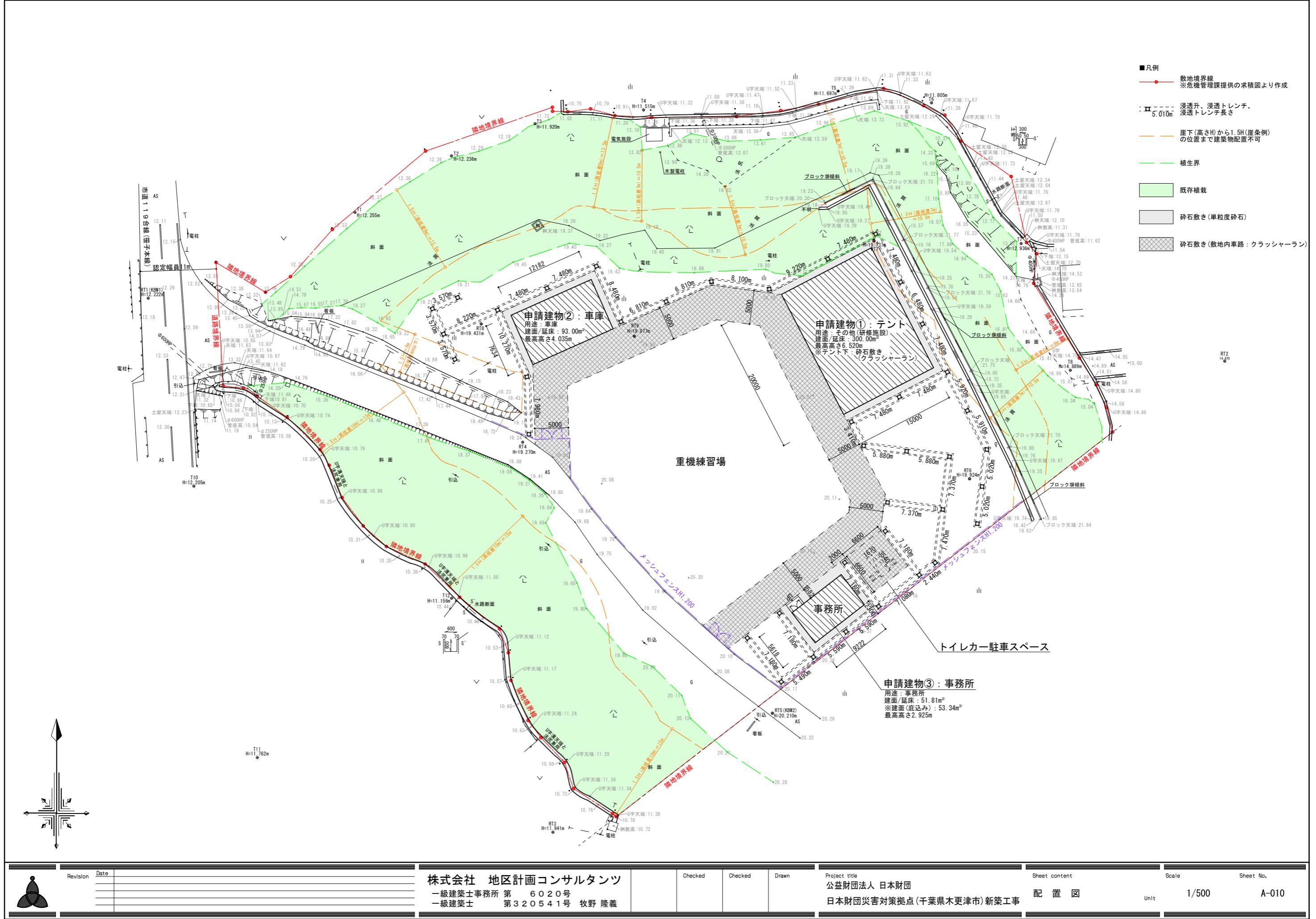
申請建物②：重機格納庫		
横 [m]	縦 [m]	横 × 縦 [m ²]
12.182	7.634	92.997388
面積		93.00m ²

申請建物②：建築面積	93.00m ²
申請建物②：延床面積	93.00m ²

申請建物③：事務所		
横 [m]	縦 [m]	横 × 縦 [m ²]
9.222	5.618	51.809196
面積		51.81m ²

申請建物③：建築面積	51.81m ²
申請建物③：延床面積	51.81m ²

合計建築面積(申請建物①②③合計)	444.81m ²
合計延床面積(申請建物①②③合計)	444.81m ²



膜構造建築物 標準仕様書

改訂 : 2025/03/31 Ver_1.0

1. 使用構造材料

種類		備考
SS400	JIS G3101	
SN490B	JIS G0901	
STK400	JIS G3444 バイブ鋼管	
STKR400	JIS G3466 角型鋼管	
BCR295/TSC295	大臣認定品 200角形鋼管以上	

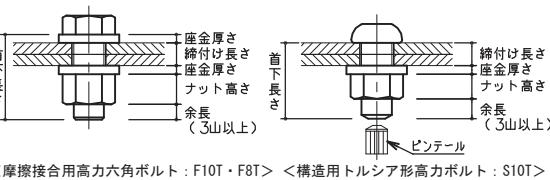
(2) ボルト

高力ボルト	<input type="checkbox"/> S10T (F10T) ※告示666号鉄骨塗装時 <input checked="" type="checkbox"/> F8T (溶融亜鉛メッキ高力ボルト) ※上記以外時 高力ボルト滑り係数試験 <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否 ※孔径ボルト径+2mm
中ボルト	JIS規格品(スプリングワッシャ付)※孔径 構造部材はボルト径+1mm 構造部材以外はボルト径+2mm
アンカーボルト	<input checked="" type="checkbox"/> SNR490B <input checked="" type="checkbox"/> ABR490 ※M27以上

※但し図面による指示がある場合は詳細図による。特記なき限りボルトは中ボルトを使用

ボルトの長さ

ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ	
	F8T・F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



※ 上記を考慮した後、採用長さは一捨二入、六捨七入とする

- 特記以外は全てF10T又はS10T（トルシア形高力ボルト、上図）とする。
- ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グラインダー掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。
- 締付けは1次締付け後、マーキングを入れてから本締めをする。
- 溶融亜鉛メッキボルトの場合は全てF8Tとする。

■ 高力ボルトの締付け順序は

部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締める。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

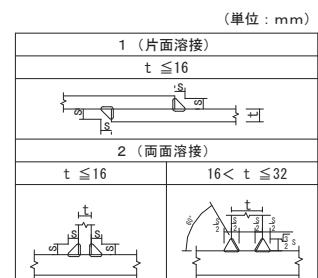
2. 鉄骨工事

(1) 溶接

隅肉溶接のサイズ		(単位: mm)
t	2.3 3.2 3.5~4.5 5~6 9 12 14 16	
S	3 4 5 6 7 9 10 12	

(単位: mm)	
1 (片面溶接)	t ≤ 16
2 (両面溶接)	t ≤ 16 16 < t ≤ 32

※ 軽鋼構造設計施工指針による



(2) 接合部の検査

■ 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率 %			備考
		社内	第三者	工事監理者	
□ 突合せ溶接部	超音波探傷試験(UT)	100 %	30 %	- %	
■ すみ肉溶接部		個	個	個	
□	漫透探傷検査(PT)	100 %	30 %	- %	
□	外観(目視)検査(VT)	100 %	%	%	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名	C I W認定業者				
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

3. 塗装

溶融亜鉛メッキ

■ めっきの基準、種類及び記号は下表を標準とし、鋼材の厚みにより付着量を決定する。

種類	膜厚(μm)	適用例
HDZT 35	35 以上	厚さ5mm以下の素材、直径12mm以上のボルト・ナット、厚さ2.3mmを超える座金などで、遠心分離によって亜鉛のたれ切りをするもの又は機能上薄い膜厚が要求されるもの
HDZT 42	42 以上	厚さ5mmを超える素材で、遠心分離によって亜鉛のたれ切りをするもの又は機能上薄い膜厚が要求されるもの
HDZT 49	49 以上	厚さ1mm以上の素材、直径12mm以上のボルト・ナット及び厚さ2.3mmを超える座金
HDZT 56	56 以上	厚さ2mm以上の素材
HDZT 63	63 以上	厚さ3mm以上の素材
HDZT 70	70 以上	厚さ5mm以上の素材
HDZT 77	77 以上	厚さ6mm以上の素材

※適用例の欄に示す厚さ及び直径は、公称寸法による。

※ 特別な指定がない場合には、柱脚のコンクリート埋込部は不メッキ処理を行わない事とする。

5. 膜工事

(1) 膜材料【本体】

種類 A種 B種 C種 テント倉庫用膜材料

品名・品番 (クローザーV3)

建築材料認定番号 (MMEM-0058)

防火材料認定番号 (NM-5361)

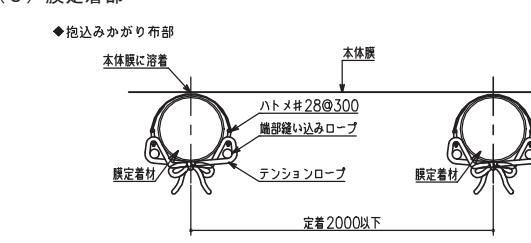
(2) 膜接合部

	膜接合部	溶着幅	端末ハトメピッチ
告示666号	第2第5項に規定する	40mm 以上	100mm 以下
告示667号	第2第6項に規定する	20mm 以上	150mm 以下

※但し図面による指示がある場合は詳細図による。



(3) 膜定着部



6. 製作・施工

■ 膜工事

一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること

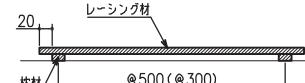
IS09001を導入している企業とすること

建設業許可業種として屋根工事業、鋼構造物許可を得ていること

日本各地域に「S種膜施工技術者」が駐在する事業所を有し、緊急時の対応が可能であること

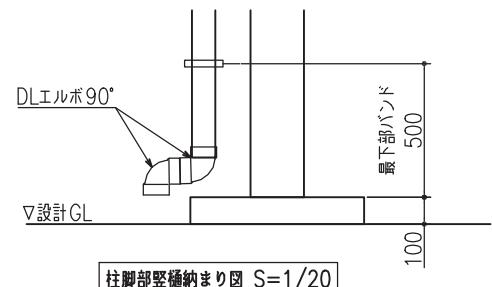
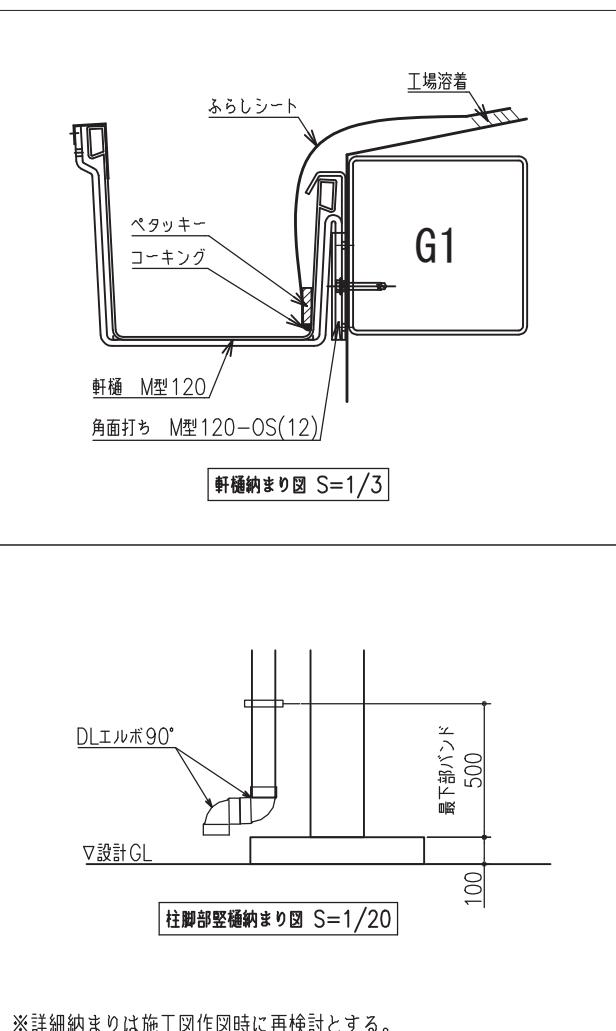
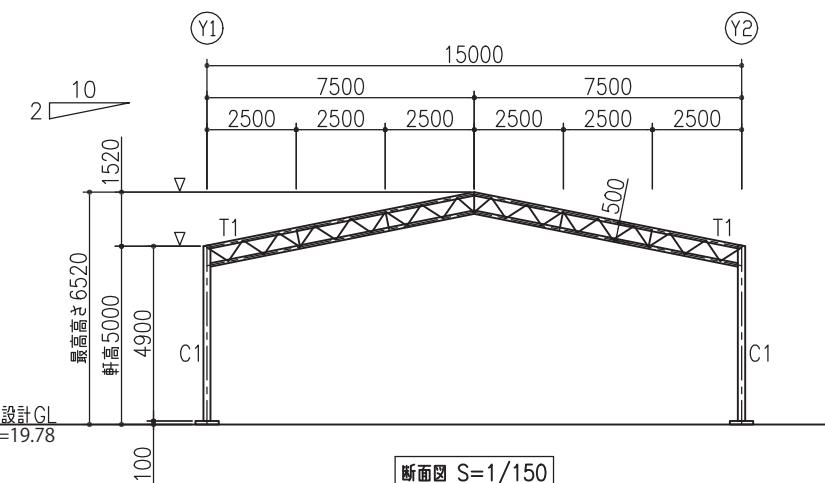
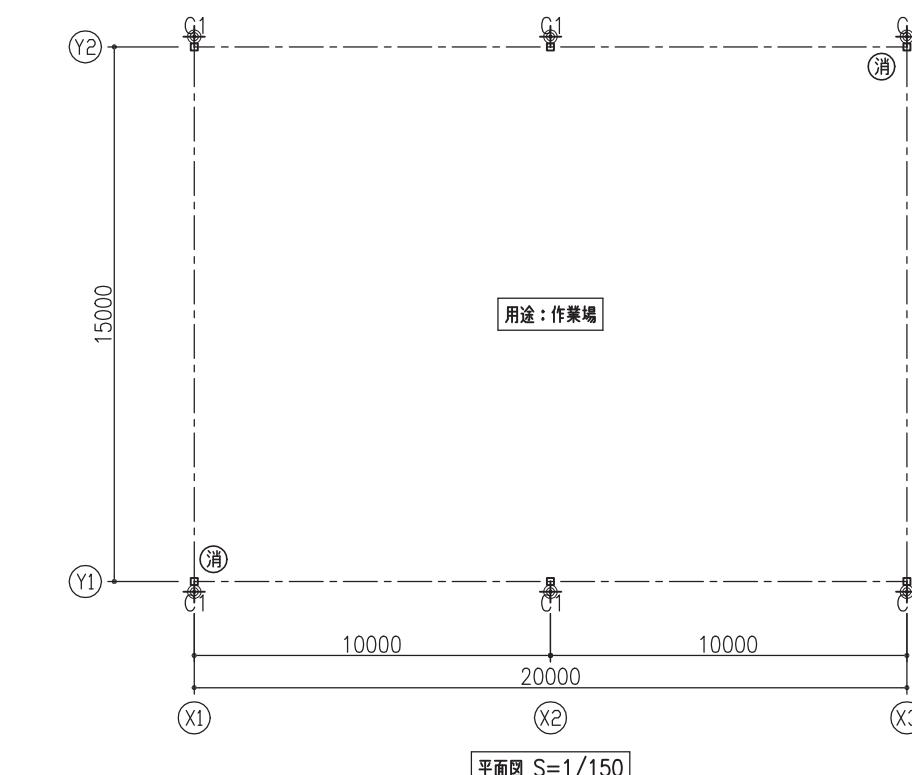
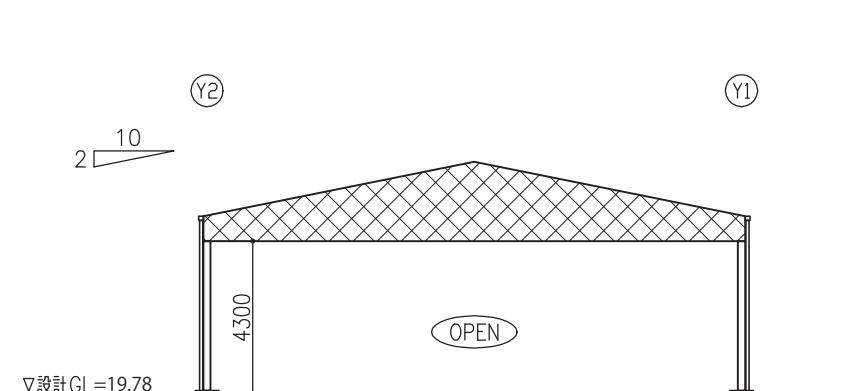
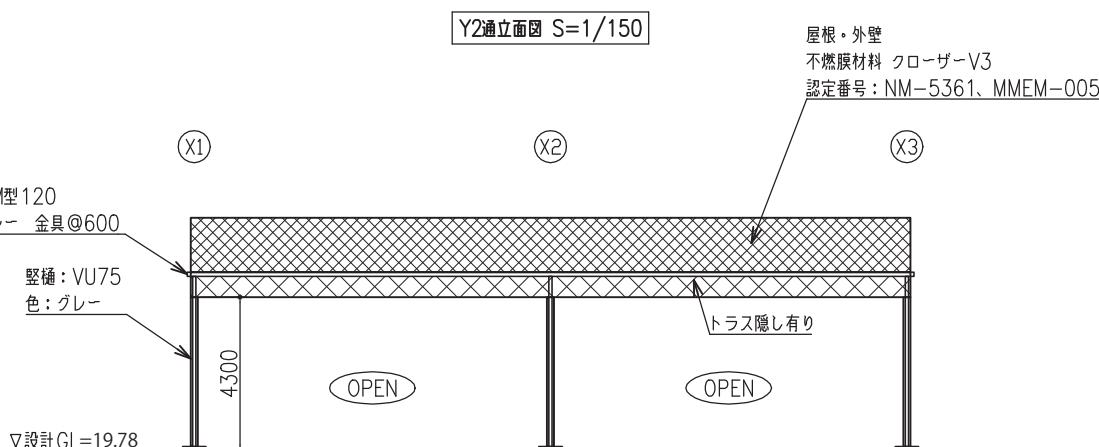
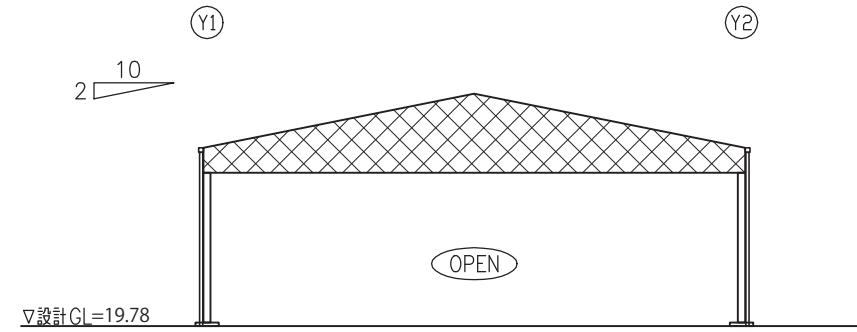
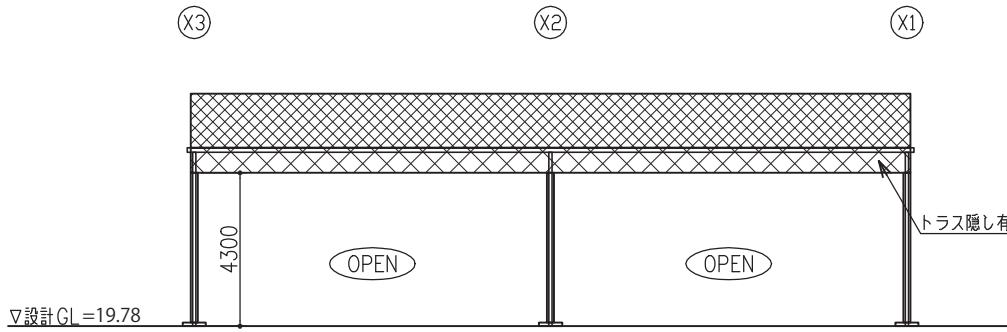
■ 鉄骨工事

鉄骨製作は、膜構造を熟知した製作会社とする



山口産業株式会社 産業用テント同等品

Revision	Date	株式会社 地区計画コンサルタント	Checked	Checked	Drawn	Project title	Sheet content	Scale	Sheet No.
		一級建築士事務所 第 6020号 一級建築士 第320541号 牧野 隆義				公益財団法人 日本財団 日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事	テント:膜構造建築物 標準仕様書	Non Scale	A-011

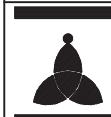


※詳細納まりは施工図作図時に再検討とする。

設計条件: 風速 38m/s、積雪 30cm	
用途	作業場
建築面積	15.0m × 20.0m = 300.00m ²
延べ面積	15.0m × 20.0m = 300.00m ²
国交省平成14年告示666号による膜構造建築物	

※LVSおよびシックハウスについては全面開口のため省略
その他: 石綿・クロルビリホス・ホルムアルデヒド等は使用しない

山口産業株式会社 産業用テント同等品



Revision Date

株式会社 地区計画コンサルタンツ
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checked

Checked

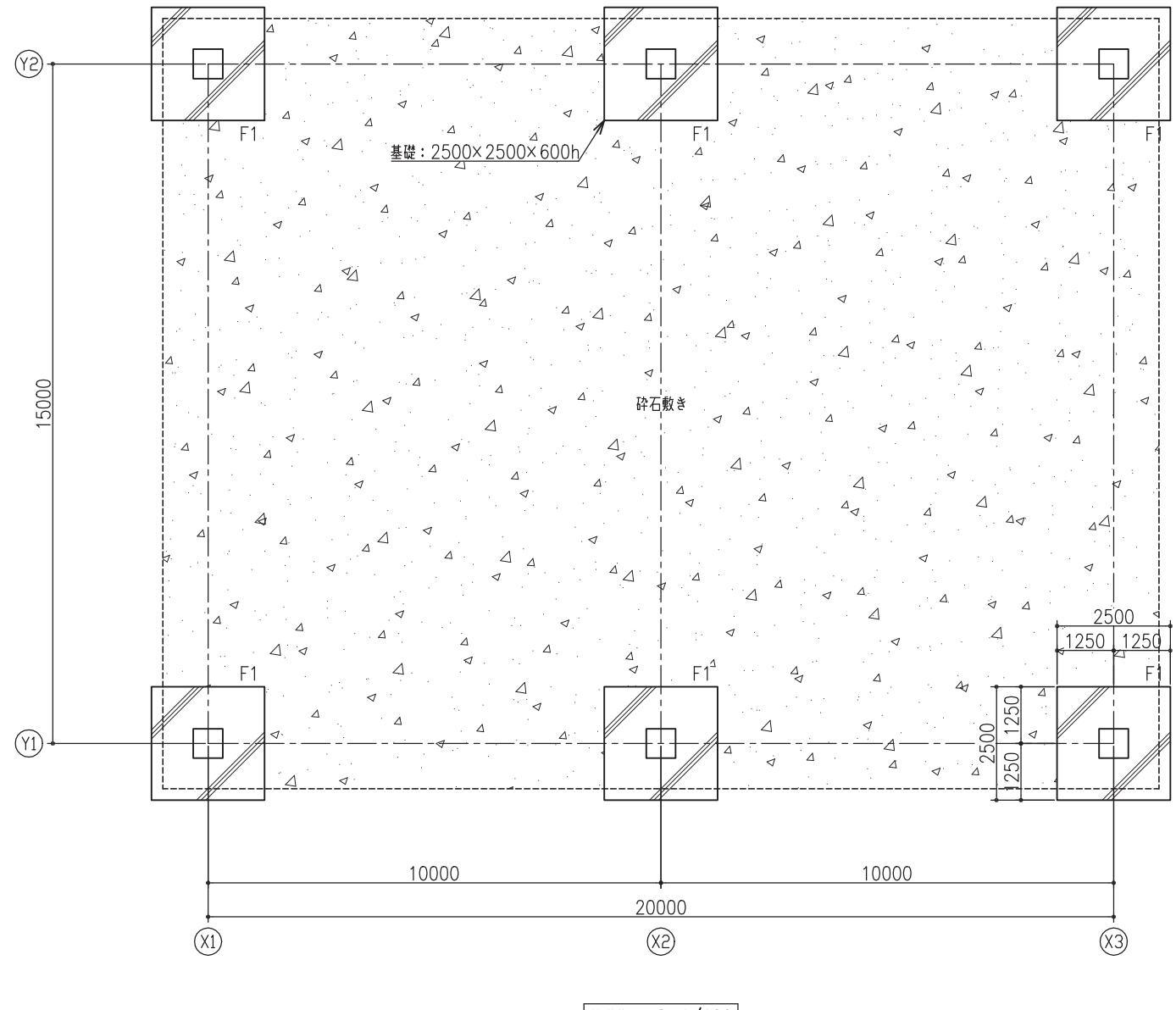
Drawn

Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

Sheet content
テント: 平面図・立面図
断面図

Scale
S=1/150
Sheet No.
A-012

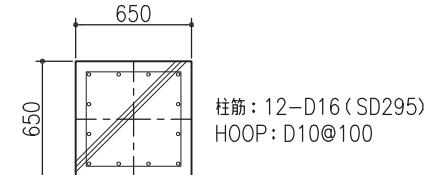
A2:100%, A3:70.7%



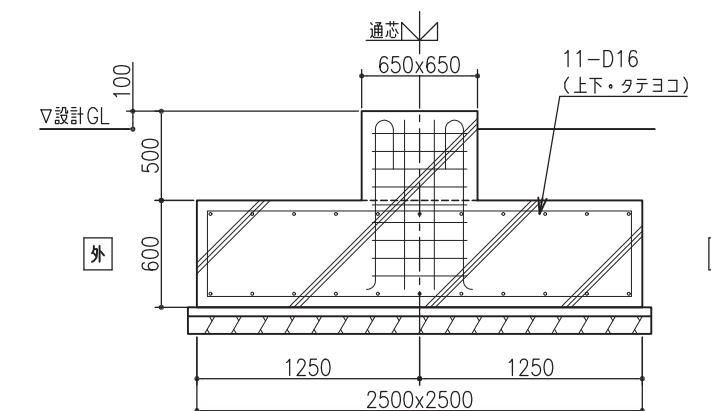
基礎伏図 S=1/100

コンクリート	設計基準強度: $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
	打設強度: $F_q = 21 + 3 = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上
鉄筋	SD295(全て重ね継ぎ手)

- ※アンカーボルト、アンカーセットは基礎工事に含みます。
- ※地耐力及び構造計算により、基礎形状が変わる場合があります
- ※コンクリートの施工方法については『JASS5』の規定に従う
- ※基礎部鉄筋最小かぶり厚さ 60mm以上
- ※設計地耐力：長期30KN/m²



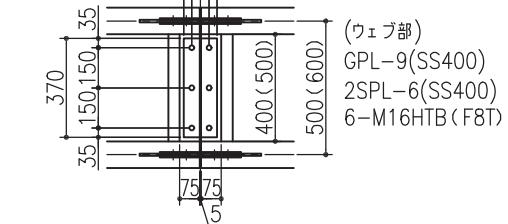
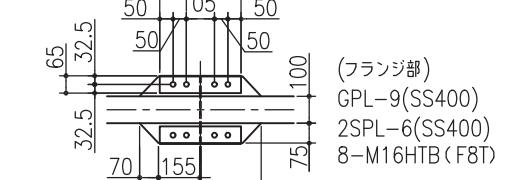
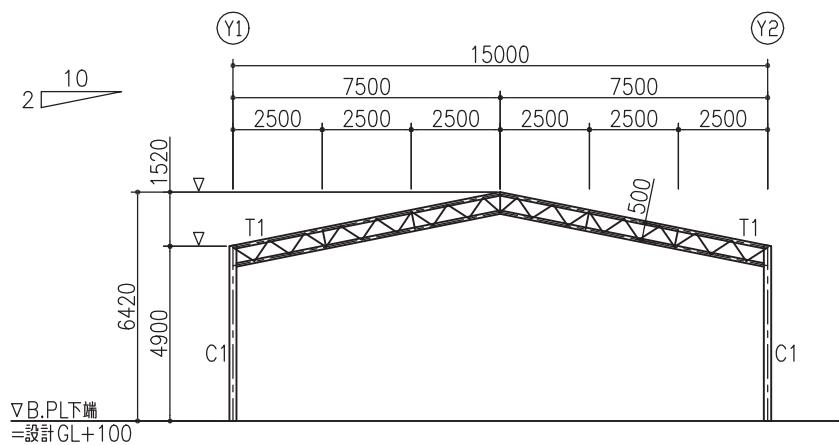
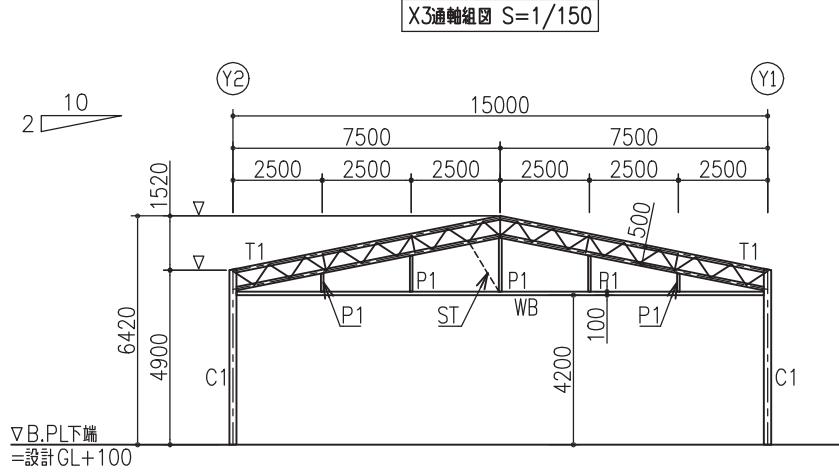
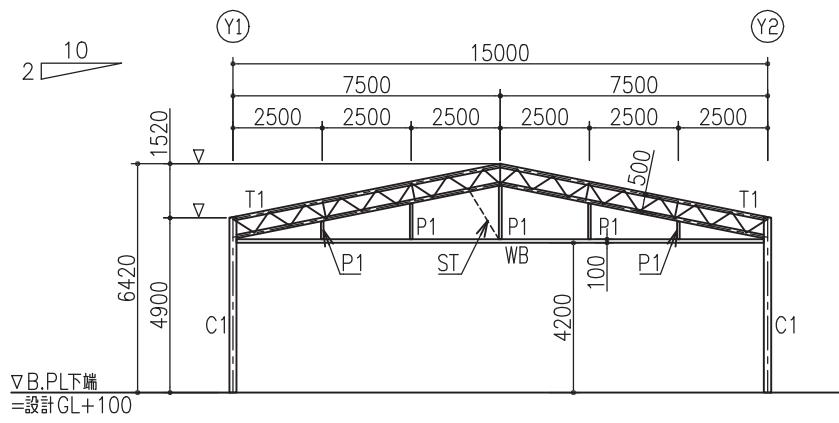
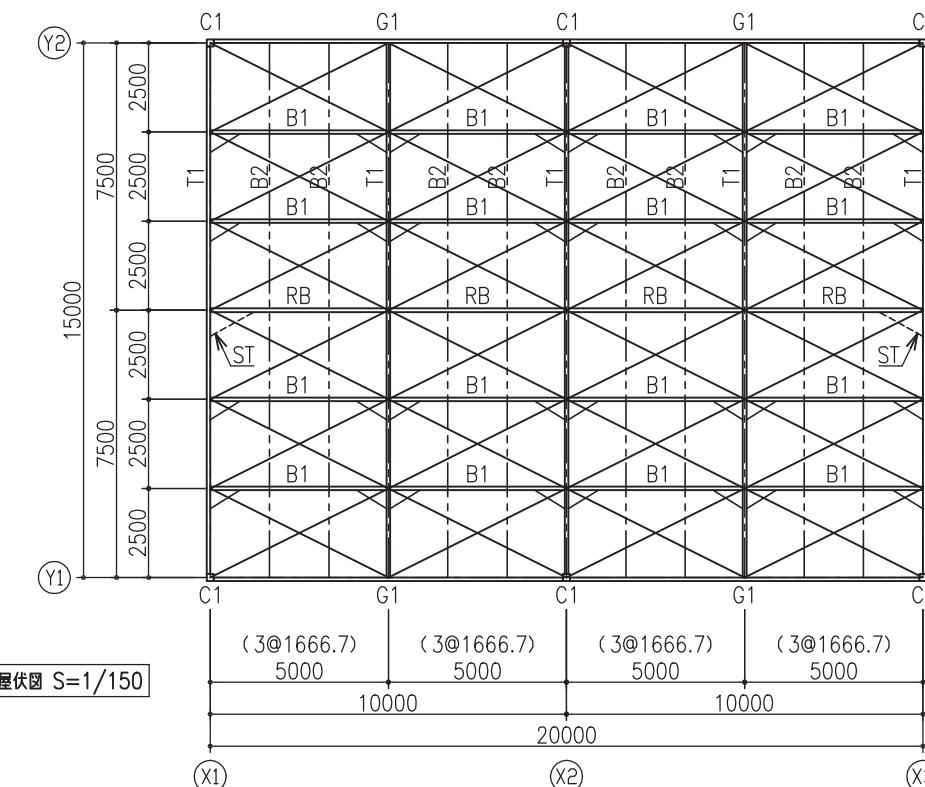
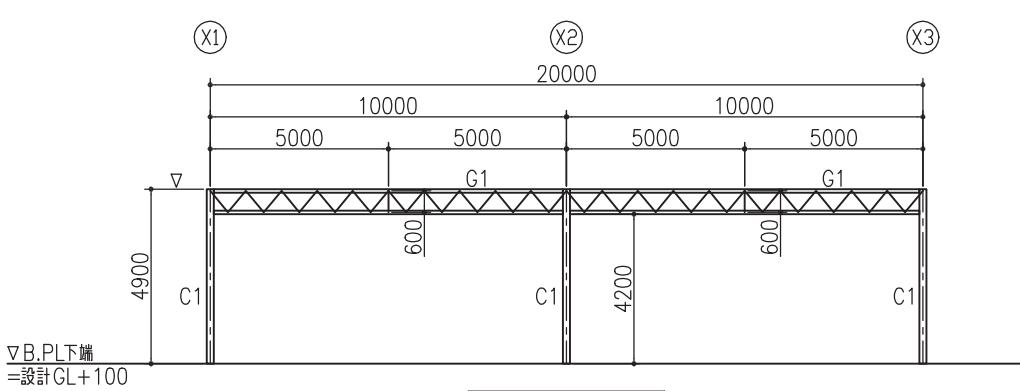
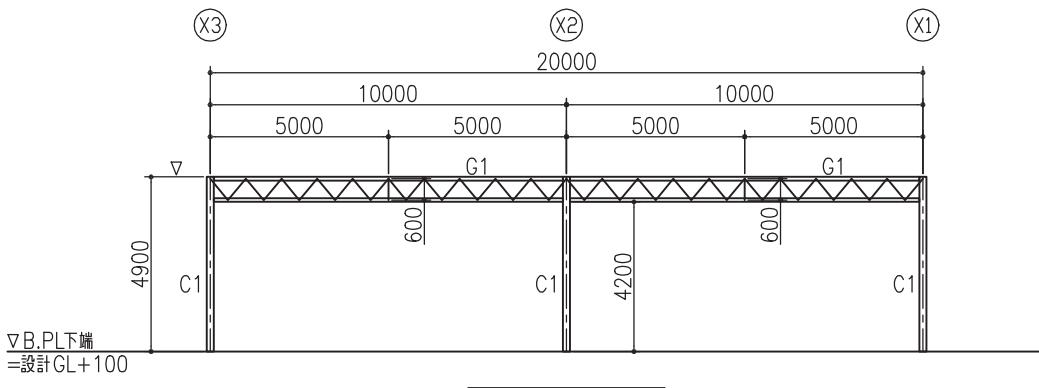
柱筋: 12-D16 (SD295)
Hoop: D10@100



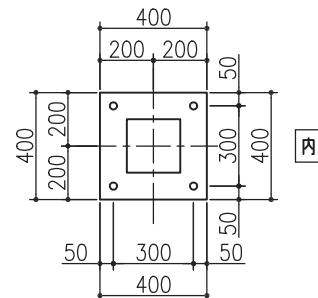
基礎詳細図 S=1 / 30

一級建築士第345960号
家原 賢一

山口産業株式会社 産業用テント同等品



T1・G1 Joint部詳細図 S=1/20



B.PL-25(SNR490B)
A.BOLT M22(SNR490B 転造ネジ)
定着長さ: 440(丸平座金付。W.NT)

C1 B.PL詳細図 S=1/20

部材リスト		風速 38m/s	積雪 30cm
記号	使用材料	規 格	接合部
C1	□- 200x200x9	BCR295/TSC295	鉄骨詳細図参照
T1	2口- 100x100x2.3 H=500	STKR400	鉄骨詳細図参照
	ラチス φ 42.7x2.3	STK400	
G1	2口- 100x100x2.3 H=600	STKR400	鉄骨詳細図参照
	ラチス φ 42.7x2.3	STK400	
RB	2口- 100x100x2.3 H=600	STKR400	GPL-6,3-M16中ボルト
	ラチス φ 42.7x2.3	STK400	
B1	□- 100x100x2.3 方柱 L-50x50x4	STKR400 SS400	GPL-6,2-M16中ボルト GPL-6,1-M16中ボルト
B2	φ 60.5x3.2 @1666.7	STK400	GPL-6,2-M16中ボルト
P1	□- 75x75x2.3	STKR400	GPL-6,2-M16中ボルト
WB	□- 150x100x3.2	STKR400	GPL-6,2-M16HTB
ST	□- 75x75x2.3	STKR400	GPL-6,2-M16中ボルト
	M16(屋根プレース)	SNR400B	鉄骨詳細図参照
※中ボルトは全てねじ座金を使用する。			
鉄骨仕上: 溶融亜鉛メッキ			
膜 材 料: クローラーV3 鋼無し 色: 未定			
認定番号: NM-5361, MMEM-0058			

一級建築士第345960号

家原 賢一

山口産業株式会社 産業用テント同等品



Revision

Date

株式会社 地区計画コンサルタント

一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checked

Checked

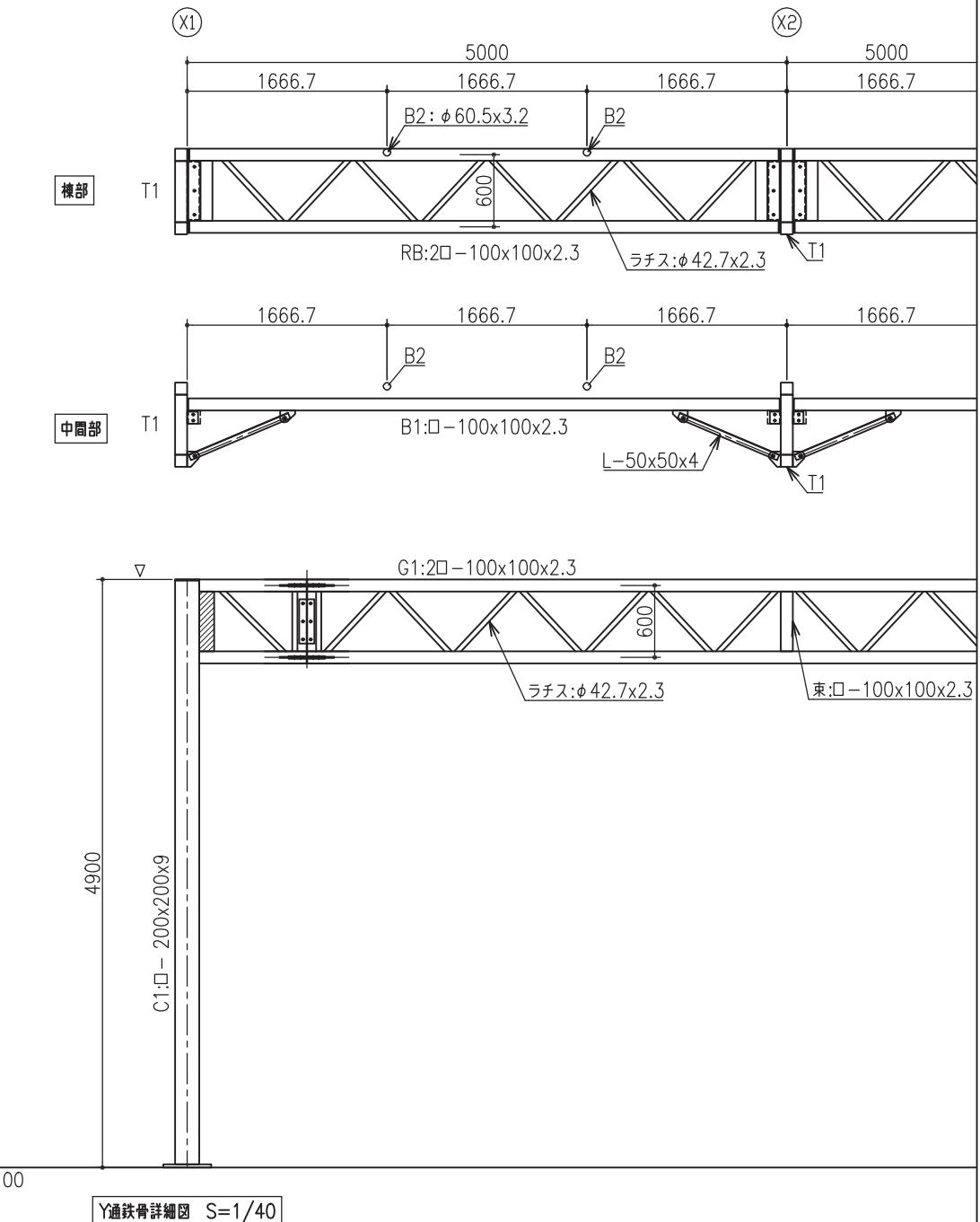
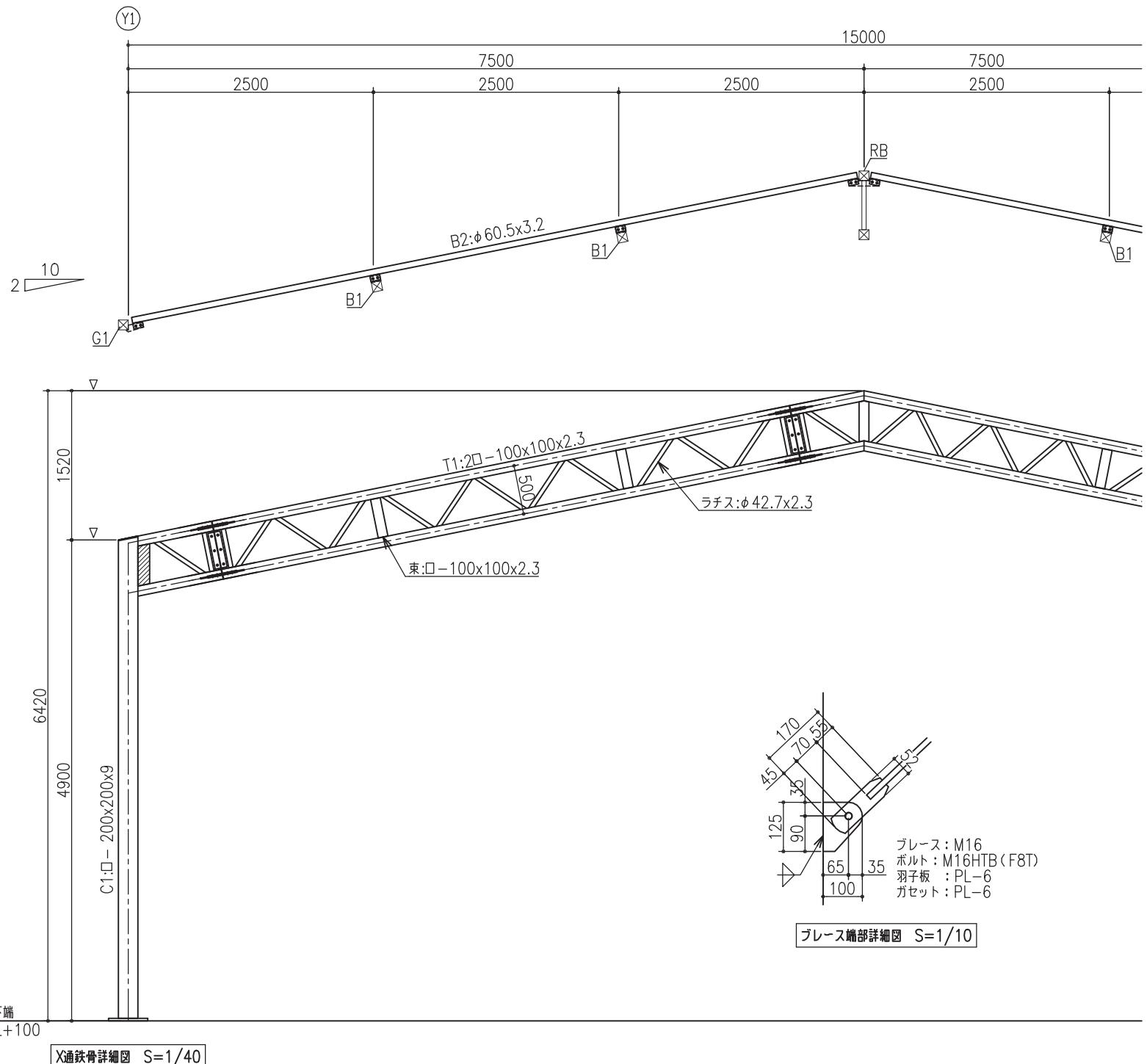
Drawn

Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

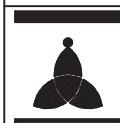
Sheet content
テント:小屋伏図・軸組図
•部材リスト

Scale
S=1/150・20
Sheet No.
A-014

A2:100%, A3:70.7%



山口産業株式会社 産業用テント同等品
一級建築士第345960号
家原 賢一



Revision Date
S=1/40

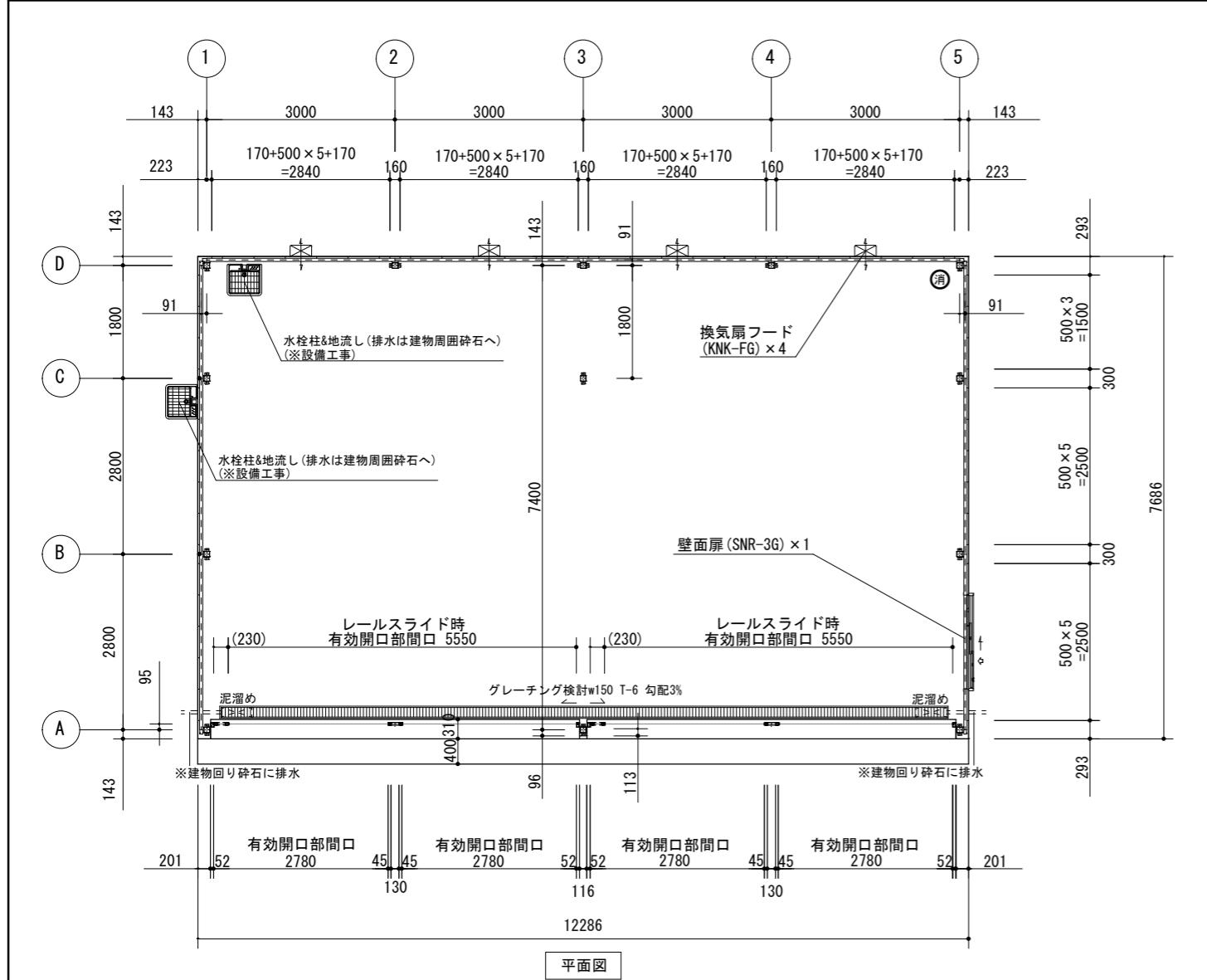
株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checked
Checked
Drawn

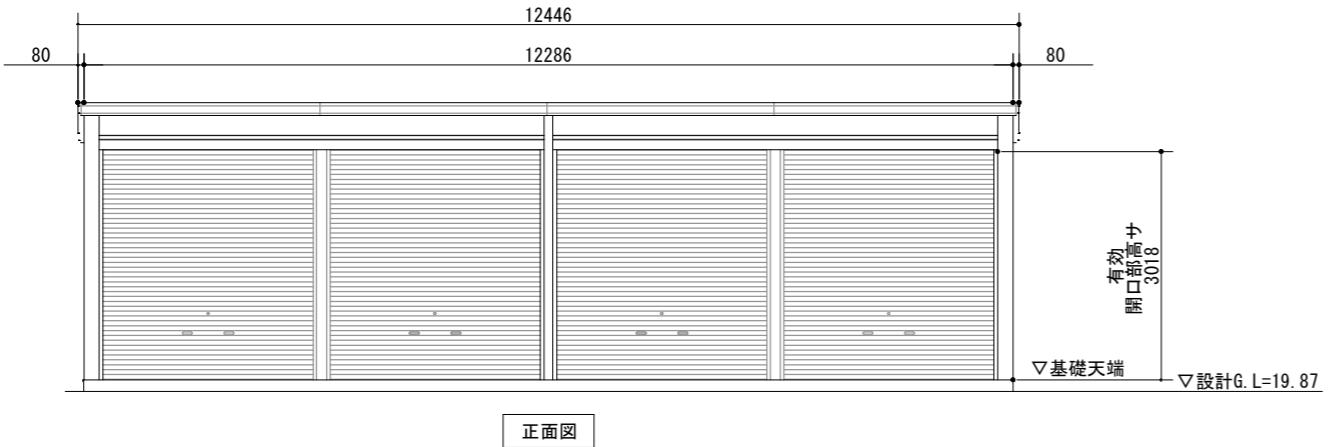
Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事
Sheet content
テント:鉄骨詳細図

Scale
S=1/40・10
Sheet No.
A-015
Unit

A2:100%, A3:70.7%



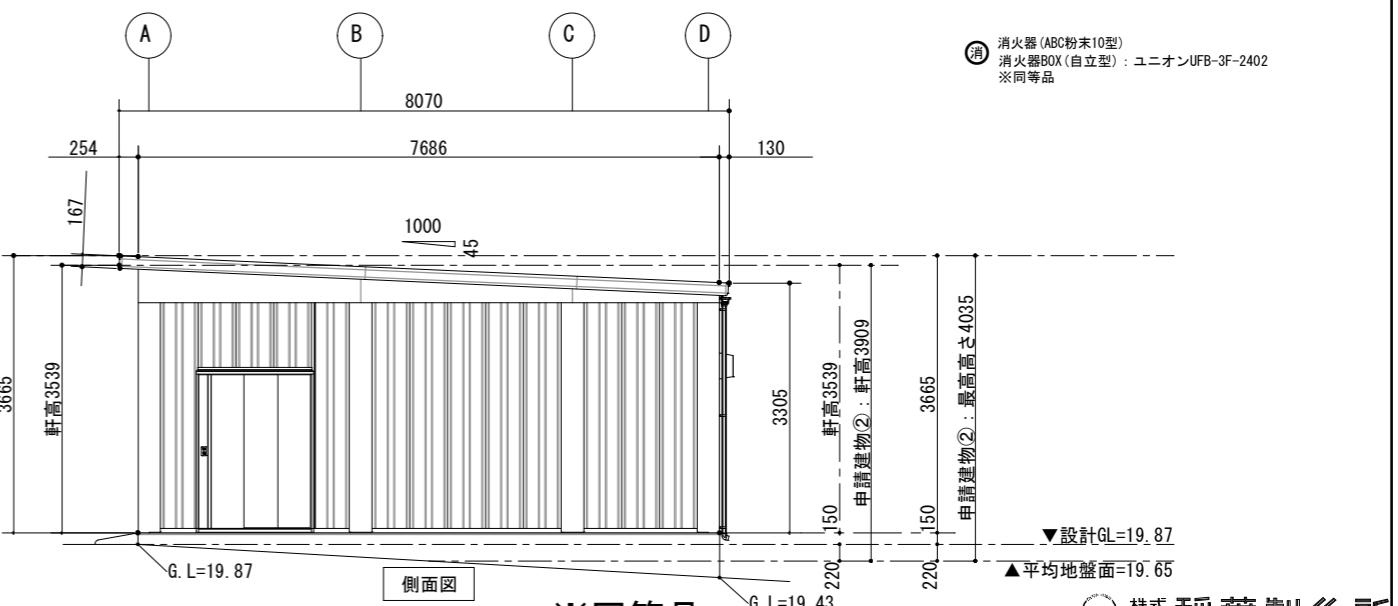
平面図



正面図

品番	部品名	材料(材質)	単位mm
1	水切板	SGCC F12	0.5
2	ベースプレート	SS400	6.0
3	柱後・中・前・中央※	STKR400 F12	2.3
4	土台取付金具	SGHC F12	1.6
5	土台	SGCC F12	1.2
6	桁後	SZAH400 Y10	2.3
7	桁前	SZAH400 Y10	2.3
8	プレートA	SZAH400 Y10	2.3
9	プレートB	SGH400 F12	3.2
10	コーナー金具(2.5連棟以上)	SZAH400 Y10	2.3
11	梁中(2.5連棟以上)	SZAH400 Y10	2.3
12	母屋	SZAH400 Y10	2.3
13	小梁	SZAH400 Y10	2.3
14	上胴縁	SZAH400 Y10	2.3
15	化粧柱後・中・前	SGCC F12	1.0
16	桁前幕板(ハーフタイプのみ)	SZACC Y10	0.7
17	桁後幕板	SZACC Y10	0.7
18	梁左右幕板	SZACC Y10	0.7
19	屋根	CGLCCR AZ150	0.6
20	妻板左右	SZACC Y10	0.7
21	鼻隠シ前・後	SZACC Y10	0.7
22	壁パネル	SGCC F12	0.5
23	胴縁	SGHC F12	1.6
24	プレース(JIS A 5540)	SS400/SNR400B M10,12	
25	シャッター	CGC400 Z08	0.5
26	シャッターカバー	SZACC Y10	1.0
27	シャッターレール	SGCC Z08	1.0
	移動柱(2連棟以上)	SGHC F08	1.6
28	雨樋	PVC	

※柱中央は2.5連棟以上の場合のみ使用



※ 同等品

外 形 図

機種名

SGN-376GPB-4

〈縮尺〉 S=1/100
～一般型～

四四

之二般空

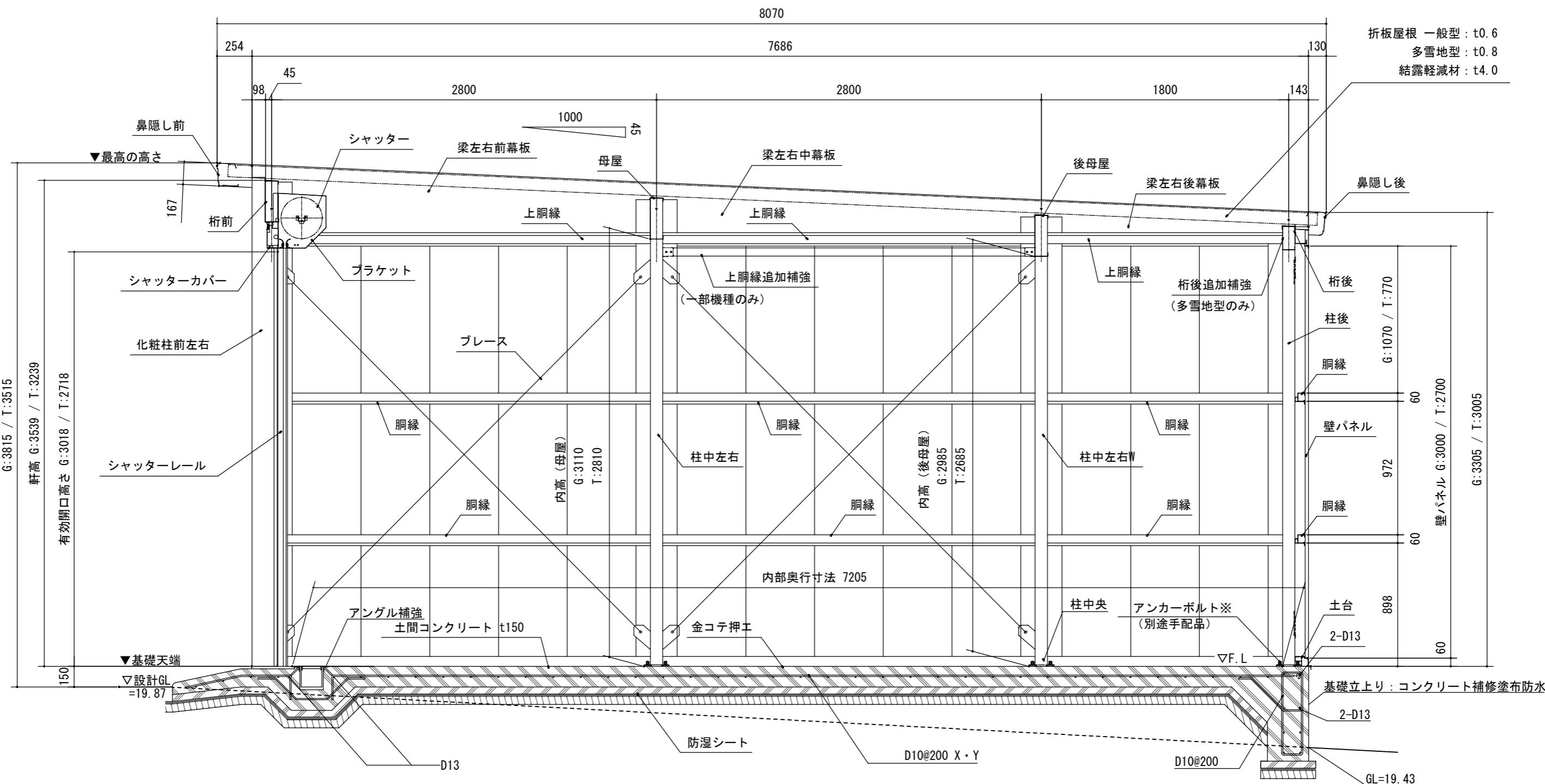
(续四) 2-1/100

四四

之二般空

○有効開口寸法: 2780(5550) × 3018(mm)

○床面積:93.00m²(28.18坪)



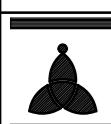
- ※アンカーボルト
 - ・M12×240～300
 - 又は
 - ・W1/2×240～300

侧面断面図

機種名

〈縮尺〉

INB 株式会社 稲葉製作所



構造設計標準仕様

O 1 建築物の構造内容		適用は <input checked="" type="checkbox"/> 印を記入する。																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p>1. 工事名称 日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事(重機格納庫基礎)</p> <p>建築場所 千葉県木更津市 笹子字林崎589番3の一部</p> <p>2. 工事種別 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 増改築 <input type="checkbox"/> 改築</p> <p>3. 構造種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 木造(W) <input type="checkbox"/> 強化コンクリートブロック造(CB) <input type="checkbox"/> 鋼骨造(S)・庇 <input type="checkbox"/> 鋼筋コンクリート造(RC) <input type="checkbox"/> 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)・塔屋 <input type="checkbox"/> 鋼骨鉄筋コンクリート造(SRC) <input type="checkbox"/> 壁式プレキャスト・鉄筋コンクリート造(WPRC) <input type="checkbox"/> プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC) <input type="checkbox"/> 軽量鉄骨造 <p>4. 路数 地下 1 路 地上 1 路 塔屋 1 路</p> <p>5. 主要用途 車庫</p> <p>6. 屋上付属物</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 広告塔 <input type="checkbox"/> 高架 水槽 ton <input type="checkbox"/> 非常用発電機 <input type="checkbox"/> 燃油油庫 <input type="checkbox"/> 煙突 <input type="checkbox"/> キュービックル ton <input type="checkbox"/> 制御盤基礎 <input type="checkbox"/> 排気ファン <p>7. 増築計画 <input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>8. 付帯工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 門扉 <input type="checkbox"/> 擃壁 <input type="checkbox"/> ○ ○ ○ <p>9. 特別な荷重</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> エレベーター 人乗(ロープ式 油圧式 機械室レス) <input type="checkbox"/> リフト ton <input type="checkbox"/> ホイスト ton <input type="checkbox"/> 倉庫積載用 kg / m² <input type="checkbox"/> 煙突 <p>10. 構造計算ルート X方向ルート -(-) Y方向ルート -(-)</p> <p>11. 用途係数</p>		<p>5. 高力ボルト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>高力ボルトの種類</th> <th>使用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トルシア形高力ボルト</td> <td>S10T 全般</td> </tr> <tr> <td>JIS S形高力ボルト</td> <td>F10T トルシア形が使用できない部分</td> </tr> <tr> <td>溶接型鉄メキシ高力ボルト</td> <td>F8T</td> </tr> </tbody> </table> <p>普通ボルト...アンカーボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 材質 <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SS490(M以上) <input type="checkbox"/> SNR400 <input type="checkbox"/> SNR490(M以上) 2) 大臣認定柱脚(メーカー仕様による) <input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない <p>6. 屋根、床、壁</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚</th> <th>100</th> <th>使用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ A板</td> <td>厚</td> <td>H = 1.2</td> </tr> <tr> <td>○ 折板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ ディキフレート</td> <td>型式</td> <td>QL-99-50-12 厚</td> </tr> <tr> <td>○ キーストフレート</td> <td>型式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 合金スラブ</td> <td>型式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 挂型枠</td> <td>型式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>0 3 地盤</p> <p>1. 地盤調査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 有() 敷地内() 近隣() <input type="checkbox"/> サウンディング試験 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input type="checkbox"/> 水平地盤反力係数の測定 <input type="checkbox"/> 無() 調査予定 <input type="checkbox"/> 有() 無() 土質試験 <p>2. 地盤調査計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ポーリング調査 <input type="checkbox"/> 静的貫入試験 <input type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 水平地盤反力係数の測定 <input type="checkbox"/> 土質試験 <input type="checkbox"/> 物理探査 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <p>3. 地盤調査及び試験坑の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある</p> <p>4. ポーリング標準貫入度、土質構成(基盤、杭の位置を明記すること) □ ポーリングデーター参照</p> <p>0 4 地業工事</p> <p>1. コンクリート JIS A 5308</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> <th>設計基準強度 Fc=N*</th> <th>スランプ cm</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接着剤</td> <td>普通</td> <td>13.5</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>基礎、基礎梁</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>柱、梁、床、壁</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>ラップコンクリート</td> <td>普通</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>押えコンクリート</td> <td>普通</td> <td>13.5</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>水セメント比50%以下(捨てコンクリート・土間コンクリート・押さえコンクリートを除く) 単位水量1.85kg/m³以下</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画供用期間の級</th> <th>耐久設計基準強度 Fd(N*)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>長期</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>超長期</td> <td>36⁽¹⁾</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) かぶり厚さを 10mm 増やした場合は 30(N*)とする ことが出来る。</p> <p>コンクリートの品質基準強度(発注強度)</p> <p>イ) MAX ($F_{\text{g}}=F_{\text{c}}$ * $F_{\text{g}}=F_{\text{c}}$ 品質基準強度 $F_{\text{g}}=F_{\text{d}}$ 設計基準強度 $F_{\text{d}}=F_{\text{c}}$ 耐久設計基準強度) 調合管理強度 $F_{\text{m}}=F_{\text{g}}+nG_n$ (N *)</p> <p>適応部位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高さが 4m または延べ面積が 30m² を超える建築物(杭・内部土間コンクリートを含む) ・高さが 15m を超える柱(門) ・高さが 3m を超える床 ・高さが 2m を超える擁壁(立駐ピット) <p>ロ) $F_{\text{g}}=F_{\text{c}}$ 適応部位</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 掲げるもの以外・捨コンクリート・外部土間コンクリート・ラップコンクリート <p>*コンクリートの強度試験はイ)の部位について行う</p> <p>2. コンクリートブロック(GB)</p> <p>□ A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 厚□100 □120 □150 □190</p> <p>3. 鉄筋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格名</th> <th>番号</th> <th>種類</th> <th>径</th> <th>使用箇所</th> <th>継手法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">異形鉄筋</td> <td>SD295A</td> <td>D10～D16</td> <td>基礎・基礎梁</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手</td> </tr> <tr> <td>SD295B</td> <td>D10～D16</td> <td>ガス圧接 D19～</td> <td><input type="checkbox"/> ガス圧接</td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td>D19～D25</td> <td>基礎・基礎梁・躯体</td> <td><input type="checkbox"/> 特殊継手</td> </tr> <tr> <td>SD390</td> <td>D29～</td> <td>基礎梁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SP235</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>丸鋼</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高強度せん断補強筋</td> <td>国住指 第356号</td> <td>MK785</td> <td>K13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 鉄骨及び使用箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格名</th> <th>番号</th> <th>鋼材名</th> <th>厚</th> <th>横</th> <th>内</th> <th>外</th> <th>大</th> <th>小</th> <th>幅</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般構造用圧延鋼材</td> <td>JIS G 3101</td> <td>SS400</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接構造用圧延鋼材</td> <td>JIS G 3106</td> <td>SM400A</td> <td>SM490A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築構造用圧延鋼材</td> <td>JIS G 3136</td> <td>SN400A</td> <td>SN490B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築構造用角型鋼管</td> <td>JIS G 3466</td> <td>STKR400</td> <td>STKR490</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷間成形角型鋼管</td> <td>JIS G 3466</td> <td>BCP295</td> <td>BCP325</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱間成形角型鋼管</td> <td>MSTL-005</td> <td>SHC400</td> <td>SHC400C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般構造用軽量鋼管</td> <td>JIS G 3444</td> <td>STK400</td> <td>STK490</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築構造用炭素鋼管</td> <td>JIS G 3350</td> <td>SSC400</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築構造用炭素鋼管</td> <td>JIS G 3475</td> <td>STKN400B</td> <td>STKN490B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 鉄筋</p> <p>鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。施工はJASS5(2022)による。 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種(号適合品)とする。 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継ぎ位置、継手のねじ長さ、定着長さは「鉄筋コアクリート・構造配筋標準図」(1)(2)(3)または「壁式鉄筋コンクリート・構造配筋標準図」(1)(2)による。</p> <p>D 19 不満は、すべて重ね継手とする。 継手(D 19 以上)をガス圧接継手、溶接継手、機械式継手とする場合は、「(公社)日本鉄筋総合会・鉄筋総合工事標準手帳」(以降公社と呼ぶ)、「ガス圧接継手工事、溶接継手工事機械式継手工事」による。 継手施工工事請書承認(「(公社)より認可された継手管理技術作成のこと」)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>継手の位置等の設計条件による仕様・等級</th> <th>鉄筋の径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 引張力最小部位 SA級 A級 B級</td> <td>D [D16] 以下</td> </tr> <tr> <td>重ね継手 配筋標準図による</td> <td>D (D19) 以上</td> </tr> <tr> <td>接合継手 告示1463号第2項各号</td> <td>D (D19) 以上</td> </tr> <tr> <td>溶接継手 告示1463号第3項各号</td> <td>D (D19) 以上</td> </tr> <tr> <td>機械式継手 告示1463号第4項各号</td> <td>D (D19) 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) (1) 他の部位における耐震性は、平成12年告示第463号ただし書きに基づき、「日本鉄筋総合会・日本建築セクター等の認定・評定等を得た継手工事の等級で、構造計算にあたって」 『該筋継手使用標準(建築構造関係技術基準解説2007)』によって検討した部材の条件・仕様によること。 ガス圧接継手部、溶接継手部の抜き取り検査、鉄筋冷間直角切削機で切断すること。 外観検査□有(全数) □無() 抜取検査□超音波深傷試験□有()無() 同一作業班が同一日に施工した圧接箇所からランダムに3箇所とし、検査率は30%とする。 ガス圧接(超音波深傷試験はJIS Z 3062-2009による。) 溶接継手(超音波深傷試験はJRJS 0005-2008による。) 引張試験□有()無() 同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えるときは、200箇所ごと)に回り、1回の試験は5本以上とする。 (引張試験はJIS Z 3120-2009による。) 機械式継手部の抜き取り検査、鉄筋冷間直角切削で切断すること。 外観検査□有(全数) □無() 抜取検査□超音波深傷試験□有()無() 引張試験□有()無() (超音波深傷試験はJRJS 0003-2008による。) 鉄筋継手部の第三者検査(引張試験検査は除く)は、「日本鉄筋総合会認定の「優良鉄筋継手検査会社」又は「登録鉄筋継手検査会社」が行うこと。 柱の帯筋(HOPP)の加工方法は、 柱の帯筋(HOPP)の加工方法は、 W型(タガ型) □ W型(溶接型) □ S型(スパイラル型)とする。 工場溶接タイプの帯筋、あらじ筋(筋)は「公の認定を受けた「優良溶接せん断強度製造会社」の製品を使用すること。 コンクリート及び鉄筋の試験は公の試験機関で行うこと。 試験機関名 公的機関 代行業者名 代行業者名 代行業者は、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。 鉄筋の定着長さは、配筋標準図による。 鉄筋の機械式定着工法による場合は原則プレートナット工法(BJCJ 評定-R-C0152-04)による。 注) 1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。 注) 2) 溶接部の外観検査は、告示1464による。</p> <p>高力ボルトは「JIS B1186 の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを塗付外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置で発生した赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリッドブラストによる處理で表面あらざき5mm以上である場合は、赤さびは発生しません。 その他の工法も、評定または認定を得たものとし、検討書作成、承認を得ること。 機械式定着長さ、施工法、品質管理は評定等の内容による。</p> <p>3. 型枠</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>合板厚 1.2 m/m を標準とする。</th> <th>捨て型枠</th> <th>フローテック</th> <th>可</th> <th>不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート</td> <td>Fc = ○ オールケーシング ○ 抵抗底</td> <td>スランプ cm</td> <td>リバースーカーリューション</td> <td>拡底坑</td> <td>日本建築センター認定</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>HOOP</td> <td>セメント量 kg / *</td> <td>アースドリル ミニアース</td> <td>年月</td> <td>年月</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>HOOP</td> <td>筋筋</td> <td>手掘</td> <td>機械掘</td> <td>日</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 防錆塗装</p> <p>防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。 止付ナットは、A種 JIS K 5674 2回塗りを標準とする。 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ止めナットを使用して2回塗りとする。</p> <p>7. 耐火被覆の材料</p> <p>0 6 鉄骨工事</p> <p>1. 鉄骨工事は指示のない限り下記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 日本建築学会「JASS5」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」 □ 鋼材倉庫部「建築鉄骨工事施工指針」 <p>2. 工事監理者の承認を必要とするもの</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 製作工場 <input type="checkbox"/> 製作要領書 <input type="checkbox"/> 工作図 <input type="checkbox"/> 施工計画書 □ 設定または登録工場(グレード) <input type="checkbox"/> 都登録 <input type="checkbox"/> ランク □ 計算規格明細書または試験成績書 □ 鋼材 <input type="checkbox"/> 高力ボルト <input type="checkbox"/> 特殊ボルト <input type="checkbox"/> スタッドボルト □ 社内検査表 <input type="checkbox"/> <p>3. 工事監理者が行う検査項目</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 可以外の項目の検査結果については、工事監理者が報告すること。 □ 現場検査 <input type="checkbox"/> 組立・開先検査 <input type="checkbox"/> 製品検査 □ 建方検査 <input type="checkbox"/> <p>4. 接合部の溶接は下記による</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 東京都アーケド溶接工事管理基準(建築構造設計指針第12章) □ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱(建築構造設計指針第12章) □ 日本建築学会「溶接工事基準、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」 <p>5. 接合部の検査</p> <p>溶接部の検査(検査結果は後日工事監理者が報告すること)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検査箇所</th> <th>検査方法</th> <th>検査率又は検査数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>突合せ溶接部</td> <td>超音波深傷試験</td> <td>100% 30% 個</td> <td>立ち会い個</td> </tr> <tr> <td>外観(目視)検査</td> <td>100% 100% 100%</td> <td>100% 100% 個</td> <td>マクロ試験・その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>第三者検査機関名 C W認定業者 第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が受け入れ検査を代行せられたときに自ら契約した検査会社をいう。</p> <p>注) 1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。 注) 2) 溶接部の外観検査は、告示1464による。</p> <p>高力ボルトは「JIS B1186 の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを塗付外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置で発生した赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリッドブラストによる處理で表面あらざき5mm以上である場合は、赤さびは発生しません。 その他の工法も、評定または認定を得たものとし、検討書作成、承認を得ること。 機械式定着長さ、施工法、品質管理は評定等の内容による。</p> <p>6. 防錆塗装</p> <p>防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。 止付ナットは、A種 JIS K 5674 2回塗りを標準とする。 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ止めナットを使用して2回塗りとする。</p> <p>7. 耐火被覆の材料</p> <p>0 7 設備関係</p> <p>特記の梁貫通は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。</p> <p>0 8 その他</p> <p>諸官庁への届出類は遅滞なく提出すること。 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。</p>		高力ボルトの種類	使用箇所	トルシア形高力ボルト	S10T 全般	JIS S形高力ボルト	F10T トルシア形が使用できない部分	溶接型鉄メキシ高力ボルト	F8T	厚	100	使用箇所	○ A板	厚	H = 1.2	○ 折板			○ ディキフレート	型式	QL-99-50-12 厚	○ キーストフレート	型式		○ 合金スラブ	型式		○ 挂型枠	型式		適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N*	スランプ cm	備考	接着剤	普通	13.5	16	18	土間コンクリート	普通	18	21	18	基礎、基礎梁	普通	18	21	24	柱、梁、床、壁	普通	18	21	24	ラップコンクリート	普通	18	21	24	押えコンクリート	普通	13.5	16	18	計画供用期間の級	耐久設計基準強度 Fd(N*)	短期	18	標準	24	長期	30	超長期	36 ⁽¹⁾	規格名	番号	種類	径	使用箇所	継手法	異形鉄筋	SD295A	D10～D16	基礎・基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手	SD295B	D10～D16	ガス圧接 D19～	<input type="checkbox"/> ガス圧接	SD345	D19～D25	基礎・基礎梁・躯体	<input type="checkbox"/> 特殊継手	SD390	D29～	基礎梁		SP235				丸鋼					溶接金網					高強度せん断補強筋	国住指 第356号	MK785	K13		規格名	番号	鋼材名	厚	横	内	外	大	小	幅	高	一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101	SS400									溶接構造用圧延鋼材	JIS G 3106	SM400A	SM490A								建築構造用圧延鋼材	JIS G 3136	SN400A	SN490B								建築構造用角型鋼管	JIS G 3466	STKR400	STKR490								冷間成形角型鋼管	JIS G 3466	BCP295	BCP325								熱間成形角型鋼管	MSTL-005	SHC400	SHC400C								一般構造用軽量鋼管	JIS G 3444	STK400	STK490								建築構造用炭素鋼管	JIS G 3350	SSC400									建築構造用炭素鋼管	JIS G 3475	STKN400B	STKN490B								継手の位置等の設計条件による仕様・等級	鉄筋の径	(1) 引張力最小部位 SA級 A級 B級	D [D16] 以下	重ね継手 配筋標準図による	D (D19) 以上	接合継手 告示1463号第2項各号	D (D19) 以上	溶接継手 告示1463号第3項各号	D (D19) 以上	機械式継手 告示1463号第4項各号	D (D19) 以上	材料	合板厚 1.2 m/m を標準とする。	捨て型枠	フローテック	可	不可	コンクリート	Fc = ○ オールケーシング ○ 抵抗底	スランプ cm	リバースーカーリューション	拡底坑	日本建築センター認定	コンクリート	HOOP	セメント量 kg / *	アースドリル ミニアース	年月	年月	コンクリート	HOOP	筋筋	手掘	機械掘	日	検査箇所	検査方法	検査率又は検査数	備考	突合せ溶接部	超音波深傷試験	100% 30% 個	立ち会い個	外観(目視)検査	100% 100% 100%	100% 100% 個	マクロ試験・その他
高力ボルトの種類	使用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																				
トルシア形高力ボルト	S10T 全般																																																																																																																																																																																																																																																																																				
JIS S形高力ボルト	F10T トルシア形が使用できない部分																																																																																																																																																																																																																																																																																				
溶接型鉄メキシ高力ボルト	F8T																																																																																																																																																																																																																																																																																				
厚	100	使用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ A板	厚	H = 1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 折板																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ ディキフレート	型式	QL-99-50-12 厚																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ キーストフレート	型式																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ 合金スラブ	型式																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ 挂型枠	型式																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用箇所	種類	設計基準強度 Fc=N*	スランプ cm	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																	
接着剤	普通	13.5	16	18																																																																																																																																																																																																																																																																																	
土間コンクリート	普通	18	21	18																																																																																																																																																																																																																																																																																	
基礎、基礎梁	普通	18	21	24																																																																																																																																																																																																																																																																																	
柱、梁、床、壁	普通	18	21	24																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ラップコンクリート	普通	18	21	24																																																																																																																																																																																																																																																																																	
押えコンクリート	普通	13.5	16	18																																																																																																																																																																																																																																																																																	
計画供用期間の級	耐久設計基準強度 Fd(N*)																																																																																																																																																																																																																																																																																				
短期	18																																																																																																																																																																																																																																																																																				
標準	24																																																																																																																																																																																																																																																																																				
長期	30																																																																																																																																																																																																																																																																																				
超長期	36 ⁽¹⁾																																																																																																																																																																																																																																																																																				
規格名	番号	種類	径	使用箇所	継手法																																																																																																																																																																																																																																																																																
異形鉄筋	SD295A	D10～D16	基礎・基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SD295B	D10～D16	ガス圧接 D19～	<input type="checkbox"/> ガス圧接																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SD345	D19～D25	基礎・基礎梁・躯体	<input type="checkbox"/> 特殊継手																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SD390	D29～	基礎梁																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	SP235																																																																																																																																																																																																																																																																																				
丸鋼																																																																																																																																																																																																																																																																																					
溶接金網																																																																																																																																																																																																																																																																																					
高強度せん断補強筋	国住指 第356号	MK785	K13																																																																																																																																																																																																																																																																																		
規格名	番号	鋼材名	厚	横	内	外	大	小	幅	高																																																																																																																																																																																																																																																																											
一般構造用圧延鋼材	JIS G 3101	SS400																																																																																																																																																																																																																																																																																			
溶接構造用圧延鋼材	JIS G 3106	SM400A	SM490A																																																																																																																																																																																																																																																																																		
建築構造用圧延鋼材	JIS G 3136	SN400A	SN490B																																																																																																																																																																																																																																																																																		
建築構造用角型鋼管	JIS G 3466	STKR400	STKR490																																																																																																																																																																																																																																																																																		
冷間成形角型鋼管	JIS G 3466	BCP295	BCP325																																																																																																																																																																																																																																																																																		
熱間成形角型鋼管	MSTL-005	SHC400	SHC400C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
一般構造用軽量鋼管	JIS G 3444	STK400	STK490																																																																																																																																																																																																																																																																																		
建築構造用炭素鋼管	JIS G 3350	SSC400																																																																																																																																																																																																																																																																																			
建築構造用炭素鋼管	JIS G 3475	STKN400B	STKN490B																																																																																																																																																																																																																																																																																		
継手の位置等の設計条件による仕様・等級	鉄筋の径																																																																																																																																																																																																																																																																																				
(1) 引張力最小部位 SA級 A級 B級	D [D16] 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																				
重ね継手 配筋標準図による	D (D19) 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																				
接合継手 告示1463号第2項各号	D (D19) 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																				
溶接継手 告示1463号第3項各号	D (D19) 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																				
機械式継手 告示1463号第4項各号	D (D19) 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料	合板厚 1.2 m/m を標準とする。	捨て型枠	フローテック	可	不可																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート	Fc = ○ オールケーシング ○ 抵抗底	スランプ cm	リバースーカーリューション	拡底坑	日本建築センター認定																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート	HOOP	セメント量 kg / *	アースドリル ミニアース	年月	年月																																																																																																																																																																																																																																																																																
コンクリート	HOOP	筋筋	手掘	機械掘	日																																																																																																																																																																																																																																																																																
検査箇所	検査方法	検査率又は検査数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																		
突合せ溶接部	超音波深傷試験	100% 30% 個	立ち会い個																																																																																																																																																																																																																																																																																		
外観(目視)検査	100% 100% 100%	100% 100% 個	マクロ試験・その他																																																																																																																																																																																																																																																																																		

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
@…間隔 r…半径 C…中心線 l…部材間の内法距離 h0…部材間の内法高さ
ST…あら筋 HOOP…帶筋 S-HOOP…補強帶筋 φ…直徑又は丸鋼

(3) 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	●	X	◐	●	○	∅	◐	◐	◐	◐	◐
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 d	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

- ・ フックのない場合
- ・ フックのある場合
- ・ 本数に差がある場合
- ・ 圧接継手表示
- ・ 機械接合表示

(4) スペーサーの材質は鋼製、合成樹脂製、コンクリート製のスペーサーを使用しモルタル製のものは使用しない。又、打放し仕上部に使用する場合は、露出面が大きくならないものを使用する。

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

図	鉄筋の使用箇所による呼称	折曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内径(Φ)
	柱・梁・主筋	180°	SD 295 A	D 16 以下	3d 以上
	柱・梁・主筋 基礎主筋 あら筋 スライラ筋 スラブ筋	135°	SD 295 B	D 19 ~ D 41	4d 以上
	柱・梁・主筋 基礎主筋 あら筋 スライラ筋 スラブ筋	90°	SD 345	D 41 以下	5d 以上

注 (1) dは呼び名に用いた数値とする

(2) 折曲げ角度90°は、スラブ筋・壁筋末端部又はスラブと同時に打込む(T形ばかり)に用いるり字形あら筋とともに用いる

(3) 特殊スラブ上端筋の先端、壁の自由端にいる先端の余長はd以上とする

(4) SD 490及びそれ以上の强度の鉄筋を90°を超える曲げ加工する場合は、事前に鉄筋の曲げ試験を行い支障のないことを確認した上で、工事監理者の承認を得ること

(2) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ「JASS5(2018)」に準拠

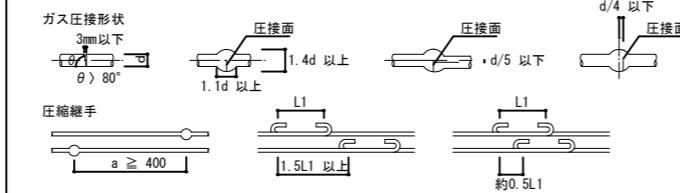
鉄筋の種類	重ね継手の長さ		定着の長さ		基準
	一般	小梁・床スラブ	上段 直線 L ₁	下段 フック付き L ₁ h	
SD295 SD345 (-)はSD345を示す	1.8	4.5d (5.0d)	4.0d	3.0d .2.0d	L ₁ =20d L ₁ h=10d 床スラブの場合 L ₁ =10dかつ150以上 SD490は適用外
	2.1	4.0d (4.5d) 3.0d	3.5d (3.5d) 2.5d	2.5d (2.0d), 1.5d (2.0d)	
	2.4~2.7	3.5d (4.0d) 2.5d (3.0d)	3.0d (3.5d)	2.0d (2.5d), 1.5d (2.0d)	
	3.0~3.6	3.5d 2.5d	3.0d 2.0d	.1.5d	
	3.9~4.5	3.0d (3.5d) 2.0d (2.5d)	2.5d (3.0d)	1.5d (2.0d), 1.5d	
	4.8~6.0	3.0d (4.0d) 2.5d (3.0d)	2.5d 2.0d	.1.5d	
	2.1	5.0d (—) 3.5d (—)	4.0d (—) 3.0d (—)	2.0d (—)	
	2.4~2.7	4.5d (5.5d) 3.5d (4.0d)	4.0d (4.5d) 3.0d (3.5d)	2.0d (2.5d), 1.5d (2.0d)	
	3.0~3.6	4.0d (5.0d) 3.0d (3.5d)	3.5d (4.0d) 2.5d (3.0d)	2.0d (2.5d)	
	3.9~4.5	4.0d (4.5d) 3.0d (3.5d)	3.5d (4.0d) 2.5d (3.0d)	1.5d (2.0d)	
SD390 (SD490) (-)は適用外	4.8~6.0	3.5d (4.0d) 2.5d (3.0d)	3.0d (3.5d) 2.0d (2.5d)	1.5d (2.0d)	

一般定着の直線L: またはフック付きのL₁h, L₁bの図

- 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起點間の距離、又、フック付きのL₁hは仕口面から鉄筋の折曲げ起點までとし、末端のフックは定着長さに含まない
- 軽量コンクリートを使用する場合は、(2)表の数値に5dを加算する
- 構造設計標準仕様1-(12)で政策令第73条とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手長さはL₁かつ40d(軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする
- 構造設計標準仕様1-(12)でJASS5(2018) RC規準2018とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計者の指示による
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- 0.5以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない
- 鉄筋径の差が1mmを超える場合は、圧接としてはならない
- 突合せ溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による

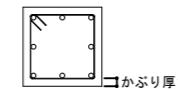
3. 継手

- 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上との異径鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



(3) かぶり厚さ

ひび割れ発生目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



部材の種類	短期		標準・長期		超長期	
	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外
柱・梁・耐力壁	40 (30)	40 (30)	50 (40)	40 (30)	50 (40)	
床スラブ・屋根スラブ	30 (20)	30 (20)	40 (30)	40 (30)	50 (40)	
構造部材と同等の耐久性を要求する部材	30 (20)	30 (20)	40 (30)	40 (30)	50 (40)	
計画供用期間中に維持保全を行う部材 ⁽⁵⁾	30 (20)	30 (20)	40 (30)	[30 (20)]	[40 (30)]	
直接土に接する柱・梁・壁・床および布基礎の立上り部					50 (40)	

- 【注】 (1) 耐久性上有効な仕上のある場合、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上のある場合、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質及び施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。

- (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) 計画供用期間の級が超長期で計画供用期間中に維持保全を行う部材では、維持保全の周期に応じてである。
(6) 計画供用期間の級が標準および長期で、耐久性上有効な仕上げを施す場合は、屋外側では、設計かぶり厚さ(最小かぶり厚さ)を10mm減じることができる。

〔 〕 内は仕上がある場合。

(4) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上

粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

異形鉄筋

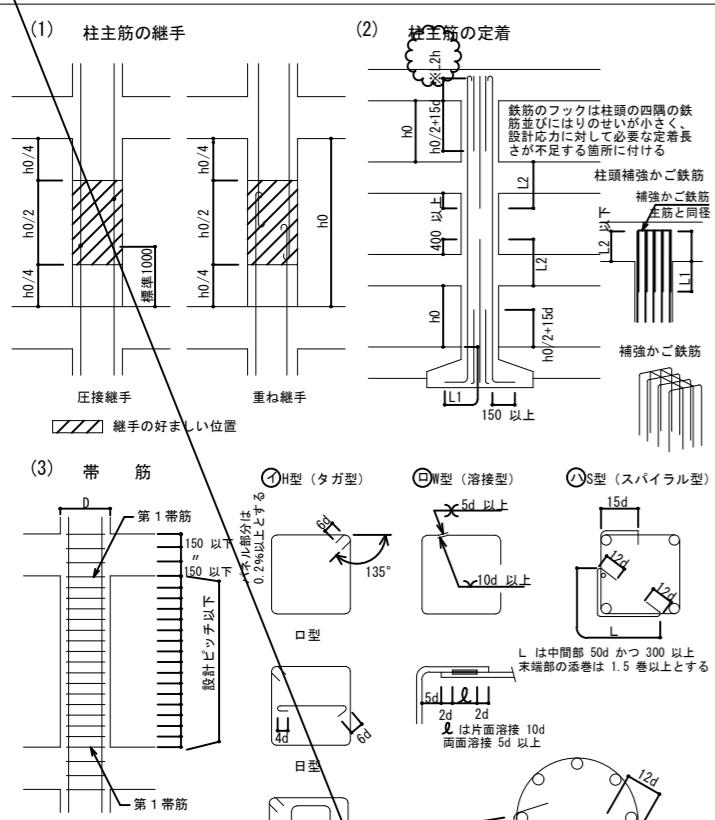
丸 鋼

あき

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

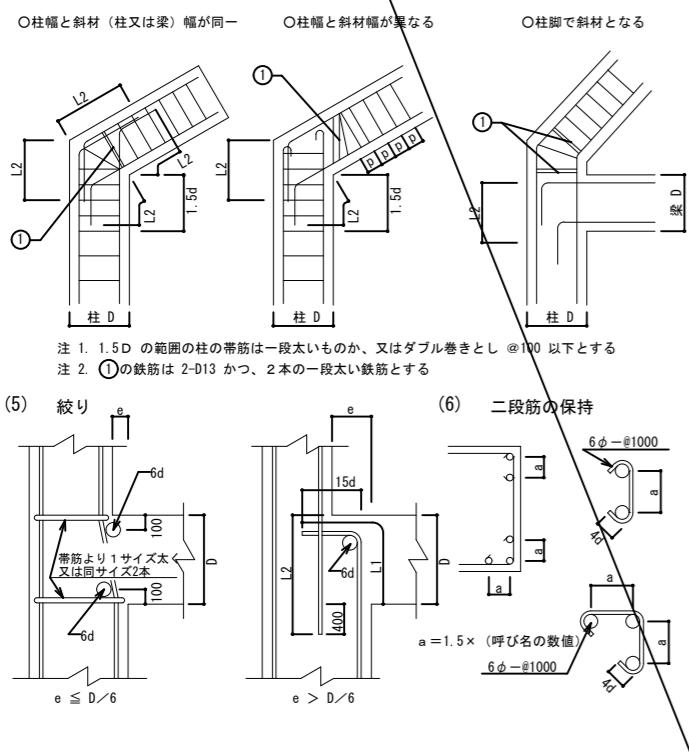
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(2)による。

6. 柱

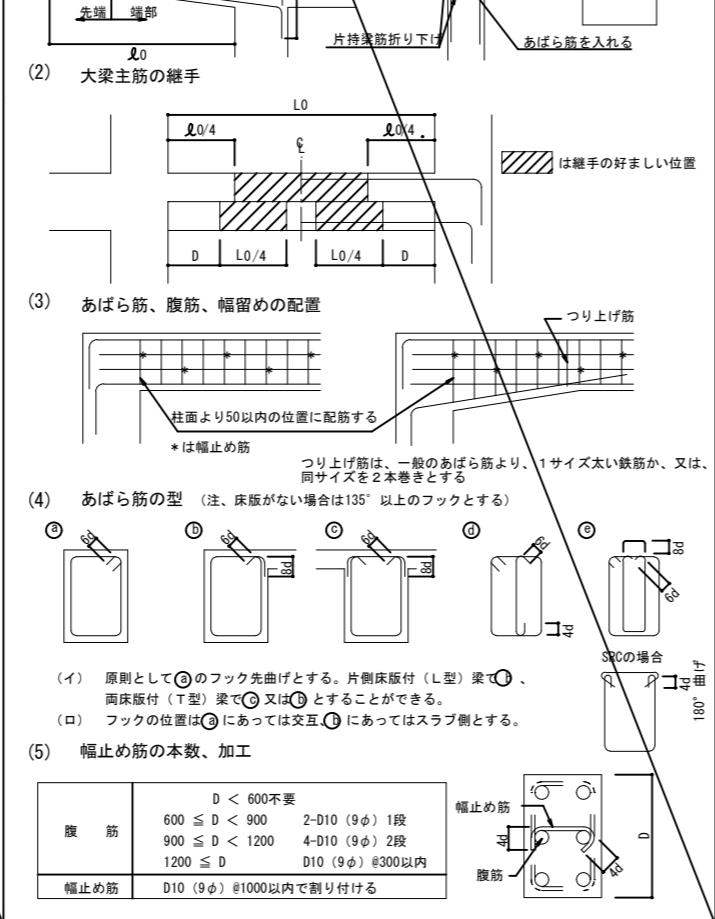
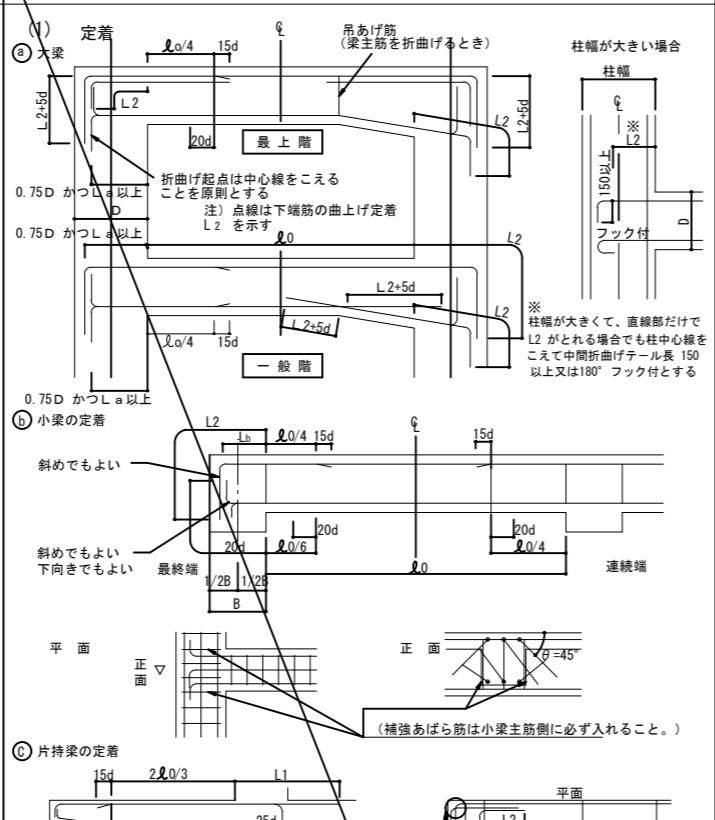


- 注1. 第一帯筋は、梁づら
- 注2. W型で現場溶接をする
主筋の位置をさける
- 注3. フック及び継手の位
交互とする

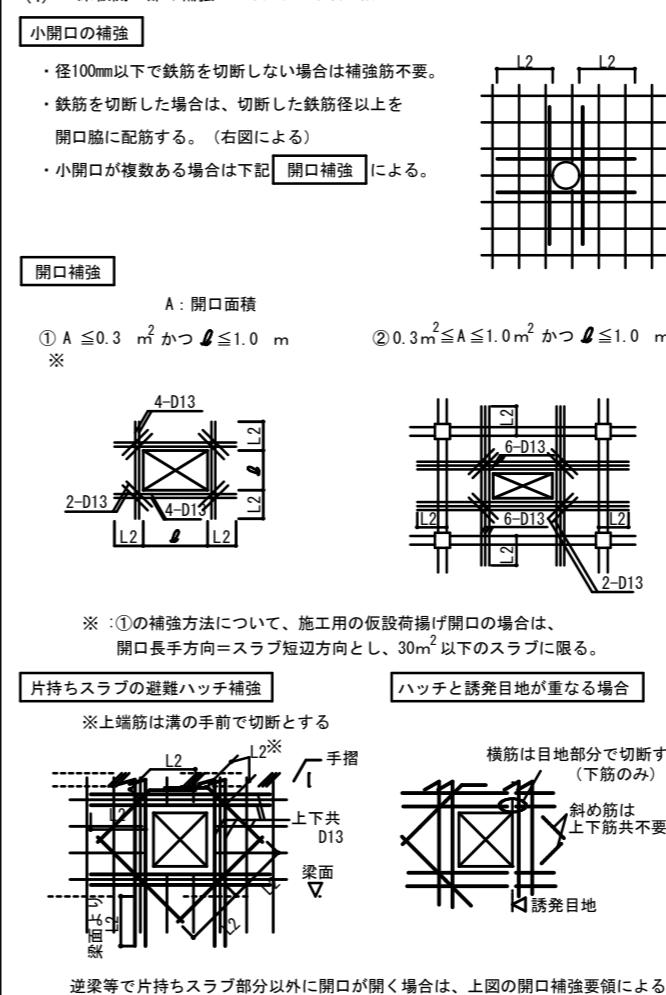
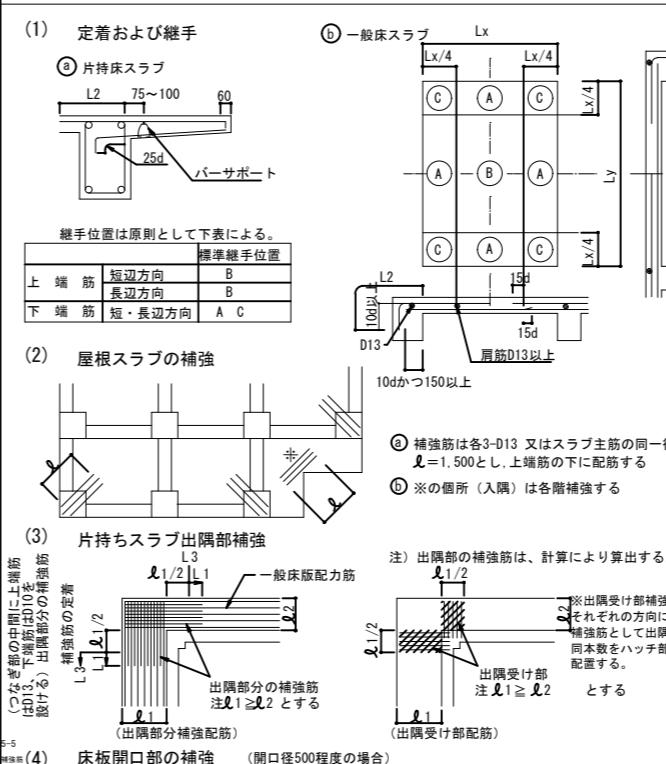
) 斜め柱・斜め梁



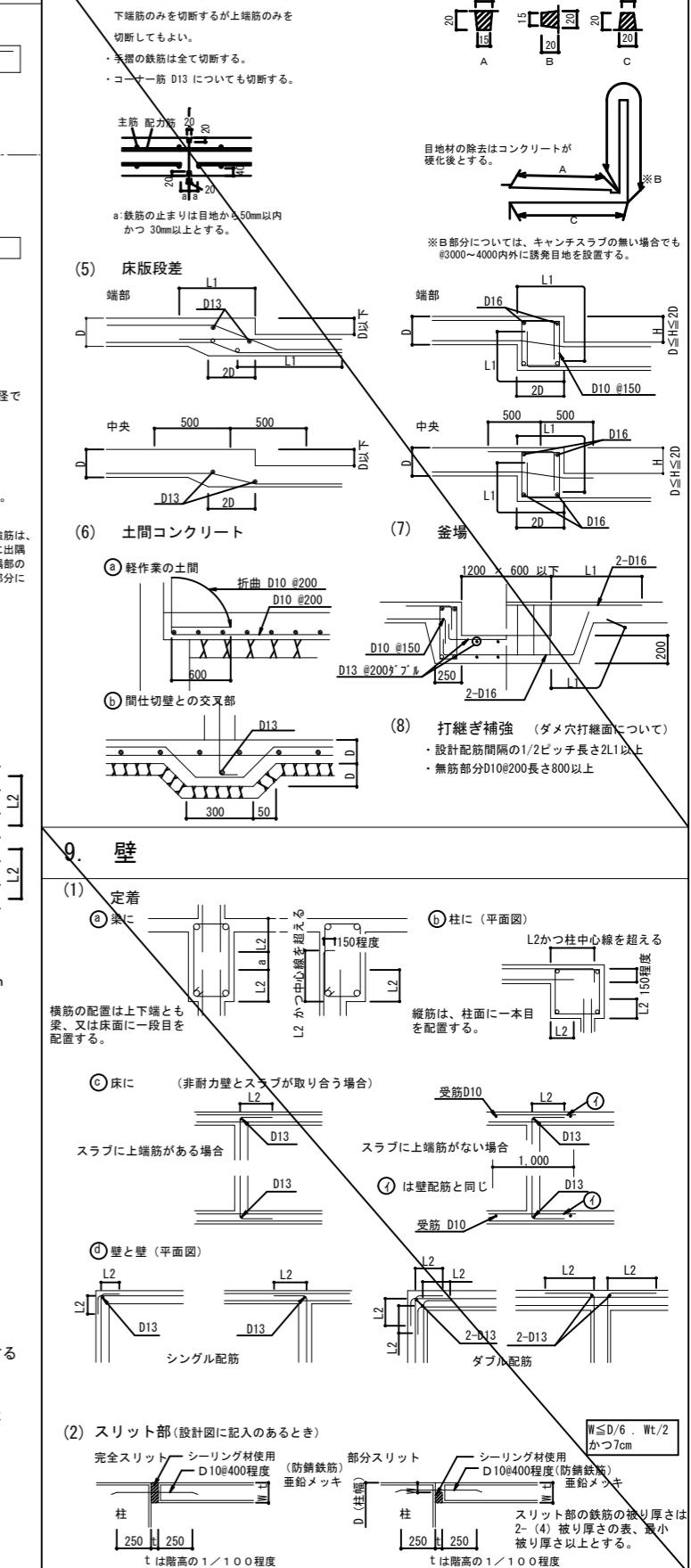
7. 大梁、小梁、片持梁



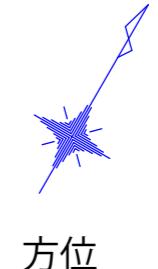
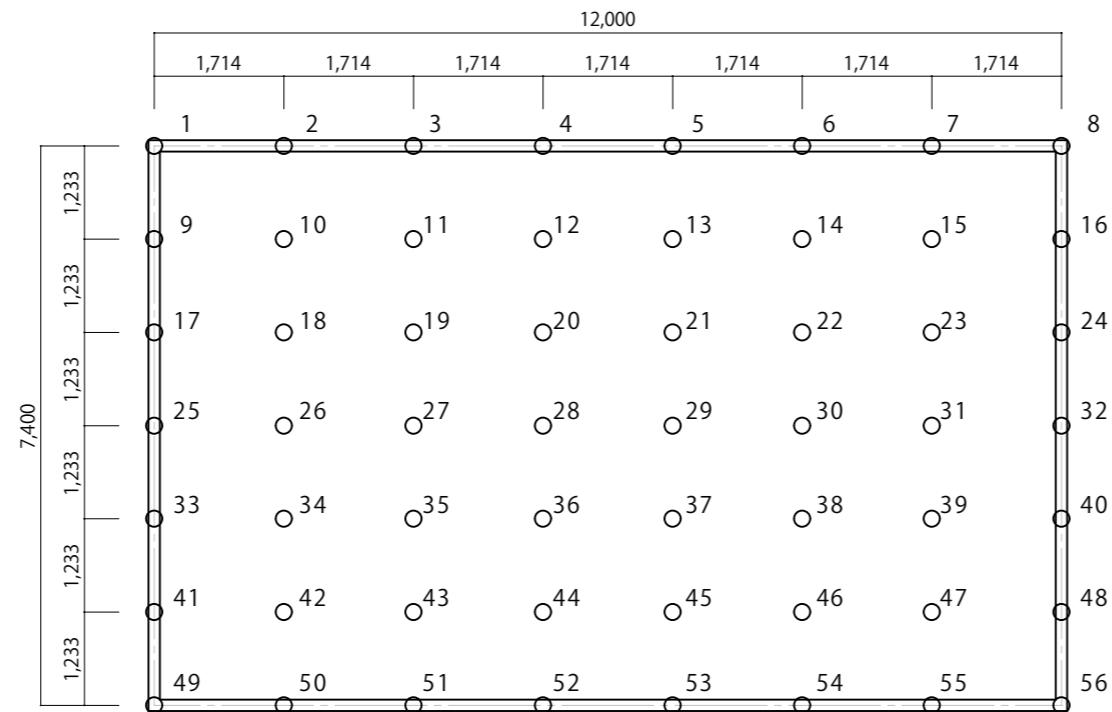
8. 床板



地図発誘釣裂亀



※高止まりする可能性があるため、試験杭で得られた貫入抵抗値（圧入圧）を参考に打ち止めを判断します。
※設計GL=19.87mとっています。



方位

	指示	読み
A	-	
B	-	
C	-	
D	-	
E	-	
BM	-	
GL	-	
(○)	-	
(○)	-	
(○)	-	
(○)	-	

本検討は、貴社より頂いた検討条件を基に弊社にて行ったものです。荷重等の検討条件の変更や現場状況等により検討結果や杭配置が変更になる可能性があります。

ケージング 直径	ϕ 216.3 mm	材 料	普通ボルトランド セメント	先端N値	14.5(粘)	通常用掘削刃	- 枚	株式会社 サムシング	作成日	2025.11.14	物件名
施工深度	GL-2.5~2.75 m	W/C	60 %	J7採取	1 箇所×3 本	底版用掘削刃	- 枚		2025.11.19	木更津災害対策拠点プロジェクト 格納庫	
補強体長	- m	混和剤	0 kg	設計地耐力	20 kN/m ²	土抜き長	GL- - m × - 本	設計	2025.11.20		
本 数	56 本	混和剤 添加量	0 %	設計強度	5.0 N/m ²	総土抜き長	- m		2025.11.28	スクリューフリクションパイル工法	
総補強長	154.0 m			支持・摩擦	摩擦カット	GL- - m	鈴木	施工	承認	縮尺	GBRC 性能証明 第18-05号 改2
										1/100	
							承認日				

(A4)

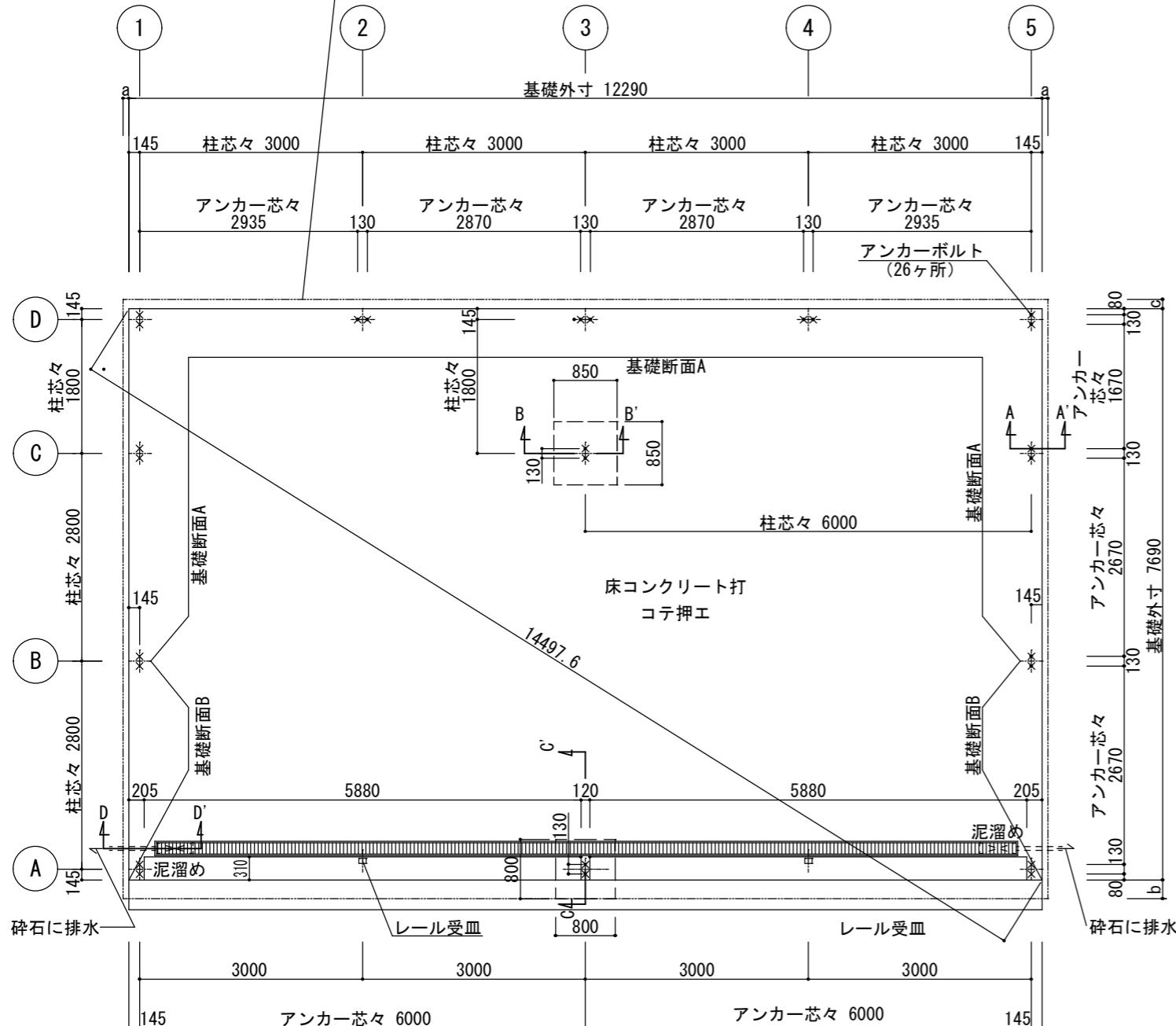
※機種名の□は高さサイズ
によって表記が異なります。

トールタイプ : T
ジャイアントタイプ : G

屋根の外寸
※a, b, cは屋根の出幅です
(a=78, b=252, c=128)

×・・・アンカーボルト位置を示す。

基礎詳細図 S=1/20



※アンカーボルトのサイズについて

- M12×240～300
又は
 - W1/2×240～300
W1/2を使用する場合はボルト1本につきワッシャー1枚とナット2個もご用意ください。

基礎四

〈縮尺〉 S=1/80

~一般型~

機種名 SGN
※寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

INB 株式会社 稲葉製作所



Revision

—

— 1 —

株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

1

1

1

rown
Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

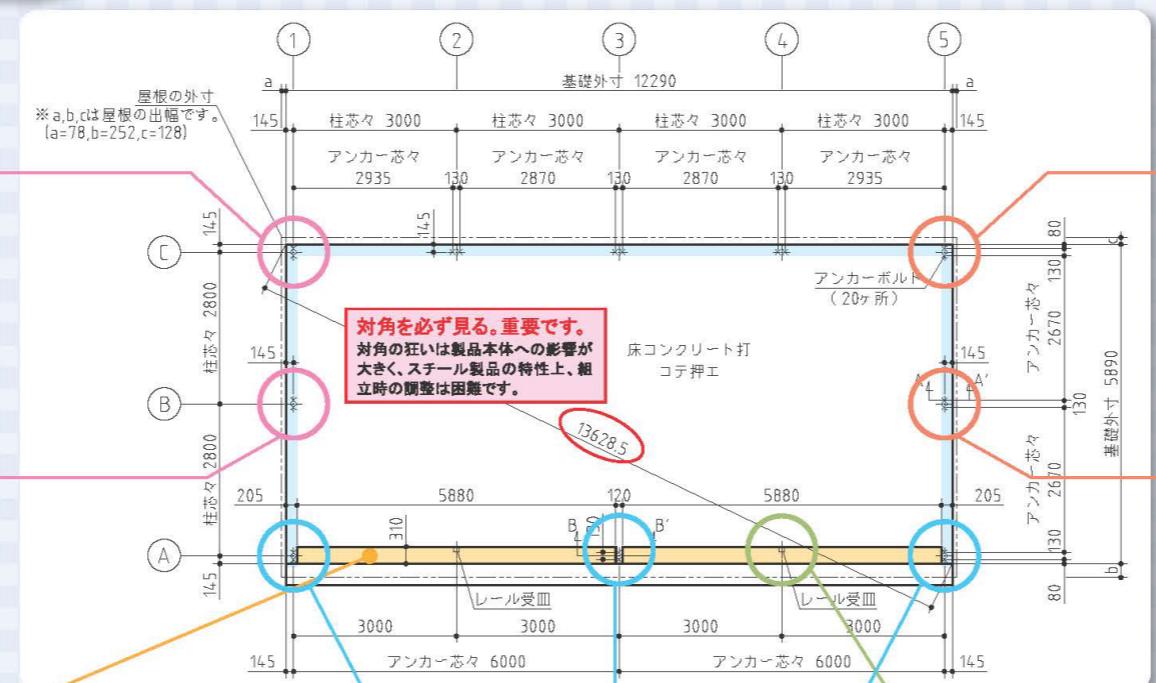
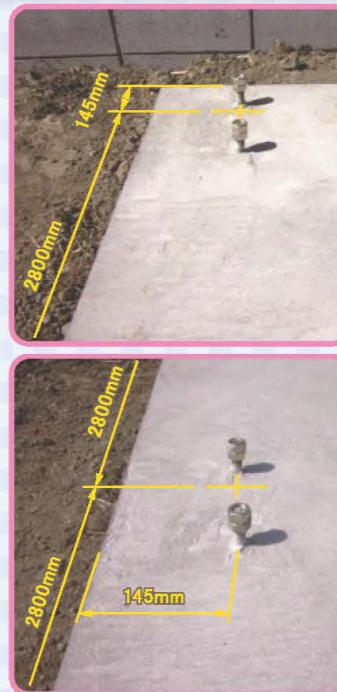
重機格納庫：基礎詳細図 Unit

Sheet No.
1/80, 1/20 A-023

基礎図参考資料

SGN Type ベタ基礎仕様(一般型)の場合

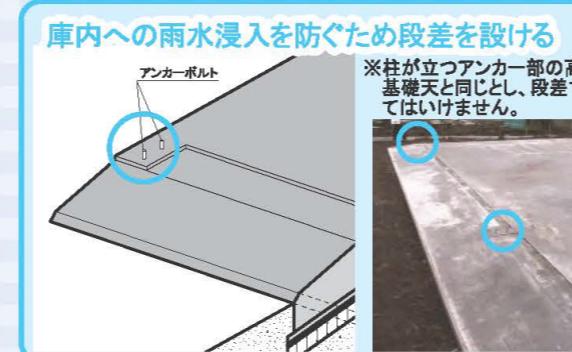
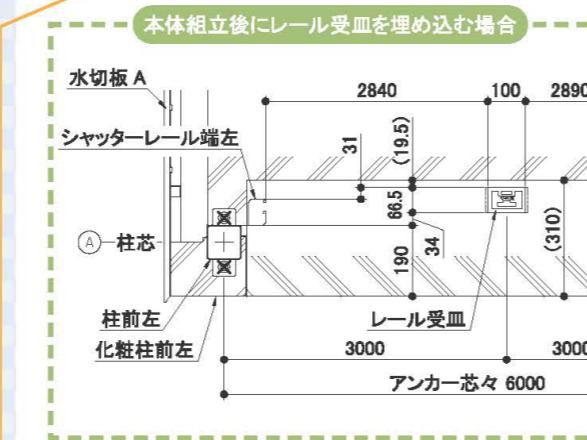
柱芯々



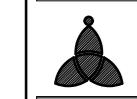
アンカーホルト



厚さ12mmのベースプレートにアンカーボルトを通して、柱を固定する構造です。アンカーボルトM12に対して、ベースプレートの穴径は16mmです。アンカーボルトの位置は正確にお願いします。



土台を設置する外周部分は、水平でフラットになるように特に気を付けて仕上げてください。隙間が出来たり、建物がゆがんだりしてしまいます。



Revision

Date

株式会社 地区計画コンサルタンツ
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checked

Checked

Drawn

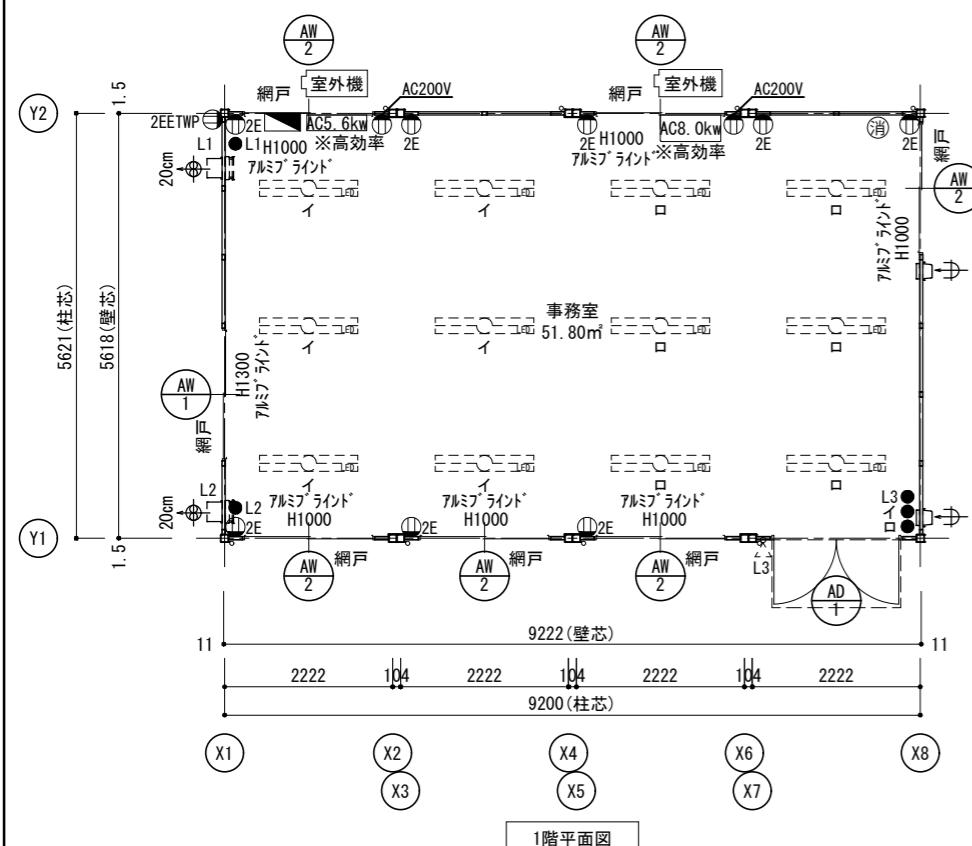
Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

Sheet content
重機格納庫：基礎参考資料 Unit

Scale
non scale

Sheet No.
A-024

■ 外部仕様								
名称	仕様				色			
屋根	仕上:ガルバニウム鋼板葺き t=0.5 断熱材:フェルトフォーム t=20				(不燃NM-8697)			
	軒樋:鋼板t=1.6+塗装 縦樋:カーボン管				-			
雨樋	庇:アルミ W1700×D900 (AP60)				ブルー			
	外部仕上:カーボン鋼板t=0.5 断熱材:フェルトフォームt=40				ブルー			
外壁(複合パネル)	内部仕上:カーボン鋼板t=0.5				(不燃NM-8697)			
	板金物:パラベット:鋼板t=1.2+塗装 土台カバー:鋼板t=1.2+塗装 塗装:鉄部見え掛かり:鍛止め 一液型環コロキシ樹脂下塗り塗装				オフホワイト Y59/0.5			
外部建具	アルミサッシ				ブルー			
■ 内部仕様								
階数	室名	床			天井			
		下地	仕上/寸法/色	品名/品番/メーカー	外周壁	下地	仕上/寸法/色	品名/品番/メーカー
1階	事務室	硬質木片セメント板t=18 スチレンフォームt=40 捨貼り合板t=5.5	長尺塩ビシート(木目調) t=2.0	マチュアNW 東リ	カーボン鋼板 t=0.5 オフホワイト	木下地22mm 火山性ガラス質複層板+化粧シート t=6.0		
備考	<シックハウス対策> ・壁、床、天井、建具仕上げに用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用する。 ・天井裏などへの措置については、天井裏、床裏、壁、収納に用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用する。							
■ 照明設備 凡例				■ 換気給気設備 凡例				
記号	名称			記号	名称			
▽	人感センサー付LED屋外用スポットライト 440lm (マットシルバー)			20cm換気扇 壁スイッチ	ステンレス製フード			
○ LED	LEDスポットライト(埋込形) 4000lm			Φ150給気口	ステンレス製パイプフード			
●	壁付片切スイッチ 15A 照明用			■ 建物面積				
●L	壁付片切バヨネットスイッチ 0.5A オン/オフ			建築面積				
■	電灯分電盤(50A)			1階床面積				
①2E	壁付2口接地極付コンセント 15A 125V×2			延べ床面積				
①2EETWP	壁付2口接地極付 接地端子付コンセント 15A 125V×2			51.80 m ²				
①AC200V	エアコン用コンセント(200V) 15/20A共用 250V			51.80 m ²				
				51.80 m ²				



Revision Date

—

—

株式会社 地区計画コンサルタンツ

株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6030号

一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checke

1

1

Drawn Project title

公益財団法人 日本財団

日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

Sheet content

事務所・仕様表

事務所・住棟表・平面図 立面図・建量表

10

S-1/100

5-17/100

Sheet No.

A-025

A-025

長期許容支持力 $q_a = 30 \text{ kN/m}^2$

使用材料

1) コンクリート

設計基準強度 $F_c = 18 \text{ (N/mm}^2)$

品質基準強度 $F_q = 18 \text{ (N/mm}^2)$

調合管理強度 $F_m = 18+mS_n \text{ (N/mm}^2)$

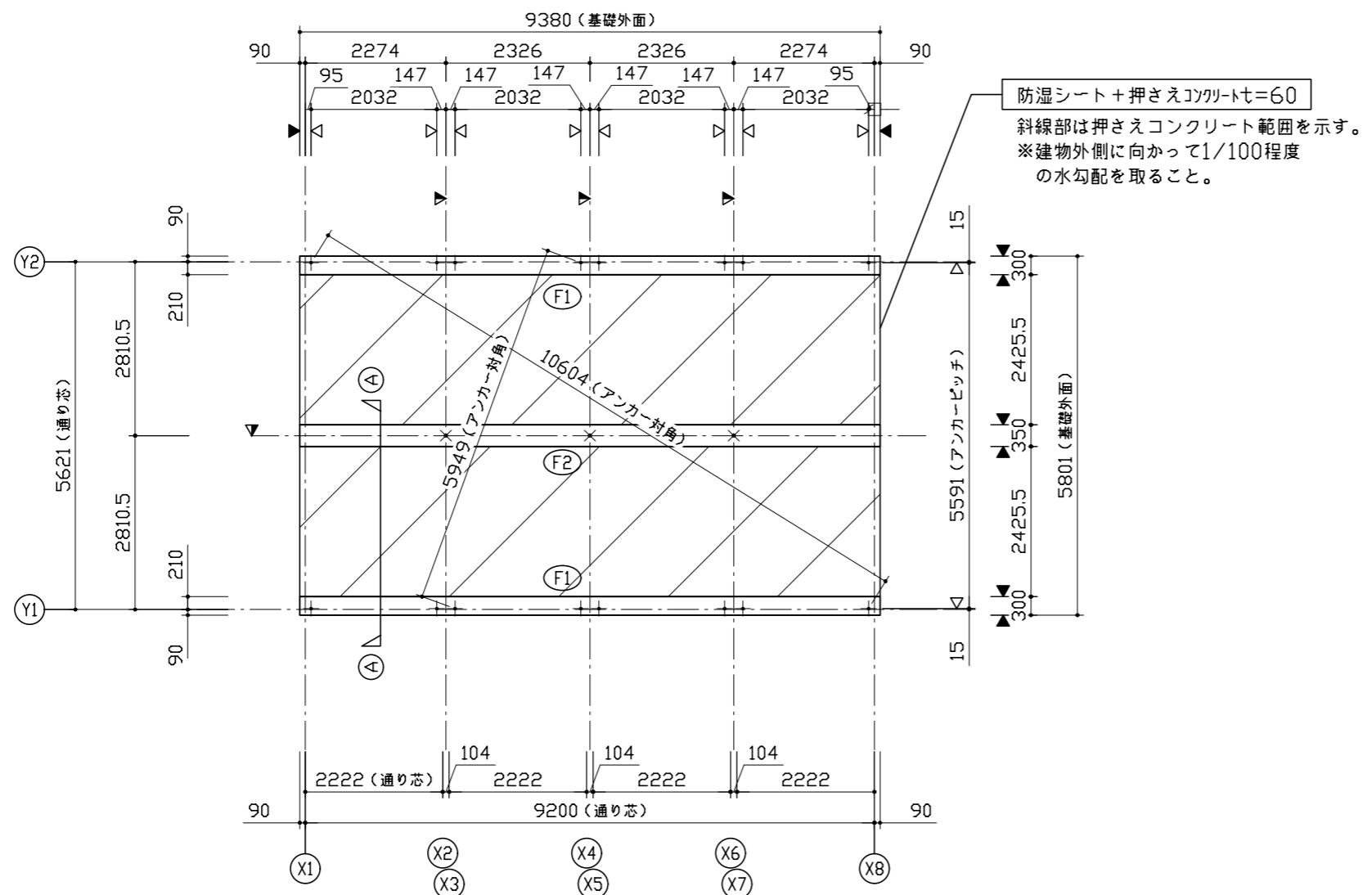
※調合管理強度は品質基準強度に構造体強度
補正值(mS_n)を加えた値とする。

・普通セメントの構造体強度補正值(mS_n)

平均気温	$8 \leq \theta$	$0 \leq \theta < 8$
mS_n	+3	+6

※暑中期間ににおける mS_n は+6とする。

2) 鉄筋 SD295



レベル精度	2mm以内
アンカー位置精度	4mm以内
対角精度	$\pm 3\text{mm}$

* 地盤に高低差がある場合現場監督者に確認のこと。

基礎伏図 (見下図)

特記なき限り下記による。

1. 基礎天端は設計GL+150とする。
2. 基礎下端は設計GL-120とする。
3. +はアンカーボルトを示す。
4. ×は建て方用アンカーを示す。
5. 特記なき ▽ はアンカーボルト芯を示す。
6. 特記なき ▼ は基礎面を示す。
7. 特記なき ▲ は建て方用アンカー芯を示す。

型式

MOBILE SPACE by 三協プロテア 1F:57MS1 (柱100) (S) 同等品

建築番号

2510066-ES-00

※本図は標準プランを想定した参考基礎図である。
最終的な基礎図は地盤調査及び構造計算により決定する。
基礎工事の際は申請図書の最終基礎図で施工を行うこと。



Revision

Date

株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checked

Checked

Drawn

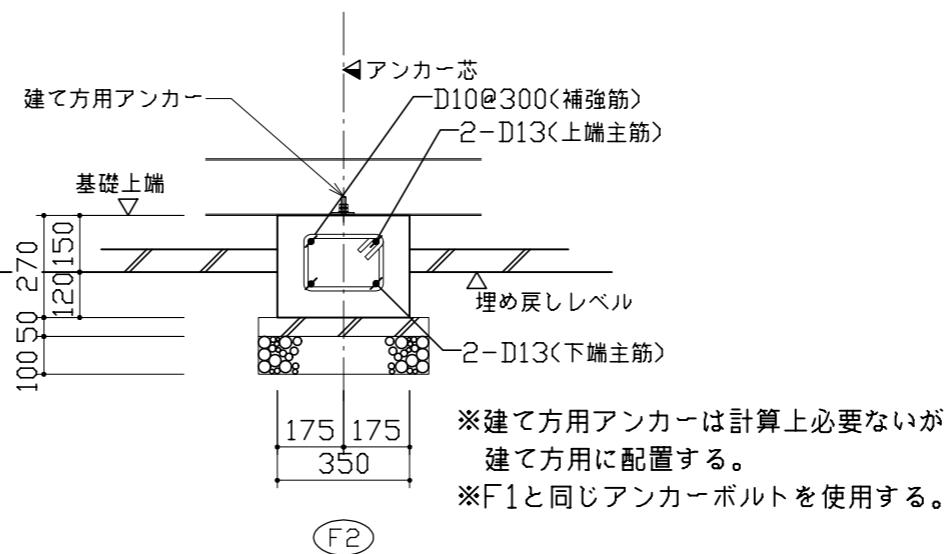
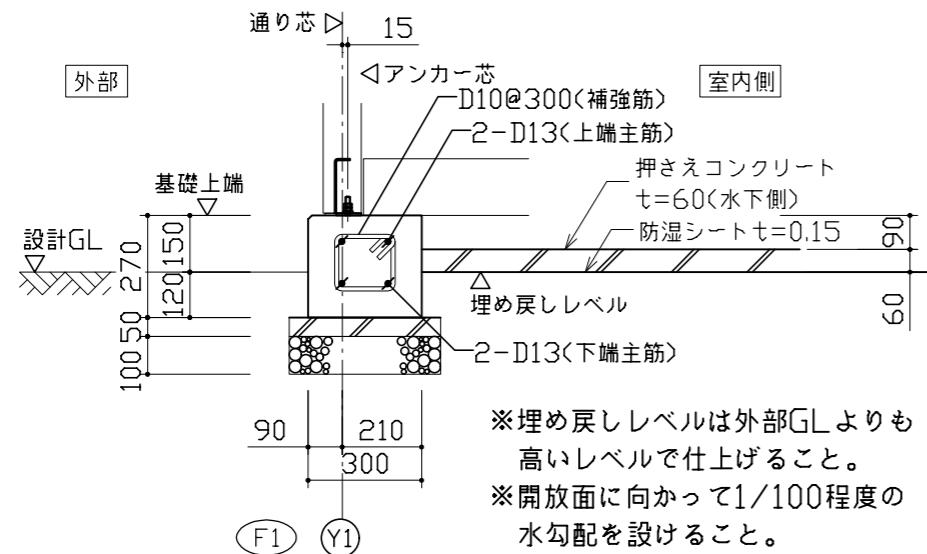
Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

Sheet content
事務所: 基礎伏図
Unit S=1/100 A-026

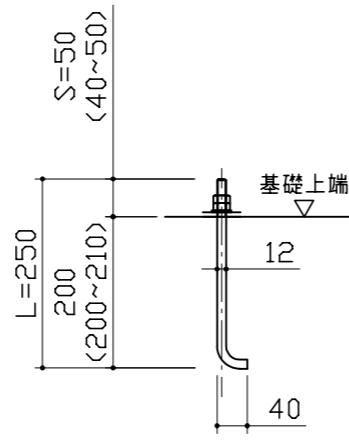
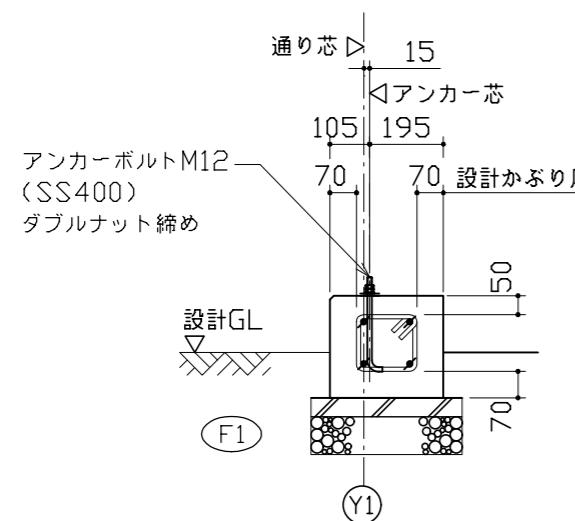
Scale
Sheet No.

特記なき限り下記による。

1. ●は、鉄筋 D10 を示す。
2. ■は、鉄筋 D13 を示す。
3. ▲は、鉄筋 D16 を示す。



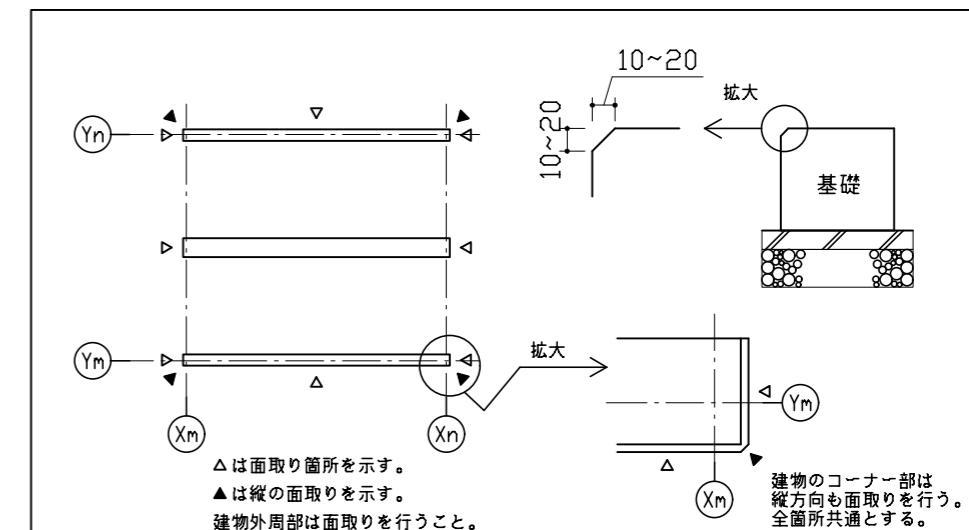
Ⓐ 断面図



アンカーボルト位置図

アンカーボルト詳細図

S=1:10



型式

MOBILE SPACE by 三協プロテア 1F:57MS1 (柱100) (S) 同等品

建築番号

2510066-ES-00

※本図は標準プランを想定した参考基礎図である。
最終的な基礎図は地盤調査及び構造計算により決定する。
基礎工事の際は申請図書の最終基礎図で施工を行うこと。



Revision

Date

株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checked

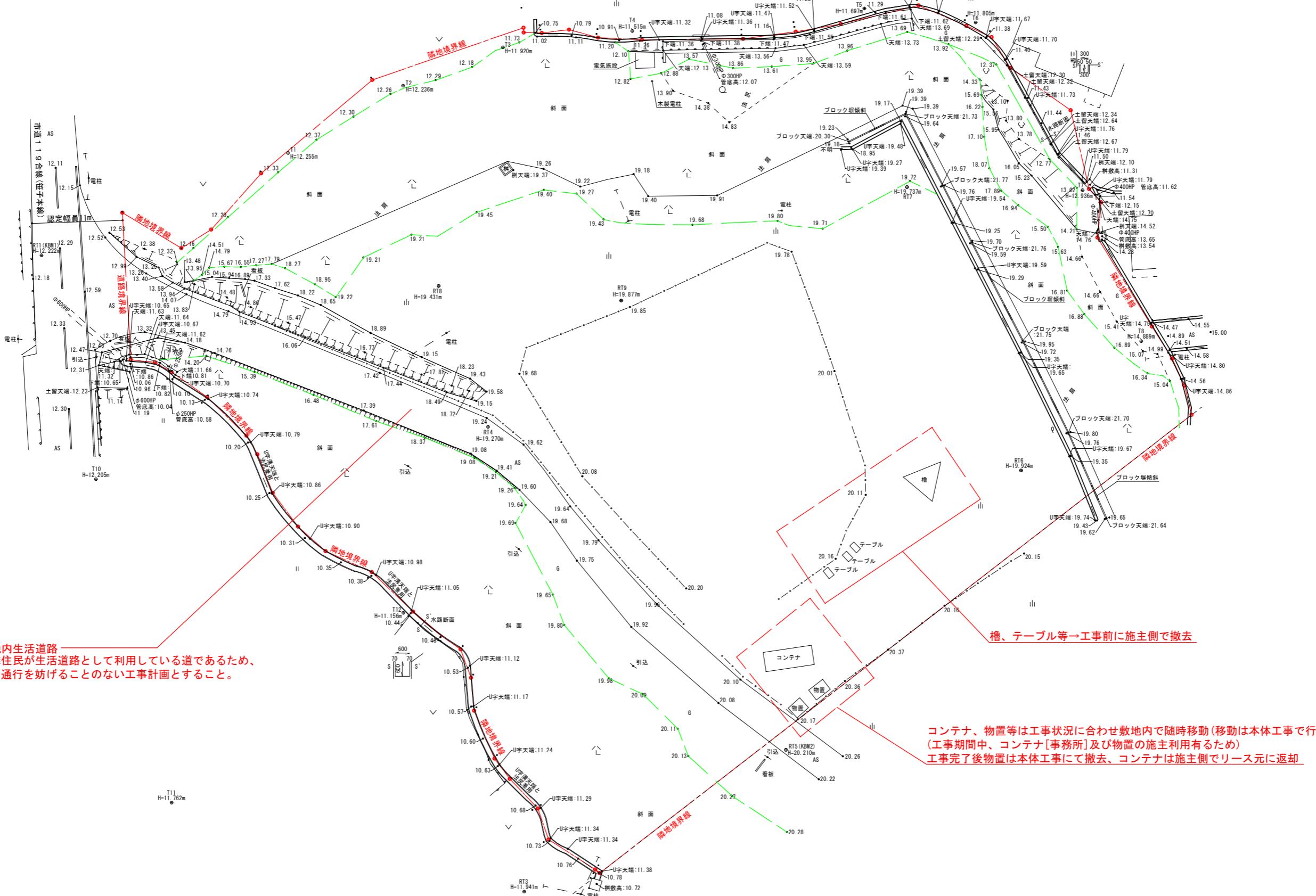
Checked

Drawn

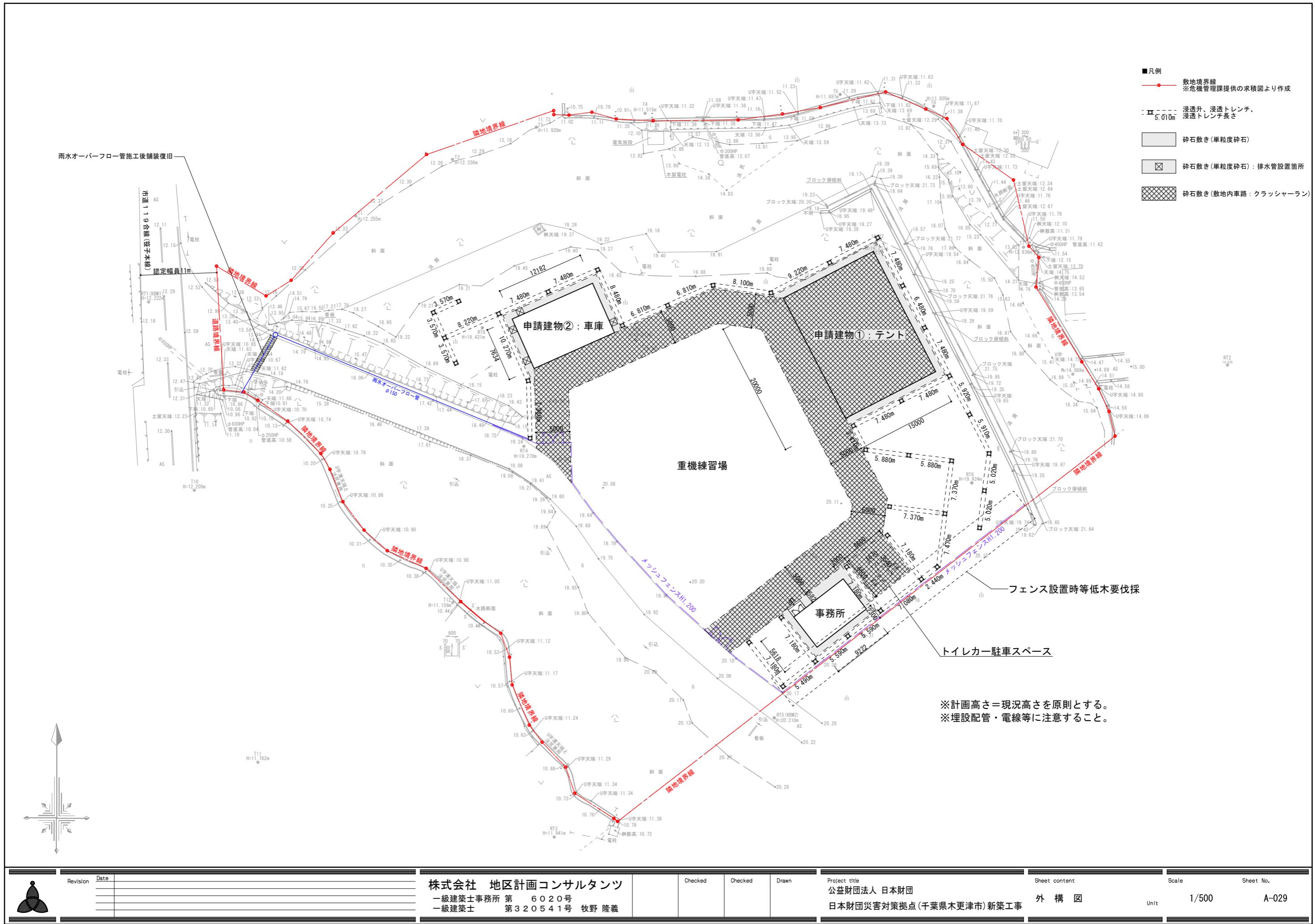
Project title
公益財団法人 日本財団
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

Sheet content
事務所: 基礎リスト
Unit
S=1/20 A-027

Scale
Sheet No.
A-027



Revision	Date	株式会社 地区計画コンサルタント	Checked	Checked	Drawn	Project title	Sheet content	Scale	Sheet No.
		一級建築士事務所 第 6020号 一級建築士 第320541号 牧野 隆義				公益財団法人 日本財団 日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事	現況図	1/500	A-025



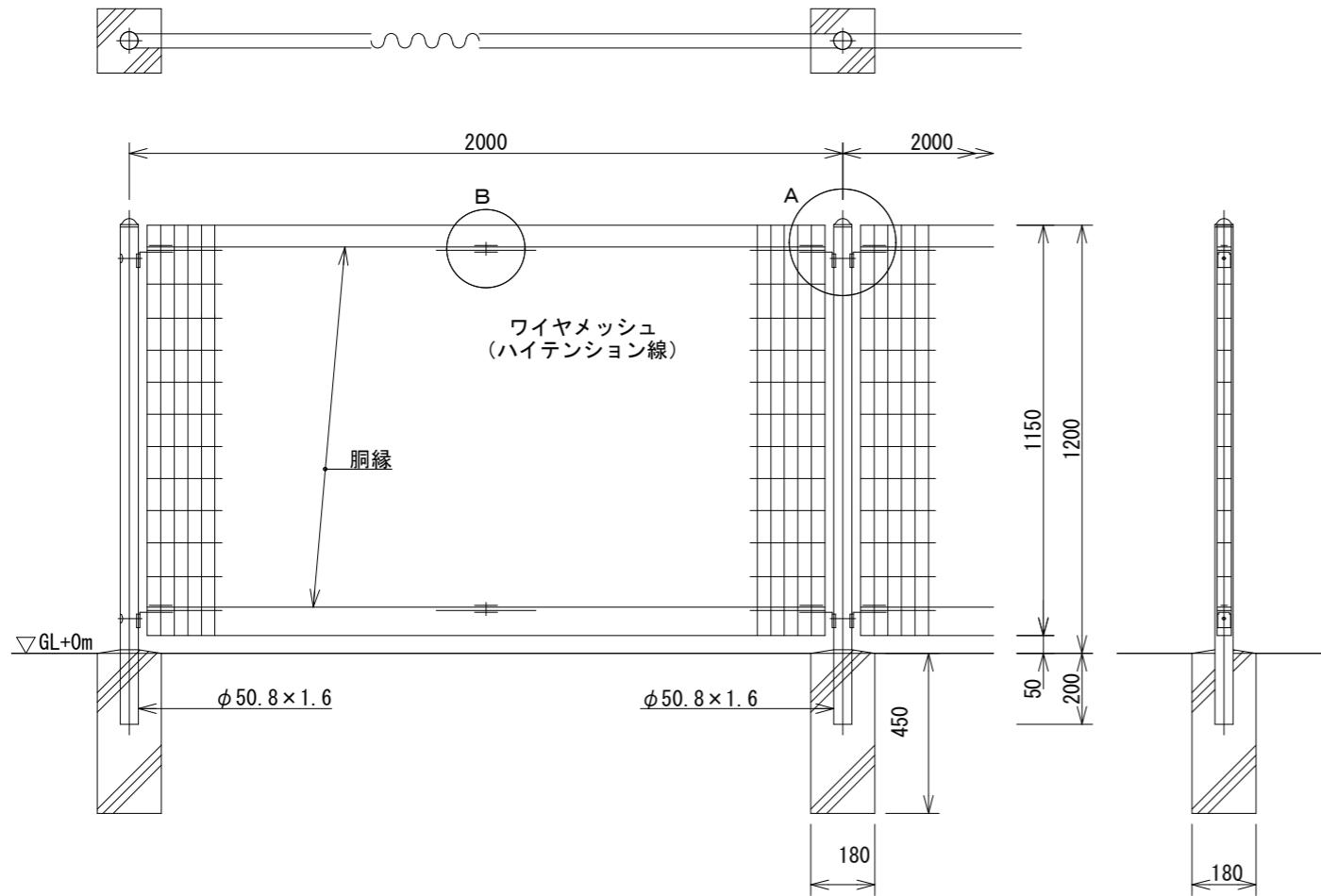
メッシュフェンスH1,200(朝日工業AR-A1200-MS同等品)

S=1:20

メッシュフェンスH1,200 門扉W3,000(朝日工業AR両開き門扉H1200-MS×W3000同等品)

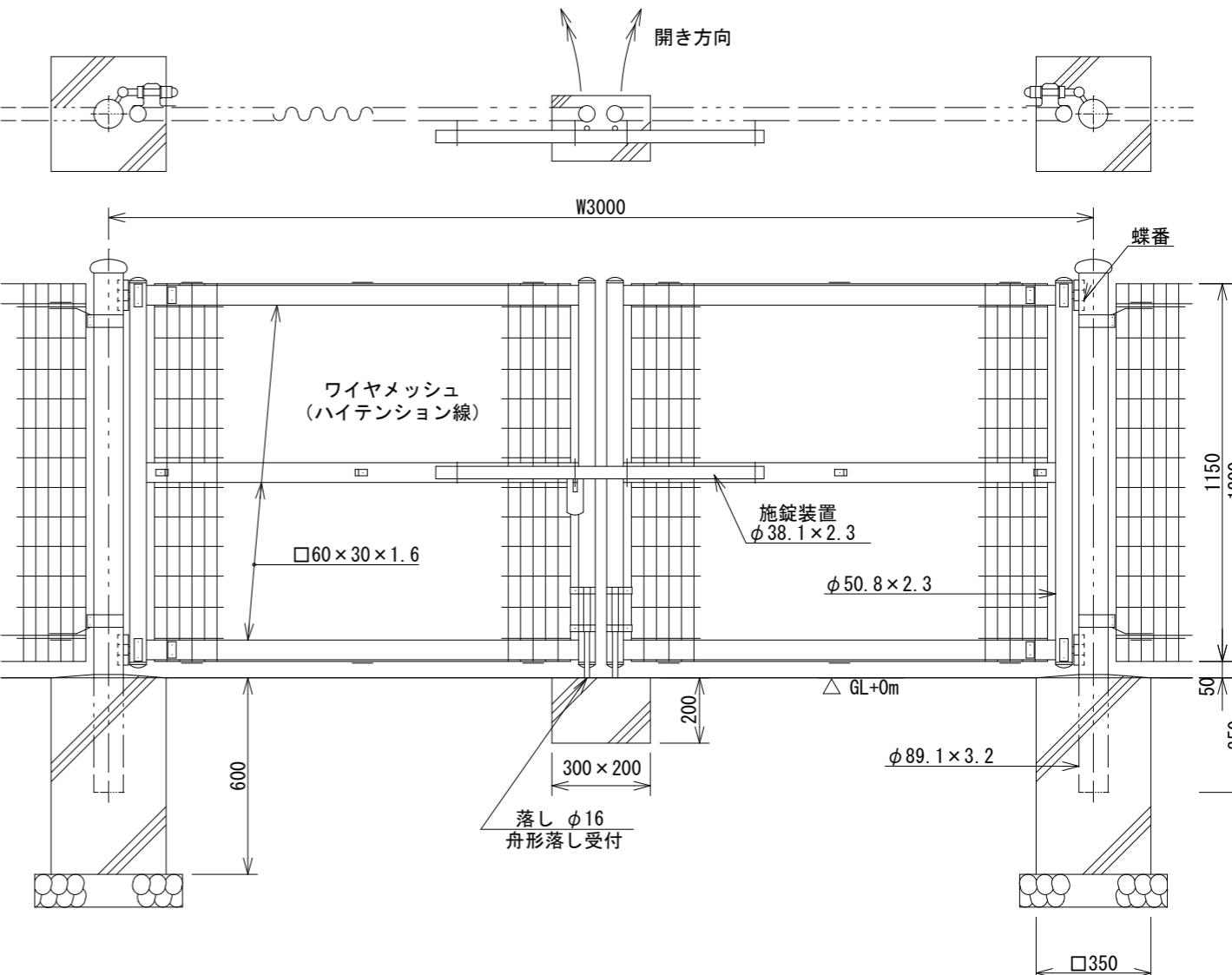
S=1:20

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



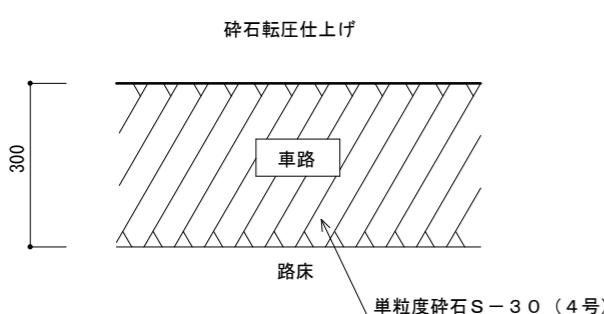
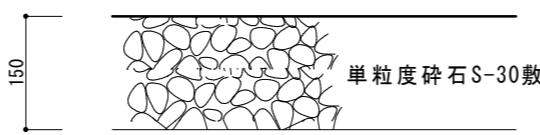
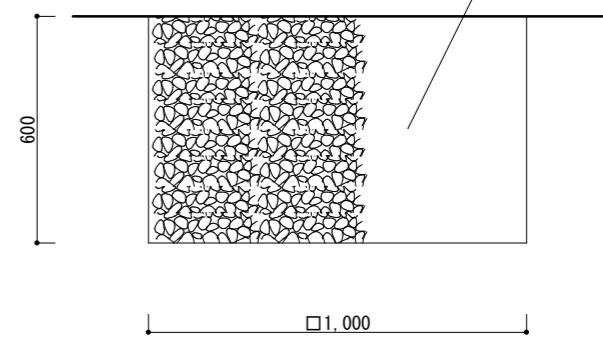
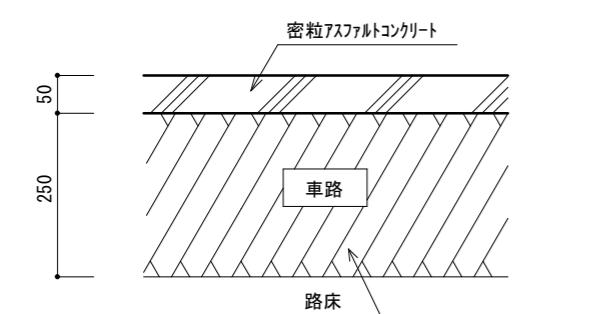
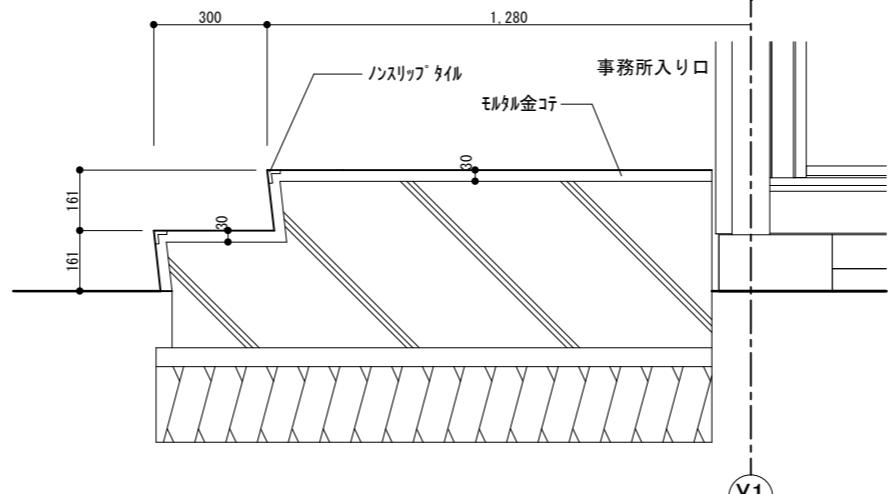
備考：外装について

- ・主柱 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
パネル取付金具類
- ・ワイヤメッシュ 亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
腕縁
- ・ボルト、ナット：溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理



備考

1. 外装について
 - ・門柱：溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - ・枠体 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
パネル取付金具類
 - ・ワイヤメッシュ：亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
 - ・ボルト、ナット：溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし一部のボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみ (SUS品を除く)
 - ・施錠装置、落し ポルト式蝶番 溶融亜鉛めっきのみ
2. 本図門扉は施錠と反対側 180° 開き、施錠側落しとする。

碎石敷き(敷地内車路 : クラッシャーラン)  碎石転圧仕上げ 車路 路床 単粒度碎石 S-30 (4号)	S=1/10	碎石敷き(単粒度碎石)  単粒度碎石 S-30敷	S=1/10	碎石敷き(単粒度碎石) : 排水管設置箇所  単粒度碎石 S-30敷	S=1/20
雨水オーバーフロー管施工後舗装復旧  密粒アスファルトコンクリート 車路 路床 単粒度碎石 S-30 (4号)	S=1/10	事務所入り口階段(W2,480) 	S=1/20		

Revision	Date

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要 (令和7年度)

工事名稱	日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事				
工事場所	千葉県木更津市				
敷地面積	m ²				
床面積(m ²)	重機格納庫棟	事務所棟	棟	棟	棟
	軽量鉄骨造	造	造	造	造
1階	93.00	52.44			
階					
階					
小計					
合計					

消防法施工令別表第一の区分

工事種目		(印)印の付いたものが対象工事種目		
建物別及び屋外	工事種目	種 别		屋 外
重機格納庫棟	事務所棟			
電灯設備				
・動力設備				
・電熱設備				
・避雷設備				
・受変電設備				
・静止形電源設備				
・発電設備				
・構内情報通信網設備				
・構内交換設備				
・情報表示設備				
・映像・音響設備				
・括声設備				
・誘導支援設備				
・呼出設備				
・テレビ共同受信設備				
・監視カメラ設備				
・駐車場管制設備				
・防犯・入退室管理設備				
・火災報知設備				
・中央監視制御設備				
・電気錠設備				
○構内配電線路				
・構内通信線路				
・テレビ波障害防除設備				

II. 工事仕様

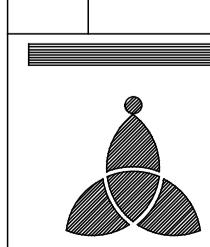
1. 共通仕様
1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官営施設部監修の電気設備工事
共通仕様書(令和4年版)(ただし、改修工事の場合は電気設備改修工事共通仕様書(令和4年版))
及び電気設備工事標準図(平成13年版)による。

2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、機械設備の工事仕様は(/)図、建築工事の工事仕様は(/)図による。

3) 県内産建設資材の優先使用
請負者は工事に要する資材の調達にあたり、県内産建設資材の購入及び県内取扱業者からの購入に努めること。

2. 特記仕様
1) 本項目は、番号に印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は印の付いたものを適用する。ただし、印のない場合は印を適用する。

項目	特記事項	
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、建設大臣官房官営施設部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等品質評価名簿(令和4年版)による場合は、評価書の写しもって、共通仕様書第1編第1章第4節1.4.1(b)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、共通仕様書に規定される製作図、試験成績表等は除く。	
共通	3. 電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
通事	④ 工事用電力、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用及び官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
項	5. 監督員事務所	・設けない・設ける()号)
項	6. 工事用仮設物	構内につくることが(できる・できない)

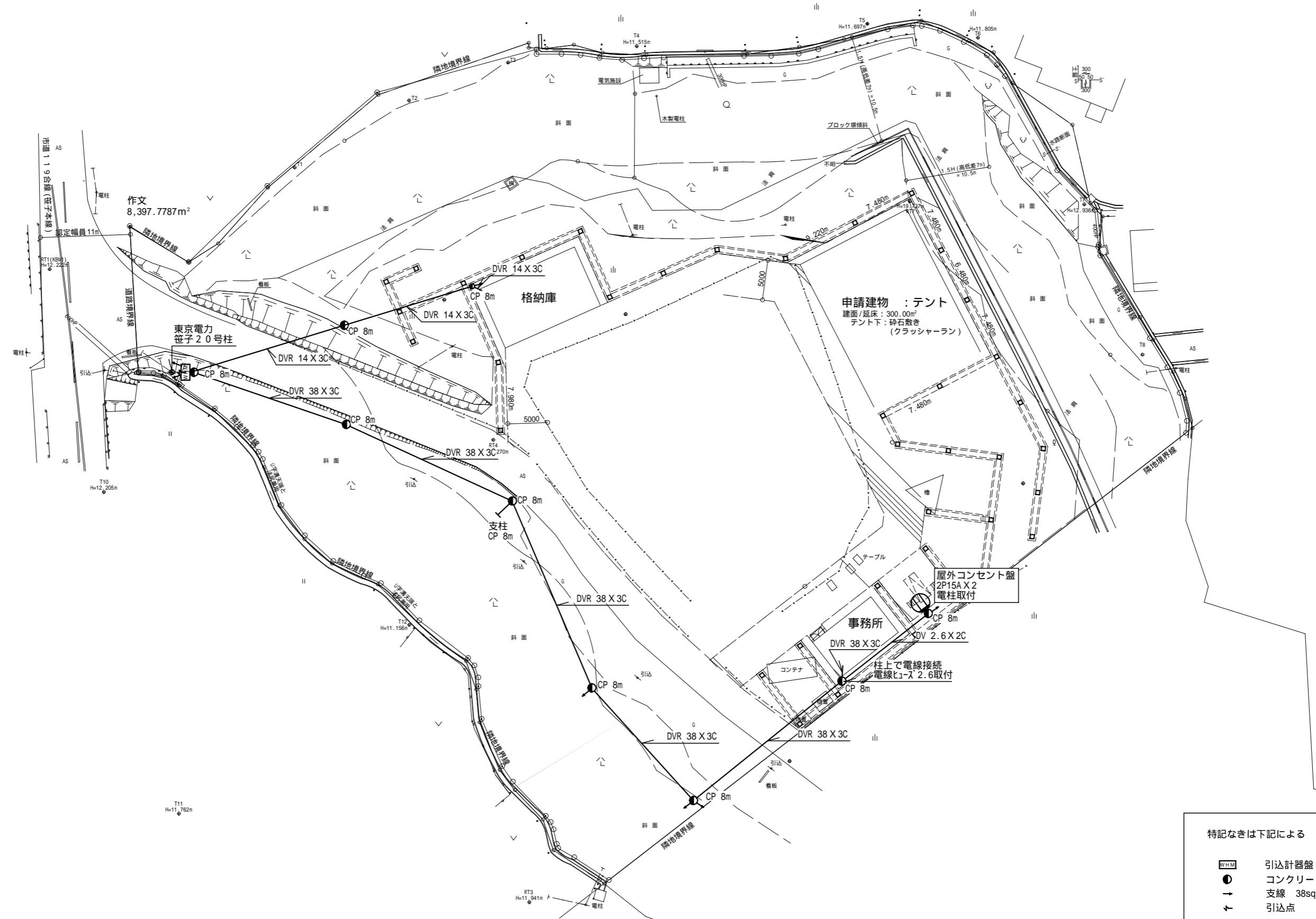


Revision Date

株式会社 地区計画コンサルタンツ	一級建築士事務所 第6020号	一級建築士 第320541号 牧野 隆義	Checked	Checked	Drawn	Project title	Sheet content	Scale	Sheet No.
						公益財団法人 日本財団	電気設備	A1:NS	E-01

日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事 特記仕様書

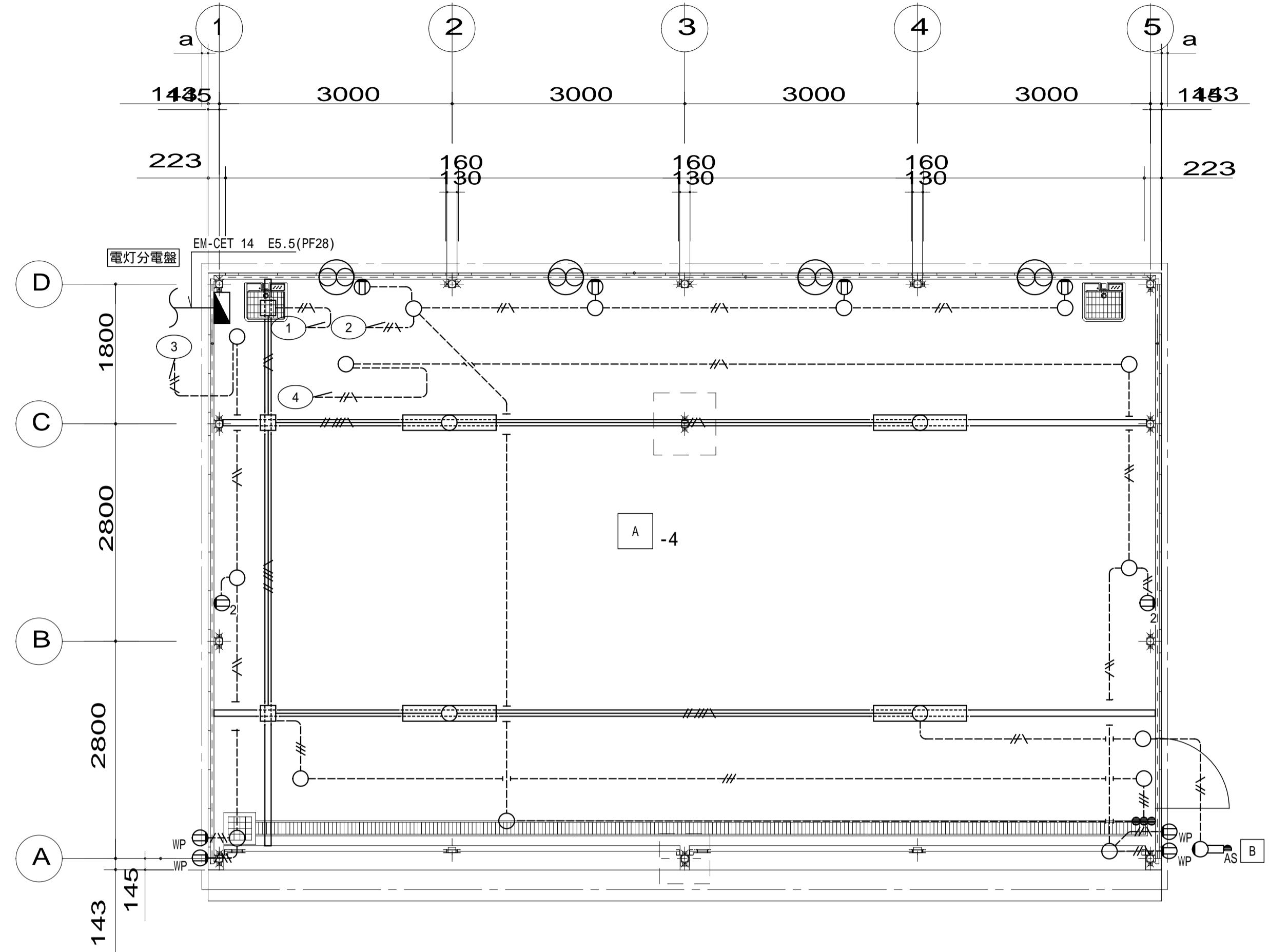
電 設 備	①発生材の処理	引渡しを要するもの。無・有 (・機器類・配管材料・金属類) 特許管理産業廃棄物無・有り(・PCB使用機器・) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 引き渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とし、搬出処理費は別途とする。 再生資源化を要するもの無・有()	①配線器具	・ハイテンションアウトレットは次による ・外部固定形・上下動形 ・接地極付きコンセント(2P1SA)はプラグ無しとする。 ・防水形コンセントはプラグ付きとする。	①機器取付高	機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合は監督職員と協議する。				
	⑧残土処分	構内指示の場所に敷きならし ・埋戻し部分のH=300は、山砂類で行うこと。 ・残度処分は構外搬出とし、適切に処理を行うこと。	②LED灯	1) 特記なき照明器具はLED灯とする。	名 称	測 点	取付高(mm)	名 称	測 点	取付高(mm)
	⑨完成写真	下記のもの原版とも監督職員に提出する。 分類規格 枚数 部数 原版の大きさmm カラーサービス版 枚 2部 24×36以上	③電球の定格電圧	白熱電球の定格電圧(非常用は除く)は110Vとする。	電力表	取付点	床下- 心	表示盤	床下- 上	端
	⑩工事写真	建設大臣官房官営施設部監修「工事写真の撮り方(改訂第2版)・建築設備編」による ほか監督職員の指示による。	④非常用照明の照度測定	設置した各部屋2箇所以上	電力表	床下- 中 心	1,800-2,000	引込開閉器	床 上- 中 心	1,800-2,000
	⑪完成図等	共通仕様書による完成図等を監督職員に提出する。提出部数2部	⑤照明制御	照度センサーによる照明制御回路は、制御調整を行い試験成績書を監督職員に提出する。	電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	壁付開閉器	床 上- 中 心	1,300
	⑫施工図等	施工図の原図及び図面(1部)を監督職員に提出する。なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	スイッチ	床 上- 中 心	1,300
	⑬電線類	1) EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 記号 仕様 EM-C EES JCS3580D(耐燃性ブリッジハーフ)適合し、遮蔽材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの燃焼性がエチレンを用いたもの EM-U TP JCS3571A(MVVS)適合し、遮蔽材にてS規格によるEMケーブルの耐燃性ハリソンを用いたもの EM-M EES JCS3771A(MVVS)適合し、遮蔽材にてS規格によるEMケーブルに用いるEMケーブルの燃焼性ハリソンを用いたもの EM-E BT EOB電線(低燃焼性)適合し、シースにJCS規格によるEMケーブルの燃焼性ハリソンを用いたもの			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	コンセント(一般)	床 上- 中 心	300
	⑭耐震措置	「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成1年版」(建設大臣官房官営施設部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針 平成1年版」(建設省住宅局建築指導課監修)による。 建物の種別(・特定の施設) ○般の施設 1) 設計用水平地震力 機器の重量(kg f)に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度	1. 受変電設備容量	150 kVA	電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	壁付開閉器	床 上- 中 心	300
	⑮通事	1) 設計用水平地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力を同時に働くものとする。 2) 耐火ケーブル(FP)及び耐熱ケーブル(H-P)はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。	2. 変圧器移動車輪	75 kVA以上に取付	電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	操作スイッチ	床 上- 中 心	1,300
	⑯構内交換設備	1) 設計用水平地震力 機器の重量(kg f)に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度	3. 予備品等	共通仕様書によるほか電力ヒューズ現用定格値のものを現用数	電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	モードル変圧器	床 上- 中 心	1,500
	⑰情報表示設備	1) 電気方式 ○高圧・低圧 2) 発電機容量	4. その他	モードル変圧器の表面は充電部とみなし、注意標識を取付ける。	電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	受变機・副受变機	床 上- 中 心	1,500
	⑱映像・音響設備	3) 燃料小出力			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	直列ユニット	床 上- 中 心	300
	⑲括声設備	1) 大地抵抗の測定			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	分配器箱	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)
	⑳誘導支援設備	1. ローテーションアウトレット			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	自 動 機器	床 上- 中 心	1,500
	㉑呼び出し線	2. 保安器用接地			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	火災報知機	床 上- 下	端
	㉒フロアプレート・ベース	3. 壁付け電話機との接続			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	ベル	床 上- 下	端
	㉓電線本数・管路等	4. 電話機への配線			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	表示灯	床 上- 下	端
	㉔接地極	接地極の材料は次による。なお、EBはL=1,500とする。			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	配線図記号その他	床 上- 中 心	1,500
	㉕埋設表示	接地極の種類 記号 接地抵抗値 接地極種			電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	図中配線寸法記入	床 上- 中 心	1,500
	㉖露出配管の塗装	・黄銅製(遮雷設備用及び共同接地極埋設表示) ○コンクリート杭に方向別を記入したもの(上記以外の接地極及び地中配線の埋設表示)とする。ただし、舗装された場所は鉄製のものとする。	㉗屋上・屋根の支持金物等	2) 特記なき照明器具はLED灯とする。	電力表	床 上- 中 心	1,500(上層1,900以下)	電線規		



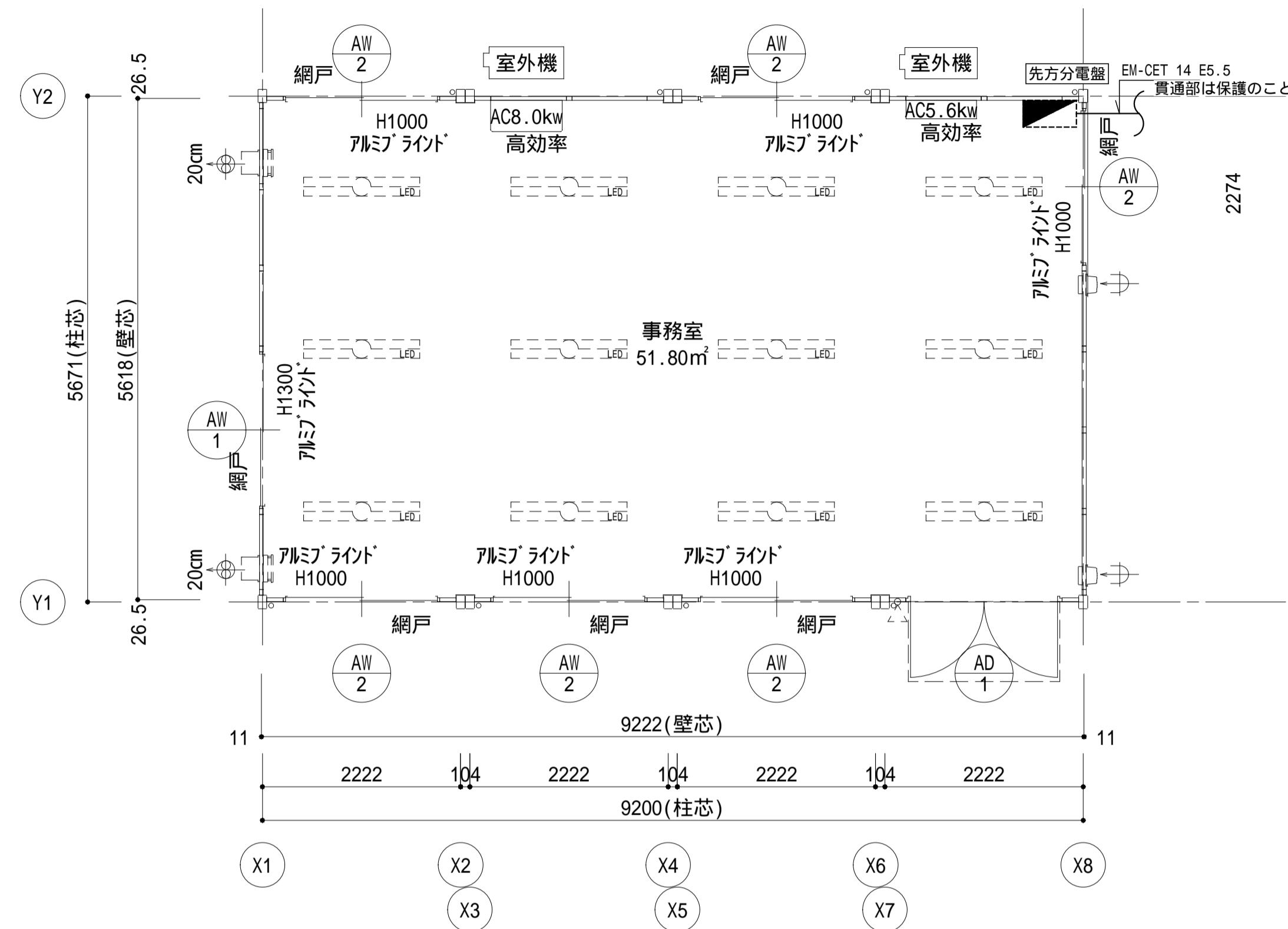
特記なきは下記による

- WHM 引込計器盤
 ● コンクリート柱 8 m
 → 支線 38sq アンカー共
 ← 引込点

	Revision	Date				Project title	Sheet content		Scale	Sheet No.
			Checked	Checked	Drawn	公益財団法人 日本財団	電気設備			
						日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事	屋外配線図		Unit	A3:1/500
										E-02



車庫平面図



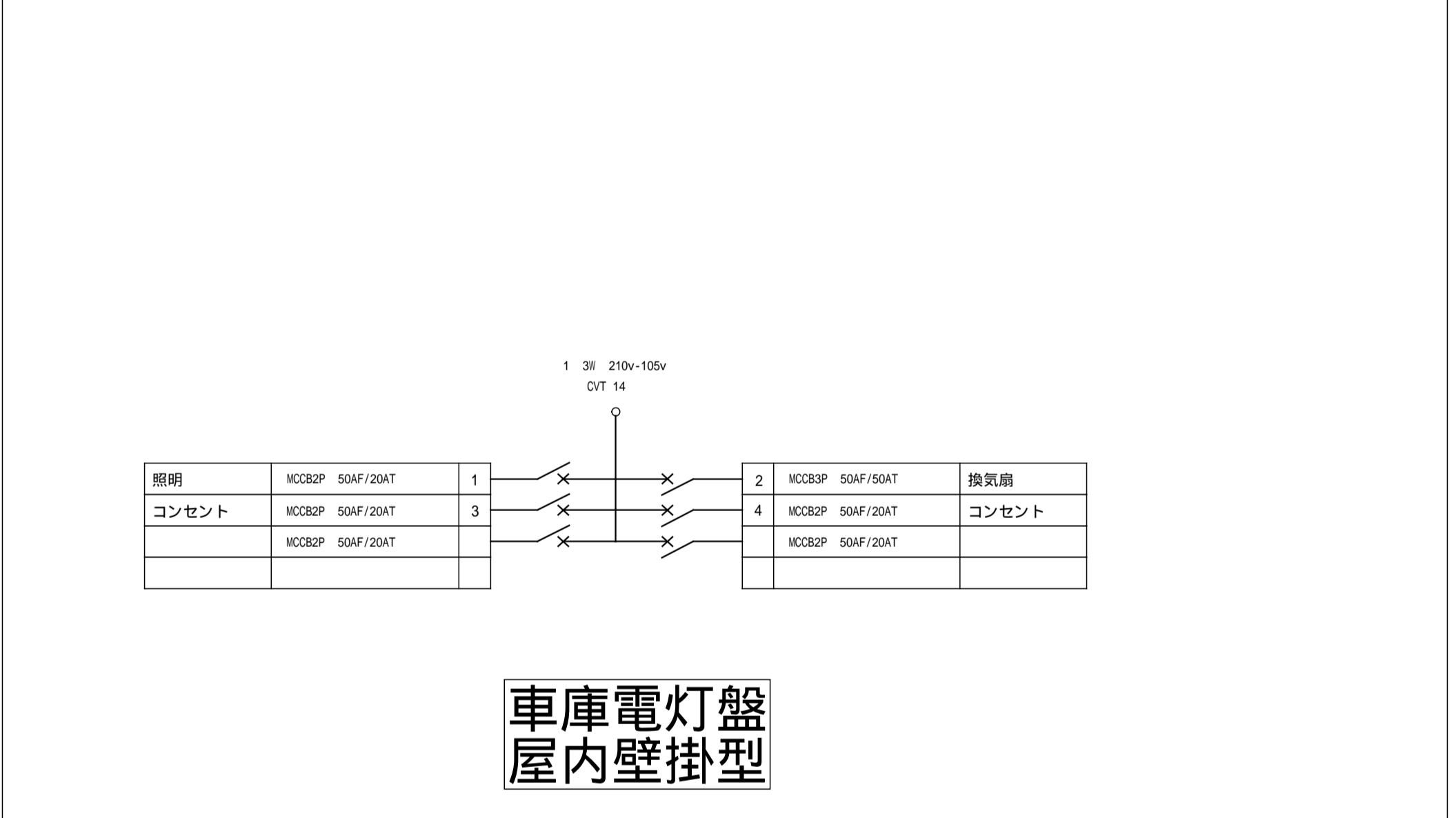
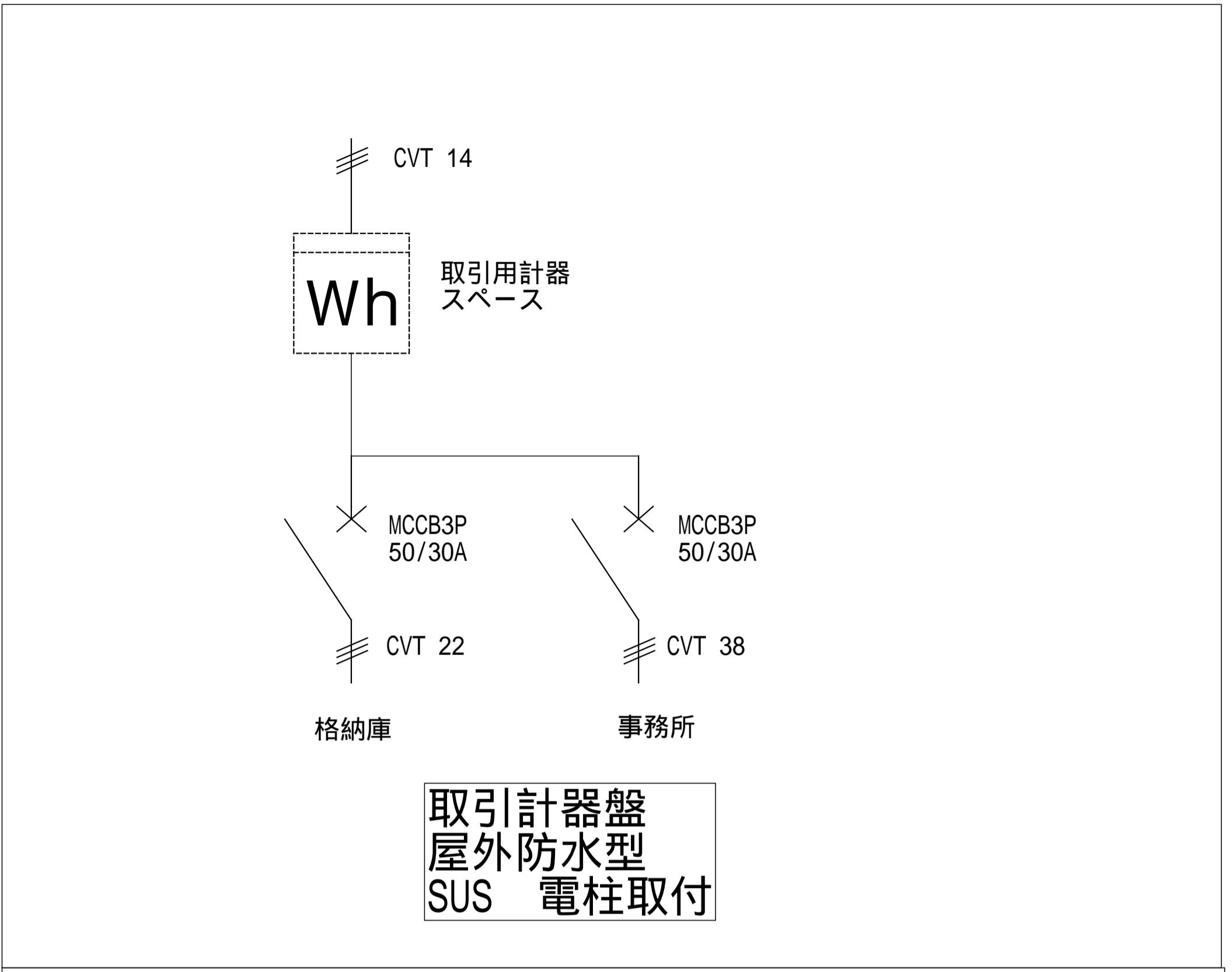
事務所平面図

特記なき配線他は下記による

- /— EM-IE 1.6X3(レースウェイ)
- /— EM-IE 1.6X4(レースウェイ)
- /— EM-IE 1.6X5(レースウェイ)
- /— EM-IE 1.6X6(レースウェイ)
- /— EM-IE 1.6X7(レースウェイ)
- EM-IE 1.6X2(E19)
- EM-IE 1.6X3(E19)
- EM-IE 2.0X3(E19)

特記なきシンボル他は下記による

- 電灯分電盤(屋内露出型)
- 先方分電盤(屋内露出型)先方取付
- レースウェイ
- レースウェイ用ジョイントボックス
- ジョイントボックス丸型
- 埋込スイッチ 1P15AX2 新金属
露出1個用スイッチボックスE19一方出
- 自動点滅器 3A
- 埋込コンセント 2P15AX2 新金属
露出1個用コンセントボックスE19一方出
- 防水コンセント 2P15AX2E
露出1個用防水コンセントボックスE19一方出
- 埋込コンセント 2P15AX1 新金属
露出1個用埋込コンセントボックスE19一方出
- 換気扇 EFG-20KSB2(参考型番)
木枠 SUSフード付



照明器具 姿図

A	LSS9-4-48LE9	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W150
B	LBFL2RP-10LE1	パナソニック NNY20353LE1

一般タイプ、5200lmタイプ
消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V
本体：銅板（白色粉体塗装防犯灯 蛍光灯FHP32形相当
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

パナソニック 直付XFX450AENLE9

LED内蔵、電源ユニット内蔵、防まつ型、明るさセンサなし、明光色
光束1070lm、消費電力9W、電圧100V
昼白色、5500K、Ra80、光束維持時間60000時間（光束維持率80%）
本体：ASA樹脂（クールホワイト）
前面パネル：アクリル
保護等級：IP44、雷サージ15kV
電力会社申請入力容量9.2VA

Revision	Date

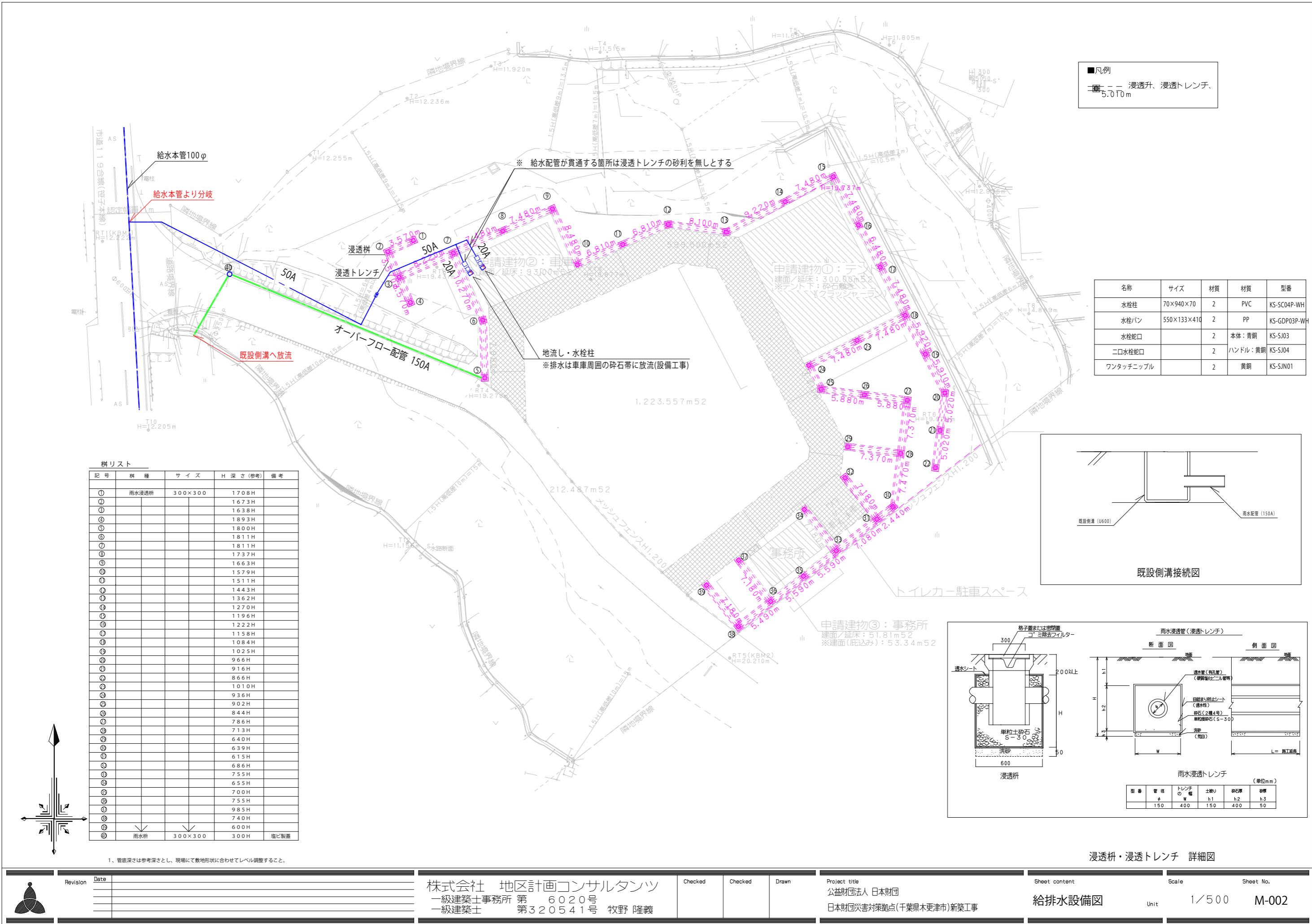
株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Date Checked Checked Drawn
Project title
公益財団法人 日本財團?
日本財團災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事?

Sheet content
電灯設備
盤結線図・照明器具姿図
Unit

Scale
A1:NS
A3:NS
Sheet No.
E-04

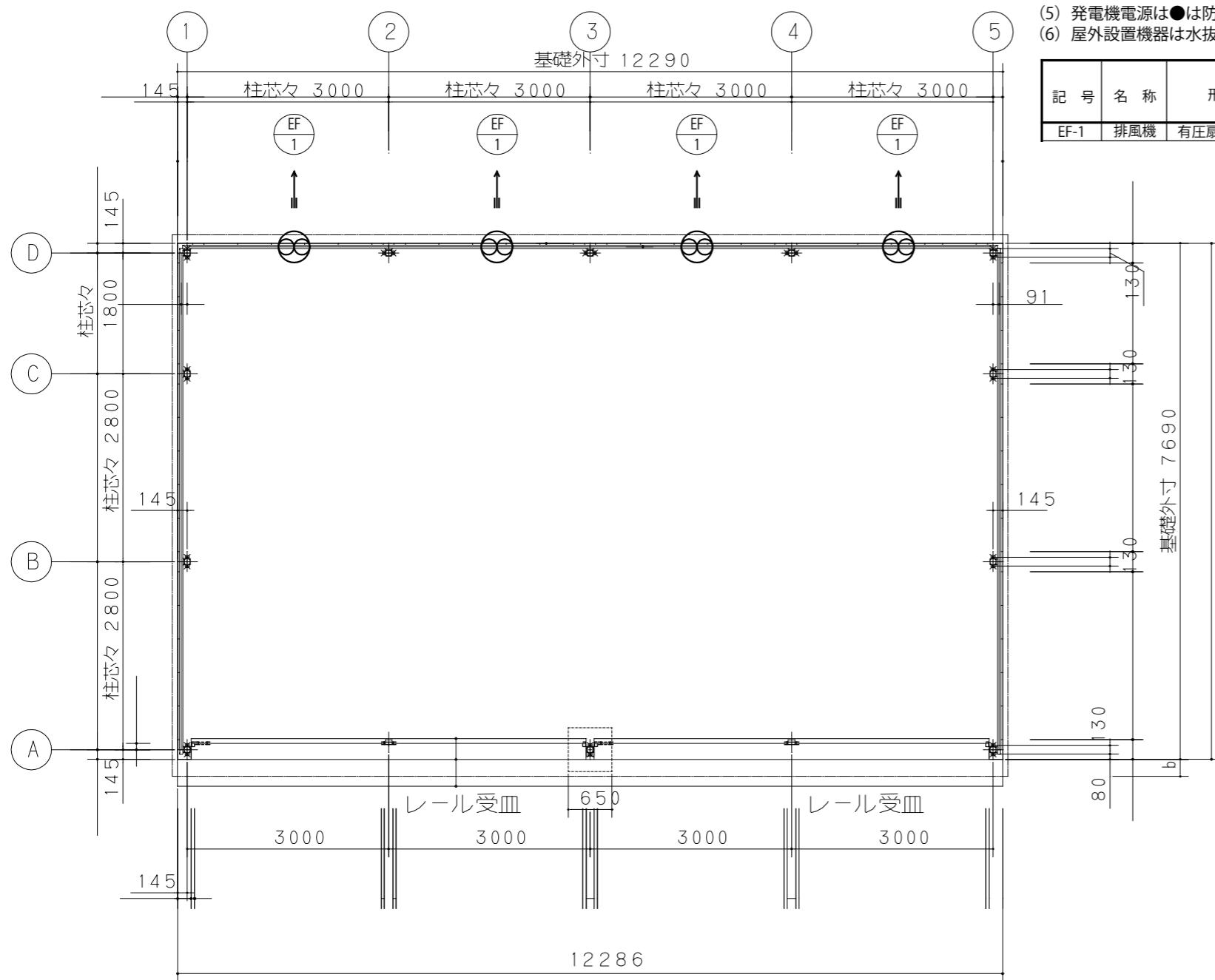
日本財団災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事 設計図																					
仕様書(機械の部)																					
1. 工事概要																					
1. 工事場所 千葉県木更津市笛子字林崎589番の一部																					
2. 工事期間 2026年2月10日 ~ 2026年5月10日																					
3. 建物概要																					
建物名称 構造 階数 延べ面積 消防法施行令 別表第一 備考																					
申請建物①:テント 膜構造(鉄骨造) 地上1階建て 300.00m ²																					
申請建物②:倉庫 軽量鉄骨造 地上1階建て 93.00m ²																					
申請建物③:事務所 軽量鉄骨造 地上1階建て 51.81m ²																					
(備考中の特定の施設、一般的な施設とは震災安全性の分類を示す。)																					
4. 工事種目 (印を付けたものを適用する)																					
建物別及び屋外工事種目																					
○ 空気調和設備																					
● 換気設備 一式																					
○ 排煙設備																					
○ 自動制御設備																					
○ 動力設備																					
○ 衛生器具設備																					
● 給水設備 一式																					
○ 排湯設備 一式																					
○ 消火設備																					
○ 厨房設備																					
○ 排水設備																					
○ 室内空気中の化学物質の濃度測定																					
○ 電気保安技術者																					
○ 技能士の適用																					
○ 監督員事務所																					
○ 事務用電力・水・その他																					
○ 事務用設備																					
○ 動力・設備																					
○ 衛生器具設備																					
○ 給水設備																					
○ 排湯設備																					
○ 消火設備																					
○ 厨房設備																					
○ 排水設備																					
5. 指定部分 ●無 ○有 ()																					
6. 設備概要																					
7. 工事仕様																					
1. 共通仕様 (印を付けたものを適用し、○印のものは適用しない。)																					
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官公室監修部制定の「 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版) 」(以下、「標準仕様書」という。)、 ●共用建築設備工事標準規格(機械設備工事編)(令和4年版) 」(以下、「標準規格」という。)及び ●共用建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版) 」(以下、「改修共用仕様書」という。)による。																					
(2) 電気設備工事及び建築工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、電気設備工事の工事仕様は、(/)図、建築工事の工事仕様は(/)図による。																					
2. 特記仕様																					
章 項目 特記事項																					
● 環境への配慮																					
● 機材等																					
● 化学物質を放散させる機材等																					
Revision Date																					
株式会社 地区計画コンサルタント 一級建築士事務所 第6020号 一級建築士 第320541号 牧野 隆義																					
Checked Checked Drawn Project title Sheet content Scale Sheet No.																					
特記仕様書 Unit 1/500 M-001																					



<特記事項>

- (1) 片吸込形は省エネ形ベルト駆動とする。
- (2) ファンモーターは高効率仕様とする。(小型遠心形等の直動形を除く)
- (3) 特記なき防振吊は、防振ゴムとする。
- (4) スプリング防振は振動絶縁率80%以上とする。
- (5) 発電機電源は●は防災電源、○は保安電源を示す。
- (6) 屋外設置機器は水抜きを設けること。

記号	名 称	形 式	系 統	仕 様			電 源 容 量			起動方式	発電機電源	台数	設置方式	防振装置	設 置 場 所	備 考
				形番 N.O.	風量 (m ³ /h)	静压 (Pa)	φ	V	W							
EF-1	排風機	有圧扇(電動シャッタ)	格納庫	—	375	10	1	100	15	直入	—	4	—	—	1	格納庫 【三菱電気】EFG-20KSB-P



平面図



Revision Date

株式会社 地区計画コンサルタント
一級建築士事務所 第 6020号
一級建築士 第320541号 牧野 隆義

Checked

Checked

Drawn

Project title
公益財團法人 日本財團
日本財團災害対策拠点(千葉県木更津市)新築工事

Sheet content
重機格納庫換気設備図 Unit
M-003

1/500

M-003